

1200迄 (2036件)

1151年-05:30|インド| |||<即位>後期チャルキヤ朝国王「Tailapa3世」(~1164年殺される)
1151年-04:00|ロシア| |||<復位>リザン公「ケレブ・ロステスラウイチ」(~1153年退位~1178年死去)
1151年-03:00|ベラルーシ| |||<即位>ドルツク公「ケレブ・ロステスラウイチ」ミンスク公ロステスラフの子(~1158年)
1151年-03:00|ベラルーシ| |||<即位>ボロツク公「ロステスラフ・ケレボウイチ」ミンスク公(~1159年)
1151年-03:00|ベラルーシ| |||<即位>ミンスク公「ウオダ・リ・ケレボウイチ」(~1159年)
1151年-03:00|ベラルーシ| |||<退位>ミンスク公「ロステスラフ・ケレボウイチ」
1151年-02:00|ウクライナ/ロシア/ベラルーシ| |||<即位>チェルニヒウ公「イジヤスラフ・ダウイトウイチ」(~1154年)
1151年-02:00|ウクライナ| |||<即位>ベルゴロト公「ウラジミール・ムスチスラウイチ」(~1154年)
1151年-02:00|トルコ| |||<即位>メンジューク(エルジンジャ)君主「Suleymansah」(~1162年)
1151年-02:00|ウクライナ| |||<復位>ペレヤスラヴリ公「ムスチスラフ・イジヤスラウイチ」(~1154年)
1151年-01:00|フランス| |||<死去>ルル伯「マティルト」
1151年-01:00|イタリア| |||<就任>ウエローナ辺境伯「Herman3世」(~1160/116死去)
1151年-01:00|フランス| |||<就任>メヌ伯「エリア2世」(~1.15死去)
1151年1月15日-01:00|フランス| |||<死去>メヌ伯「エリア2世」
1151年1月15日-01:00|フランス| |||<就任>メヌ伯「アンリ2世」(~1189/706死去)
1151年1月20日-08:00|中国| ||西遼・紹興1年|<即位>西遼可汗「仁宗耶律夷列」(~1163年)紹興と改元(-1163)
1151年2月14日-09:00|日本| ||仁平1年1月26日|仁平に改元
1151年4月-04:00|ロシア| |||<退位>ウラジミール・スズダリ公「ウアシコ・ユリエウイチ」
1151年4月-04:00|ロシア| |||<復位>ウラジミール・スズダリ公「ユリー・トルゴルキー」(~1155.5退位)
1151年4月23日-08:00|中国| ||金・天徳3年4月5日|金・燕京(いまの北京)に遷都
1151年6月-02:00|ウクライナ| |||<即位>キエフ大公「イジヤスラフ2世」(3期目~1154/1113死去)、「ウヤチスラフ1世」(3期目~1154.12死去)
1151年7月21日-09:00|日本|京都府京都市|仁平1年6月6日|皇居四条東堂院殿焼失
1151年8月6日 05:00|日本|京都府京都市|仁平1年6月22日|一条南、油小路東西から土御門まで焼亡
1151年8月21日-09:00|日本|京都府|仁平1年7月8日|大風雨・洪水、宇治橋流失
1151年8月25日-09:00|日本|京都府京都市|仁平1年7月12日|京都火災/一条北、東洞院以西、鞠負以東焼亡。行願寺など焼亡
1151年9月7日-01:00|フランス| |||<死去>ノルマンディー公・アンジュー伯・トゥール伯・メヌ伯・モルテン伯「ジヨフロワ5世・ト・プランタジネット」熱病で/38歳(生年1113年)
1151年9月7日-01:00|フランス| |||<就任>アンジュー伯・メヌ伯「アンリ1世」イングランド国王、ノルマンディー公、アキテーヌ公、ガスコニュ公、アイルランド卿/ジヨフロワ5世・ト・プランタジネットとマティルトの息子(~1189/706死去56歳)
1151年11月27日-09:00|日本|京都府京都市|仁平1年10月18日|小六条内裏焼亡
1151年12月11日-09:00|日本|京都府京都市|仁平1年11月2日|崇徳上皇御所の東八条殿焼亡
1152年-05:30|インド| |||<即位>ホイヤ朝国王「ナシハ1世」(~1173年)
1152年-04:30|アフリカ| |||<即位>ゴール朝バニヤン・アミール「ファルッディーン・マサウト」(~1163年死去)
1152年-04:30|アフリカ| |||<復位>ガズナ朝君主「バフラム・シャー」(~1157年死去)
1152年-02:00|トルコ| |||<即位>アルタウ朝スルタン「アルフ・ナシム」(~1176年)
1152年-02:00|ウクライナ| |||<即位>チェルニヒウ公「イジヤスラフ・ダウイトウイチ」(~1154年)
1152年-02:00|ウクライナ| |||<即位>ベルゴロト公「ウラジミール・アントレウイチ」(~1154年)
1152年-02:00|トルコ| |||<即位>マティヤ・ダニシュメント朝エミール「ズルカナン」(~1162年)
1152年-02:00|ウクライナ| |||<復位>ヴォルィニ公「スヴャトボルク・ムスチスラウイチ」(~1154年)
1152年-01:00|ドイツ| |||<就任>東フランク大公(ローテンブルク大公)「フリートリヒ2世」(~1167年)
1152年-01:00|デンマーク/ドイツ| |||<就任>シュレースヴィヒ公「ヴァルデマー1世」デンマーク王(~1154年)
1152年-01:00|フランス| |||<就任>ボワティエ伯「アンリ2世」(~1152年)
1152年-01:00|フランス| |||<即位>アキテーヌ公「アンリ1世」イングランド王ヘンリ2世、アリエノールと共同統治(~1189/706死去)
1152年-01:00|スペイン| |||<即位>ガルス王「Ferdinand2世」(~1188年)
1152年-01:00|イタリア| |||<即位>スレート公「ゲル76世」(~1160年)兼トスカナ辺境伯「ゲル76世」ハインリヒ10世の弟(~1167年)
1152年-01:00|チュニジア/アルジェリア/リビア| |||<廃位>ズィール朝アミール「アブル=ハサン・アル=ハサン・イブン=アリー」シリア王国によって滅亡
1152年-01:00|アルジェリア/イタリア| |||アンバ(ホーン)がノルマン人のシリア王国に占領される(~1156年)
1152年-01:00|チュニジア/イタリア| |||シリア王国がアンバ占領(~1156年)
1152年 00:00|アイルランド| |||ム(ミンスター)がデズム(デズモンド)とトゥアム(トント)に分割
1152年1月10日-01:00|フランス| |||<死去>ジャン・ベニウ伯・シャトル伯・モー・ブワ伯「ティボ-2世」
1152年1月10日-01:00|フランス| |||<就任>シャトル伯・ブワ伯「ティボ-5世」(~1191/120死去)
1152年1月10日-01:00|フランス| |||<就任>ジャン・ベニウ伯「アンリ1世」ティボ-2世の息子(~1181/10316死去)
1152年2月15日-01:00|ドイツ/フランス/スイス| |||<死去>ドイツ王・ブルグント王「コンラート3世」(誕生1052年)
1152年2月15日-01:00|ドイツ/オーストリア/フランス/イタリア| |||<就任>フランク・ローマ帝国宰相「マインツ大司教ハインリヒ・フォン・ハールブルク」(~3.9)
1152年2月15日-01:00|ドイツ| |||<即位>ブルグント王「フリートリヒ1世」コンラート3世の甥(~1190/610死去)
1152年2月26日-09:00|日本|京都府京都市|仁平2年1月19日|大炊事御門高倉の皇后御所焼亡
1152年3月4日-01:00|ドイツ/スイス| |||<即位>シュヴァーベン大公「フリートリヒ4世」(~1167/0819死去)

1200迄 (2036件)

1152年3月4日-01:00|ドイツ| |||<退位>シュヴァーベン大公「フリードリヒ3世赤髭公」
1152年3月9日-01:00|ドイツ| |||<即位>ドイツ王「フリードリヒ1世赤髭王」ブルグント王(⇒11550608、フランク・ローマ帝国皇帝)
1152年3月21日-01:00|フランス| |||フランス王ルイ7世、妻の「アキーズ公女」アリエノール・ダキーズと、2人とも故ロベール(敬虔王)の子孫だという血縁関係を理由に離婚(フランス中部のボーヴィンソンに召集した「司教会議」で結婚の無効・取り消しが決定する)
1152年5月18日-01:00|フランス| |||ルマンディー公兼アンジュー伯アンリ・フランクジユネ(19歳)、ルイ7世と離婚したばかりの「アキーズ公女」アリエノール・ダキーズ(29歳)と結婚/ロワール川以南の広大な領域を領土に加え、フランスの半分以上を所有する
1152年6月12日 00:00|イギリス| |||<死去>ノサンバランド伯「Henry of Scotland」
1152年6月12日 00:00|イギリス| |||<就任>ノサンバランド伯「William of Scotland」(~1157年)
1152年6月12日 00:00|イギリス| |||<就任>ハンティントン伯「Simon2世 de Senlis」ノサンプトン伯(~1153年死去)
1152年8月-01:00|アルジェリア| |||<廃位>ハンマド朝(アルジェ)「Yahya ibn Abd al-Aziz」ムワッヒド朝に滅ぼされる
1152年9月13日-03:30|イラン/イラク/トルクメニスタン| |||<死去>大セルジューク朝スルターン「マサウド」
1152年9月13日-03:30|イラン/イラク/トルクメニスタン| |||<即位>大セルジューク朝スルターン「マリク・シャ3世」(~1153年)
1152年10月14日-01:00|フランス| |||<死去>ヴァロア伯・ヴァルマントワ伯「ラウル1世the Valiant」
1152年10月14日-01:00|フランス| |||<就任>ヴァロア伯「Hugh2世」(~1160年)
1152年10月14日-01:00|フランス| |||<就任>ヴァルマントワ伯「ラウル2世」(~1167年)
1152年11月6日 00:00|イギリス| |||英スティウーゴン王とアンジュー伯アンリの間にウィンチェスター平和協定、内戦終わる
1152年12月20日-09:00|日本| ||仁平2年11月23日|<死去>珍海(生年1091年/僧、学者、画家)
1153年-06:30|ミャンマー| |||<即位>アラカン国王「タタラサ」(~1165年)
1153年-05:30|スリランカ| |||<即位>ホロンタル王「バラクラマバフ1世大王」Vi jayabahu1世の孫(~1186年死去)
1153年-05:00|モルディブ| |||<即位>ティムゲ朝王「Dhovemi」⇒スルタン(~1166年)
1153年-04:00|ロシア| |||<即位>リャザン大公「ウラジミール・スヴャトスラヴィチ」(~1161年死去)
1153年-04:00|ロシア| |||<退位>リャザン公「ゲレブ・ロステスラヴィチ」(~1178年死去)
1153年-03:30|イラン/イラク/トルクメニスタン| |||<即位>大セルジューク朝スルターン「ムハンマド2世」(~1160年)
1153年-02:00|ウクライナ| |||<死去>ガリチ公・テレボウリ公「ウラジミール・ヴォドク・レウイチ」テレボウリ公国はガリチ公国に併合
1153年-02:00|シリア・アラブ| |||<即位>アンティオキア公「ルノー・ド・シャティヨン」コンスタン女公と結婚(~1160年)
1153年-02:00|ウクライナ| |||<即位>ガリチ公「ヤロスラフ・ウラジミロヴィチ」(~11871001死去)
1153年-02:00|パレスチナ| |||<退位>エルサレム国王「メサウド」(~11610911死去56歳)
1153年-01:00|ポーランド| |||<死去>ペレミシュリ公「ウラジミール・ヴォドク・レウイチ」ガリチ・テレボウリス・ウエニコト公国と合併
1153年-01:00|ポーランド| |||<即位>ペレミシュリ公「Yaroslav Osmomysl」(~11871001死去)
1153年 00:00|イギリス| |||<死去>ノサンプトン伯・ハンティントン伯「Simon2世 de Senlis」
1153年 00:00|イギリス| |||<就任>スコットランド大法官「グラスゴウ司教アングラムス」(~1165年)
1153年 00:00|イギリス| |||<即位>デハバース公「マレグット・アブ・ケリフィス」(~1155年死去)
1153年1月6日 00:00|イギリス| |||ヘンリー・フランクジネットが、エティエンヌ・ド・ブワ国王のマルメザリーを急襲
1153年3月-01:00|ドイツ/バチカン| |||フリードリヒ1世が教皇エウゲニウス3世とコンスタンツ条約を締結(対シリア・ヒザンツ同盟)
1153年4月21日-08:00|中国| ||金・貞元1年3月26日|金の海陵王が、燕京を中都、開封を南京、中京を北京とし貞元(-1156年)と改元
1153年5月10日-09:00|日本|京都府京都市|仁平3年4月15日|京都大火、烏丸東より失火、五条坊門以南、六条以北、東洞院以西、西洞院以東、因幡堂、江家文庫(法家の書庫)、祇園大政所・炎上
1153年5月24日 00:00|イギリス| |||<死去>スコットランド王「デヴィッド1世聖王」
1153年5月24日 00:00|イギリス| |||<即位>スコットランド王「マルカム4世大首領王」デヴィッド1世の孫(~11651209死去)
1153年6月12日 00:00|イギリス| |||<死去>ウォリック伯「ロジャー・ド・ホーモント」
1153年6月12日 00:00|イギリス| |||<就任>ウォリック伯「ウィリアム・ド・ホーモント」先代の長男(~11841115死去)
1153年6月29日 00:00|マン島| |||<死去>マン王「Olafur Gudhfridharson(Olaf1世)」
1153年6月29日 00:00|マン島| |||<就任>マン王「Gudhfridhr Olafsson」(1期目~1158年)
1153年7月8日-01:00|バチカン| |||<死去>第167代ローマ教皇「エウゲニウス3世」
1153年7月8日-09:00|韓国/朝鮮| ||高麗・貞元1年6月15日|金からの知らせにより貞元に改元
1153年7月12日-01:00|バチカン| |||<就任>第168代ローマ教皇「アナスタシウス4世」(~11541203死去)
1153年8月17日-01:00|フランス| |||<就任>ポワティエ伯「ギヨーム9世」エリノアとアンリ2世の息子(~11561202死去)
1153年8月19日-02:00|エジプト/イスラエル| |||エルサレム王ボートウアン3世がエジプト人が領有していた最後の海岸のアスカンヌを奪う
1153年10月9日-09:00|日本|京都府京都市|仁平3年9月20日|畿内大風雨、新造中の土御門内裏南殿など倒壊。伊勢斎宮(喜子内親王)の伊勢群行延期、高野川の部屋・野宮舎屋倒壊
1153年12月16日 00:00|イギリス| |||<死去>4代チェスター伯「ラナルフト・ガーノン」
1153年12月16日 00:00|イギリス| |||<就任>5代チェスター伯「ヒュー・ド・ケヴェリク」(~11810630死去)
1153年12月22日-09:00|日本| ||仁平3年12月6日|<死去>覚法法親王(生年1092年、法親王)
1153年12月31日-09:00|日本|京都府京都市右京区|仁平3年12月15日|仁和寺御所焼亡
1154年-08:00|インドネシア| |||<即位>スダガラ王国マラジャ「Rakeyan Jayagiri/Prabu Menakluhur Langlangbhumi sutah」(~1156年)
1154年-05:30|インド| |||<建国>ケニハル国
1154年-05:30|インド| |||カチャリ家ビッジャラ、チャルヤ朝を破りカヤニを占領(~1181)
1154年-04:00|ジョージア| |||<即位>グルジア国王「デビッド5世」(~1155年)

1200迄 (2036件)

1154年-04:00|ロシア| |||<即位>ノヴゴロト共和国ノヴゴロト公「ロスチスラフ・ムスチスラヴィチ」(~1154年)⇒「ダウイト・ロスチスラヴィチ」(~1155年)
1154年-04:00|ジョージア| |||<退位>ゲルジア国王「デメトリオス1世」
1154年-03:00|ベラルーシ| |||<即位>ベレスチエ公「ウラジミール・アンドレヴィチ」(~1156年)
1154年-02:00|ウクライナ| |||<即位>ウァルイーニ公「ウラジミール・ムスチスラヴィチ」(~1157年)
1154年-02:00|ウクライナ| |||<即位>チェルニヒウ公「スヴャトスラフ・オレゴヴィチ」(~1164年)
1154年-02:00|ウクライナ| |||<即位>ベレスラヴリ公「ゲレブ・ユーリエヴィチ」(~1169年)
1154年-02:00|ウクライナ| |||<即位>ルツク公「ヤロスラフ・イジヤスラヴィチ」(~1180年)
1154年-02:00|シリア・アラブ / イラク| |||ザンギー朝アタベクがダマスカスを支配(~1181年)
1154年-01:00|スペイン| |||<就任>アソフリアス伯「Hugh 3世」(~1173年)
1154年-01:00|ボスニア・ヘルツェゴビナ / ハンガリー| |||<就任>ボスニア・ハン「バン・ホリッチ」(~1163年)
1154年-01:00|イタリア| |||<即位>トレント司教公「Eberhard」(~1156年)
1154年-01:00|イタリア| |||<即位>フッリャ・カラリア公「ルッジェーロ4世」ゲリエルモ3世の長男(~1161年)
1154年-01:00|デンマーク / トイ| |||<復位>シュレスヴィヒ公「スヴェン3世」(~1157/1023死去), 「クヌース5世」(~1157/0809死去)デンマーク王
1154年 00:00|チン礼諸島 / イギリス| |||<就任>イギリス王領ガーンジー島管理者・保護者「Walter Dunker 卿」
1154年2月2日-02:00|ウクライナ| |||<死去>キエフ大公「ウァチスラフ1世」
1154年2月2日-02:00|ウクライナ| |||<即位>キエフ大公「ロスチスラフ1世」(~1155/0113)
1154年2月26日-01:00|イタリア / チュニジア| |||<死去>シチリア王・ノーマンアフリカ王「ルッジェーロ2世」58歳(誕生1095/1222)
1154年2月26日-01:00|イタリア / チュニジア| |||<即位>シチリア王「ゲリエルモ1世」(~1160/0507死去)兼ノーマンアフリカ王(~1160/0111)
1154年2月26日-01:00|イタリア| |||<退位>カプア公・ナポリ公「ウィリアム」
1154年3月16日-09:00|日本| 京都府京都市左京区| 仁平4年2月| 大悲山峰定寺創建
1154年4月-02:00|シリア・アラブ| |||<即位>ザンギー朝ダマスカス・エミール「ヌルッディーン・マフムド」ダマスカスに無血入城(~1174/0515死去)
1154年4月-01:00|チュニジア / エジプト| |||<死去>ファティマ朝第12代カリフ「アル＝ザフィール」
1154年4月-01:00|チュニジア / エジプト| |||<即位>ファティマ朝第13代カリフ「アル＝ファイズ・ヒュナール」(~1160/0723死去)
1154年5月14日-09:00|日本| 京都府京都市北区| 仁平4年4月| 紫野今宮社で「夜須礼」と号した疫病除けの舞踊が行われた(やすらい祭の創始)
1154年6月20日-01:00|アントラ| |||<死去>ウルム・エイ伯「Ermengol 6世」
1154年6月20日-01:00|アントラ| |||<就任>ウルム・エイ伯「Ermengol 7世」(~1184年死去)
1154年9月19日-09:00|日本| 富山県| 仁平4年8月10日| 富山付近で地震。新川郡で陥没、死傷者多数
1154年10月25日 00:00|イギリス| |||<死去>イングランド王「ステイブン・オブ・ブロ」約58歳
1154年11月9日-09:00|日本| 滋賀県大津市| 仁平4年10月3日| 延暦寺西塔の法華堂・常行堂焼亡
1154年11月13日-02:00|ウクライナ| |||<死去>キエフ大公「イジヤスラフ2世」
1154年11月13日-02:00|ウクライナ| |||<即位>キエフ大公「イジヤスラフ3世」(1度目~1155. 3)
1154年12月-02:00|ウクライナ| |||<死去>キエフ大公「ウァチスラフ1世」
1154年12月-02:00|ウクライナ| |||<即位>キエフ大公「ロスチスラフ1世」(1期目~1155年)
1154年12月3日-01:00|バチカン| |||<死去>第168代ローマ教皇「アタタシウス4世」
1154年12月4日-01:00|バチカン| |||<就任>第169代ローマ教皇「ハドリアヌス4世」(~1159/0901死去)
1154年12月4日-09:00|日本| || 久寿1年10月28日| 久壽に改元
1154年12月9日-01:00|フランス| |||<就任>モレン伯「William of Blois」(~1159年)
1154年12月9日-09:00|日本| 大阪府河内長野市| 久寿1年11月3日| 木造阿弥陀如来坐像(広島三滝寺蔵), 河内国錦郡日野村観音寺に寄進される
1154年12月19日 00:00|イギリス| |||<即位>イギリス王「ヘンリー2世」ジョフロワ4世とマティルダの男子。ルマンデュー公兼アンジュー伯「ロン・プランタジネ」(~1189/0706死去56歳)
1155年-05:30|インド| |||<即位>ガハダヴァーラ朝国王「ウイジャヤチャンドラ」(~1169年)
1155年-04:00|ロシア| |||<死去>ムロム公「ロスチスラフ・ヤロスラヴィチ」
1155年-04:00|ロシア| |||<就任>ノヴゴロト共和国ノヴゴロト公「ムスチスラフ・ユーリエヴィチ」(~1158年)
1155年-04:00|アルメニア / アゼルバイジャン| |||<即位>シャッター朝(アニ)国王「ファドル5世」(~1161年)
1155年-04:00|ジョージア| |||<復位>ゲルジア国王「デメトリオス1世」(~1156年死去)
1155年-04:00|ロシア| |||<復位>ムロム公「ウラジミール・スヴャトスラヴィチ」(~1162年死去)
1155年-03:30|イラン| |||<即位>ハザーラス朝君主「Abu Tahir ibn Muhammad」(~1203年)
1155年-03:00|ベラルーシ| |||<即位>トウロフ公「ホリス・ユーリエヴィチ」(~1157年)
1155年-02:00|ウクライナ| |||<即位>ベレソフニツァ公「ムスチスラフ・イジヤスラヴィチ」(~1156年)
1155年-02:00|フィンランド / スウェーデン| |||西隣のスウェーデンが、フィンランドを併合し属州とした(北方十字軍)
1155年-01:00|フランス| |||<死去>マコン伯「ギョーム3世」
1155年-01:00|フランス| |||<就任>オーペルニュ伯「ギョーム8世 the Old」(~1182年)
1155年-01:00|ポーランド| |||<就任>ポメルニ公「ソビェスワフ1世」独立公国創設(~1178年死去)
1155年-01:00|イタリア| |||<即位>イタリア王「フェデリコ1世バルバロッサ」ローマ皇帝。コラート3世の甥(~1190/0610死去)
1155年 00:00|イギリス| |||<死去>デハイバース公「マレタット・アブ・ゲリフィス」
1155年 00:00|イギリス| |||<失脚>ケント伯「ウィレム・ファン・イーヘル」
1155年 00:00|イギリス| |||<即位>デハイバース公「リス・アブ・ゲリフィス」(~1197/0428死去)

1200迄 (2036件)

1155年1月-02:00|ウクライナ| |||<即位>キエフ大公「イジヤスラフ3世」(~11550320)
1155年3月20日-02:00|ウクライナ| |||<復位>キエフ大公「ユリー1世トロゴルキー」(3期目~11570515死去)
1155年4月21日-09:00|日本|京都府京都市下京区|久寿2年3月18日|河原院焼亡
1155年4月24日-01:00|イタリア| |||<即位>イタリア王「フェデリコ1世赤髭王」フルグント王(~11900610死去)
1155年5月-04:00|ロシア| |||<退位>ラジミル・スズダリ公「ユリー・トロゴルキー」
1155年6月4日 00:00|イギリス| |||<死去>デヴォン伯「Baldwin de Redvers」
1155年6月4日 00:00|イギリス| |||<就任>デヴォン伯「Richard de Redvers」(~1162年死去)
1155年6月8日-01:00|ドイツ/オーストリア/イタリア/フランス| |||<即位>フランク・ローマ帝国皇帝「フリートリヒ1世赤髭王」フルグント王兼イタリア王フェデリコ1世赤髭王(~11900610没)
1155年6月8日-09:00|日本| ||久寿2年5月7日|<死去>藤原顕輔(生年1090年/公卿、歌人)
1155年6月10日-01:00|ノルウェー| |||<死去>ノルウェー王「シグルド2世ハラルド・ソン・マン」殺害される
1155年7月27日-09:00|日本| ||久寿2年6月26日|<死去>河内源氏・源義国/新田・足利両氏の祖
1155年8月22日-09:00|日本| ||久寿2年7月23日|<死去>76代「近衛天皇」17歳
1155年8月23日-09:00|日本| ||久寿2年7月24日|<踐祚>雅子仁親王(⇒10月26日77代後白河天皇として即位~11580905)
1155年9月14日-09:00|日本|埼玉県比企郡嵐山町|久寿2年8月16日|源義平、武蔵国大蔵にて叔父帯刀先生義賢を討つ(大蔵合戦)義賢の子・義仲は木曾に逃れる
1156年-08:00|インドネシア| |||<即位>スダガラ王国マハラジャ「Prabu Dharmakusumah/Sang Mukteng Winduraja」(~1175年)
1156年-07:00|カンボジア| |||<即位>カメル王朝国王「ヤショヴァルマン2世(ヨサヴァルマン2世)」(~1165年)
1156年-05:30|インド| |||<国名変更>デカール国(新首都ジャヤサルミル設立)⇒ジャヤサルミル国
1156年-05:00|ウズベキスタン| |||<死去>クワズミヤン朝シャー「Qizil Arslan Atsiz ibn Muhammad」
1156年-05:00|トルクメニスタン/ウズベキスタン| |||<死去>ホラズム・シャー朝スルターン「アヌ・シュ・テギン・アトス」
1156年-05:00|キルギス/ウズベキスタン/中国| |||<即位>西カラハン朝ハーン「Ali Chaghri Khan」(~1161年)
1156年-05:00|ウズベキスタン| |||<即位>クワズミヤン朝シャー「Ii-Arslan ibn Qizil Arslan Atsiz」(~11720307死去)
1156年-05:00|トルクメニスタン/ウズベキスタン| |||<即位>ホラズム・シャー朝スルターン「イル・アルスラン」(~11720307死去)
1156年-04:00|ジョージア| |||<死去>グルジア国王「デメトリオス1世」
1156年-04:00|ジョージア| |||<即位>グルジア国王「ジョージ3世」(~11840327死去)
1156年-03:30|イラン| |||<即位>ケルマン・セルジューク朝スルターン「トゥグ・リル・シャー」(~1169年)
1156年-02:00|トルコ| |||<即位>ルーム・セルジューク朝スルターン「カルチ・アルスラン2世」(~1192年死去)
1156年-02:00|キプロス| |||ルノー・ド・シャティヨンがキプロス島を略奪
1156年-01:00|フランス| |||<再任>ホウティエ伯「アンリ2世」(~1189年)
1156年-01:00|イタリア| |||<死去>カプア公「ロベルト2世」
1156年-01:00|イタリア| |||<死去>ブルターニュ公「ベルト」
1156年-01:00|ポーランド/ドイツ| |||<死去>ポズナニ公「ラティボル1世」
1156年-01:00|フランス| |||<死去>レンヌ伯「Hoe」2世
1156年-01:00|ドイツ| |||<就任>下ラウジッツ辺境伯「デイトリヒ1世」コンラート1世の子、名目上のランツベルク辺境伯(~11850209死去)
1156年-01:00|イタリア| |||<就任>ヴェネツィア共和国第38代ドージェ(元首)「ヴィタレ・ミキエル2世」(~1172年)
1156年-01:00|フランス| |||<就任>ピコール伯「Gentule」3世(~1178年)
1156年-01:00|ドイツ| |||<就任>マイセン辺境伯「オットー」コンラート1世の息子(~11900218死去)
1156年-01:00|オーストリア| |||<即位>オーストリア辺境伯「ハインリヒ2世」⇒オーストリア公(~11770113死去70歳)
1156年-01:00|イタリア| |||<即位>トレント司教公「聖Albert」2世(~1177年)
1156年-01:00|フランス| |||<即位>ブルターニュ公・レンヌ公・レンヌ伯「コナン4世黒公」初代リッシュモン伯アランとベルトの1人息子(1166年~11710220死去33歳)
1156年-01:00|ポーランド/ドイツ| |||<即位>ポズナニ=シュテティン公「ボギスラフ1世」(~1184年~11870318死去)
1156年-01:00|ポーランド/ドイツ| |||<即位>ポズナニ=シュラファ=シュトルブ公「シュヴァイェントペウク」(~1190年ごろ~1190年代死去)
1156年-01:00|ポーランド/ドイツ| |||<即位>ポズナニ=デミン公「カジミール1世」(~1180年秋死去)
1156年-01:00|スペイン| |||<即位>マジョルカ・タイファ「Ishaq」(~1183年)
1156年-01:00|ドイツ| |||<退任>下ラウジッツ辺境伯「コンラート1世」
1156年 00:00|マン島| |||マン王がサマーレット配下の諸島の内ペリフェーズ(アイラ、マル、コル)とキンタイ部を領有(~1164年)
1156年1月10日-09:00|日本| ||久寿2年12月16日|<死去>藤原泰子、鳥羽天皇の皇后(生年1095年)
1156年1月24日-08:00|中国| ||金・貞元4年|金国、燕京へ会寧から遷都
1156年1月24日-08:00|中国| ||大理・龍興1年|後理国の段正興が龍興と改元
1156年2月-01:00|フランス| |||<就任>ナント伯「ジユワロ1世フィッツ・エン・レス」アンジュー伯ジユワロ・ド・プランタジエネの子、イングランド王ヘンリー2世の弟(~1158年)兄イングランド王ヘンリー2世(アンリ・ド・プランタジエネ)に対抗し蜂起
1156年2月10日-09:00|日本| ||久寿3年1月18日|<死去>藤原定信(生年1088年/公家、書家)
1156年2月23日-08:00|中国| ||金・正隆1年2月1日|金の海陵王が正隆(-1161年)と改元
1156年3月-01:00|ドイツ/オーストリア| |||<即位>バイエルン大公「ハインリヒ12世(獅子公)」ハインリヒ10世の息子、ザクセン公(~1180年追放)
1156年3月-01:00|ドイツ/オーストリア| |||<退位>バイエルン大公「ハインリヒ11世宣誓公」
1156年5月18日-09:00|日本| ||保元1年4月27日|保元に改元

1200迄 (2036件)

1156年5月20日 00:00|アイルランド| |||<死去>アイルランド 上王「ターデルバハ・マック・ルアイト・ウリー・ナ・サイテ・ブ・イデ」
1156年5月20日 00:00|アイルランド| |||<即位>アイルランド 上王「ミウアチェルタハ・マック・ニール」(~1166年没)
1156年6月-01:00|バチカン/イタリア| |||<バチカンの和約>教皇、シリア王グリエルモ1世と和平締結
1156年6月9日-01:00|フランス| |||<就任>ブルゴニュ伯「フリートリヒ1世」<パトリック1世の夫、神聖ローマ皇帝(共同統治~11900610死去)>
1156年6月22日 00:00|アイルランド| |||<就任>アイルランド 連邦共和国政府(アルシング) 法話者「スノリ フンボガソン」(~1170年)
1156年7月20日-09:00|日本| |||保元1年7月2日<死去>「鳥羽法皇」54歳(誕生: 康和5(1103)0116) 74代天皇
1156年7月25日-09:00|日本| |||保元1年7月8日<保元の乱>後白河天皇方の源義朝が、兵を動かして東三条殿を占拠
1156年7月29日-09:00|日本| |||保元1年7月11日|暁、彗星寅方に出現。長さ6尺、白色
1156年7月29日-09:00|日本| 京都府京都市左京区|保元1年7月11日<保元の乱>後白河天皇方の平清盛・源義朝らが白河殿に夜討ちをかけ、崇徳上皇方を破る
1156年8月10日-09:00|日本| |||保元1年7月23日|保元の乱の結末として、崇徳上皇を隠岐へ流し、藤原忠実を知恩院に幽閉/平忠正、源為義は斬首、為朝は伊豆大島に配流
1156年8月15日-09:00|日本| 京都府京都市|保元1年7月28日<死去>平忠正・平長盛は平清盛の手によって処刑された
1156年8月16日-01:00|チェコ| |||ブルノがホーヘミアに復帰(~1173年9月)
1156年8月17日-09:00|日本| 京都府|保元1年7月30日|源義康、大江山にて平家弘、平頼弘、平康弘、平盛弘、平時弘、平光弘、平安弘を斬る
1156年8月17日-09:00|日本| 京都府京都市|保元1年7月30日<死去>源為仲・源為成・源為宗・源為義・源頼賢・源頼仲は源義朝の手によって船岡山で斬首
1156年8月20日-09:00|日本| |||保元1年8月3日|藤原頼長の子4人と藤原教長らが諸国に流される
1156年9月12日-09:00|日本| 東京都大島町|保元1年8月26日|保元の乱で敗れた源為朝が捕えられ伊豆大島に流される
1156年9月20日-01:00|ドイツ| |||<死去>ライン宮中伯「ヘルマン3世」
1156年9月20日-01:00|ドイツ| |||<就任>ライン宮中伯「コンラート」(~11951108死去)
1156年11月2日-09:00|日本| |||保元1年閏9月18日|新立荘園停止等を命ずる(保元の荘園整理令)
1156年11月15日-09:00|韓国/朝鮮| |||高麗・正隆1年閏10月|高麗が金からの知らせにより正隆に改元
1156年12月2日-01:00|フランス| |||<死去>ホーティエ伯「ギヨーム9世」
1156年12月4日-09:00|日本| |||保元1年10月20日|記録所が置かれる
1156年12月25日-01:00|スウェーデン| |||<死去>スウェーデン王国国王「スヴェルケル1世年長王」
1156年12月25日-01:00|スウェーデン| |||<即位>スウェーデン王国国王「エリク9世(聖王)」(~11600518死去)
1157年-04:30|アッガニスタン/インド| |||<死去>ガズナ朝君主「ハム・フラム・シャー」
1157年-04:30|アッガニスタン/インド| |||<即位>ガズナ朝君主「ホスロー・シャー」(~1160年)
1157年-03:00|ベラルーシ| |||<即位>トウロフ・ヒンツク公「ユリー・ヤロスラフ・イチ」(~1167年)
1157年-02:00|ウクライナ| |||<即位>ヴォルィーニ公「ムスチスラフ・イジヤスラフ・イチ」(~1170年)
1157年-02:00|ウクライナ/ロシア/ベラルーシ| |||<即位>チェルニヒウ公「スヴャトスラフ・オレコウ・イチ」(~1164年)
1157年-02:00|ウクライナ| |||<即位>ノヴゴロド・セヴエルスキ公「スヴャトスラフ・フセヴォロド・ウ・イチ」(~1164年)
1157年-01:00|ハンガリー| |||<就任>ハンガリー王国パラン代行「ケレオン」(~1159年頃)
1157年-01:00|ドイツ/ポーランド| |||<就任>ブランデンブルク辺境伯「アルブレヒト1世熊公」(~11701118死去)
1157年-01:00|フランス| |||<就任>マコン伯「Geraud1世」<グイエンヌ伯、ギヨーム3世の息子(~1184年死去)>
1157年 00:00|イギリス| |||<就任>ハンティントン伯「Malcolm4世 of Scotland」(~11651209死去)
1157年2月13日 04:00|シリア・アラブ| |||シリア(アレppo、ダマスカス)で地震、死者極多数
1157年4月29日-09:00|日本| 岩手県|保元2年3月19日<死去>藤原基衡(生年1105年/豪族、奥州藤原氏の第2代当主)
1157年5月15日-04:00|ロシア| |||<即位>ウラジミール・スズダリ大公「聖アントレイ1世ボゴリユフスキー」(~11740629死去)
1157年5月15日-02:00|ウクライナ| |||<死去>キエフ大公「ユリー・ドルゴルーキー」
1157年5月19日-02:00|ウクライナ| |||<復位>キエフ大公「イジヤスラフ3世」(2期目~11581222)
1157年6月19日-09:00|日本| 京都府京都市|保元2年5月11日|京都大火、四条以南、五条以北、烏丸以西、大宮以東焼亡
1157年8月5日-01:00|オランダ| |||<死去>ホント伯「ディルク6世」
1157年8月5日-01:00|オランダ| |||<就任>ホント伯「フロリス3世」(~11900801死去)
1157年8月9日-01:00|デンマーク/ドイツ| |||<死去>デンマーク王・シュレーズヴィヒ公「クヌーズ5世」<ロスキレでスヴェン3世の刺客に暗殺される>
1157年8月21日-01:00|スペイン| |||<死去>カスティリャ・レオン国王・ガリシア国王「アルフォンソ7世」
1157年8月21日-01:00|スペイン| |||<即位>カスティリャ国王「サンチョ3世強欲王」(~11580831死去);レオン国王「フェルナンド2世」(~11880122死去)
1157年8月22日-01:00|ノルウェー| |||<死去>ノルウェー王「オシュタイン2世ハラルドソン」
1157年8月22日-01:00|ノルウェー| |||<即位>ノルウェー王「ホーコン3世シグルドソン肩広王」(11610204まで対立王~11620707死去)
1157年10月23日-01:00|デンマーク/ドイツ| |||<死去>デンマーク王・シュレーズヴィヒ公「スヴェン3世」
1157年10月23日-01:00|デンマーク| |||<即位>デンマーク王「ヴァルデマル1世」(2回目~11820512)

1200迄 (2036件)

1157年10月23日-01:00|デンマーク| |||<ゲラテ・ヘゼの戦い>デンマークの王位を巡ってヴアルデマー1世がスヴェン3世に勝利
1157年10月23日-09:00|日本| ||保元2年9月19日|<任命>鎮守府將軍「藤原雅隆」(~不詳)
1157年11月11日-09:00|日本|京都府京都市|保元2年10月8日|大内裏完成
1158年-05:30|インド| |||<即位>カーカティヤ朝国王「ブラーハムラ1世」(~1196年)
1158年-05:00|キルギス/ウズベキスタン/中国| |||<即位>東カラハン朝ハーン「Muhammad bin Ibrahim」(~1158年)
1158年-04:00|ロシア| |||<就任>ノヴゴロド共和国ノヴゴロド公「スヴャトスラフ・ロズスラヴィチ」(~1160年)
1158年-03:00|ベラルーシ| |||<復位>ドルツク公「ログヴ・オド・ログヴ・オド・ウイチ」(3度目~1159年)
1158年-01:00|ドイツ| |||<死去>ヴェルテンベルク伯「ルトヴィヒ1世」
1158年-01:00|フランス| |||<死去>ルル伯「ウード・ド・ウイトリ」
1158年-01:00|ドイツ| |||<就任>ヴェルテンベルク伯「ルトヴィヒ2世」(1181年死去)
1158年-01:00|クワチア| |||<就任>クワチア・ハン「アハ」(~同年)
1158年-01:00|フランス| |||<就任>ナント伯「コナン3世」紅毛3世の甥⇒「アンリ2世」(~1185年)
1158年-01:00|フランス| |||<就任>ルル伯「イティエ」(~1171年死去)
1158年-01:00|イタリア| |||ホーローニャ大学が成立
1158年 00:00|マン島| |||<就任>マン王「Sumarlidhi Gillibrigtsson」(~1164年死去)
1158年 00:00|マリ/ニジェール| |||<即位>ソンガイ王国国王「ヤマ・ダオ」(~1177年)
1158年1月18日-01:00|チェコ| |||<即位>ホーヘン王「ヴラジスラフ2世」(~1172年11月)
1158年8月31日-01:00|スペイン| |||<死去>カスティリヤ国王「サンチ3世強欲王」
1158年8月31日-01:00|スペイン| |||<即位>カスティリヤ国王「アルフォンソ8世高貴王」(~12141005死去)
1158年8月31日-01:00|フランス/イギリス| |||フランス王ルイ7世、フランス北部のジズール(ウール県)で「ジズール条約」に調印し、王女マルク・リット(生後6ヶ月、母はコンスタン・ド・カスティユ)とイングランド王ヘンリ2世(アンリ・ド・プランタジニ)の長子(3歳の若アリ、母はアリ・エノール)との婚約を決める
1158年9月5日-09:00|日本| ||保元3年8月11日|<就任>関白「近衛基実」
1158年9月5日-09:00|日本| ||保元3年8月11日|<譲位>77代「後白河天皇」上皇となって院政を開始
1158年9月5日-09:00|日本| ||保元3年8月11日|<踐祚>「守仁親王」後白河天皇の子
1158年12月22日-02:00|ウクライナ| |||<即位>キエフ大公「ムスチスラフ3世」(1期目~1159. 4)
1159年-08:00|インドネシア| |||<即位>ケティ王国マハラジャ「サルウエ・シュワ」(~1161年)
1159年-05:30|インド| |||<建国>サンジエリ国
1159年-04:00|ロシア| |||<即位>クルスク公「オルグ・スヴャトスラヴィチ」(~1164年)
1159年-03:00|ベラルーシ| |||<復位>ドルツク公「ケレブ・ログヴ・オド・ウイチ」(2度目~1162年)
1159年-03:00|ベラルーシ| |||<復位>ホロツク公「ログヴ・オド・ホリツヴィチ」ドルツク公(~1162年)
1159年-03:00|ベラルーシ| |||<復位>ミンスク公「ロズスラフ・グレボヴィチ」(~1165年死去)
1159年-02:00|ウクライナ| |||<即位>ヘルゴロド公「ムスチスラフ・イジヤスラヴィチ」(~1161年)
1159年-01:00|イタリア| |||<就任>グラーヴィナ伯「Gilbert」(~1167年)
1159年1月11日-09:00|日本| ||保元3年12月20日|<即位>78代「二条天皇」守仁親王
1159年3月13日-09:00|日本|京都府京都市|保元4年2月22日|<建立>平清盛、白河千体阿弥陀堂
1159年4月12日-02:00|ウクライナ| |||<復位>キエフ大公「ムスチスラフ1世」(2期目~11610212)
1159年5月9日-09:00|日本| ||平治1年4月20日|平治に改元
1159年7月20日-01:00|チュニジア/リビア/イタリア| |||ムワッヒド朝がチュニジア、トリポリのノルマン人を駆逐し支配
1159年9月1日-01:00|バチカン| |||<死去>第169代ローマ教皇「ハドリアヌス4世」
1159年9月7日-01:00|バチカン| |||<就任>対立ローマ教皇「ウィクトル4世(オットー・オ・デ・モンテフェリオ)」(~11640420死去)
1159年9月7日-01:00|バチカン| |||<就任>第170代ローマ教皇「アレクサンデル3世」(~11810830死去)
1159年9月29日-09:00|日本|京都府京都市|平治1年8月16日|後白河院(第77代)御所高松殿焼亡
1159年10月11日 00:00|イギリス| |||<死去>サリ伯「ウィリアム・オブ・フロン」
1160年-05:30|インド| |||<即位>セナ朝国王「ハッターラ・セナ」(~1179年)
1160年-04:30|アフガニスタン/インド| |||<即位>ガズナ朝君主「ホズロー・マリク」(~1186年ゴール朝によって滅亡)
1160年-04:00|アゼルバイジャン/ロシア| |||<死去>シルヴァンシャ朝国王「Manuचेhr3世」
1160年-04:00|ロシア| |||<就任>ノヴゴロド共和国ノヴゴロド公「ムスチスラフ・ロズスラヴィチ」(~1161年)
1160年-04:00|アゼルバイジャン/ロシア| |||<即位>シルヴァンシャ朝国王「Afridun2世」前王の息子(~同年死去)⇒「Akhsitan 1世」前王の兄弟(~1197年死去)
1160年-04:00|ロシア| |||<即位>スモレンスク公「ロマン・ロズスラヴィチ」(~1172年)
1160年-03:00|イラク/イラン/トルクメニスタン| |||<即位>大セルジューク朝スルターン「スライマン・シャー」(~1161年)
1160年-02:00|イスラエル/パレスチナ| |||<就任>聖ヨハネ騎士団「デヴィアン」「オージェ・ド・バルベ」(~11620311)
1160年-01:00|ドイツ| |||<死去>ニルンベルク城伯「ゴットフリート3世・フォン・ラープス」
1160年-01:00|フランス| |||<就任>ヴァロア伯「Raoul2世」(~1167年)
1160年-01:00|イタリア| |||<就任>トスカナ辺境伯「ライナルト・フォン・ダッセル」皇帝代理、ケル大司教(~1163年)
1160年-01:00|ドイツ| |||<就任>ニルンベルク城伯「コンラート2世・フォン・ラープス」(~1191年死去)
1160年-01:00|ドイツ| |||<就任>ヘルク伯「エンゲルベルト1世」(~1189. 7死去)
1160年-01:00|ドイツ| |||<就任>マルク伯「エバーハルト1世」ヘルク=アルテナ伯(~11800123死去)
1160年-01:00|ドイツ| |||<就任>ラーヴェンスベルク伯「ハインリヒ」(~1180年)
1160年-01:00|イタリア| |||<即位>スプレート公「ヴェルフ7世」(~1167年)
1160年 00:00|イギリス| |||<死去>ホイス公「マドック・アブ・マレダット」

1200迄 (2036件)

1160年 00:00|イギリス| |||<即位>ホイス公「Owain ap Gruffydd」(~1195年)、「Gruffydd Maelor ap Madog」(~1191年死去)
1160年 00:00|イギリス| |||ホイスは後にPowys Wenwynwynと呼ばれるY Trallwngの南部と、後にPowys Fadogと呼ばれるDinas Branの北部に分割される
1160年1月-01:00|ベルギー| |||<就任>ベルク伯「エンゲルベルト1世」(~1189年)
1160年1月6日-09:00|日本|京都府京都市|平治1年11月26日|六条院・因幡堂・河原院・崇親院など焼亡
1160年1月11日-01:00|チュニジア/リビア/イタリア| |||アフリカの最後のノーマン要塞であるマティは、ムワッヒド朝の軍隊におちる
1160年1月16日-01:00|ドイツ/イタリア| |||<死去>バーデン辺境伯・ヴェ罗纳辺境伯「ヘルマン3世」
1160年1月16日-01:00|ドイツ/イタリア| |||<就任>バーデン辺境伯・ヴェ罗纳辺境伯「ヘルマン4世」(~11900913死去)
1160年1月19日-09:00|日本|京都府京都市|平治1年12月9日|<平治の乱>藤原信頼と源義朝が後白河上皇の住む三条殿を焼き、藤原通憲(信西入道)の宿所も焼払う/清盛の巧みな戦術で信頼は統一を失う
1160年1月22日-01:00|リビア/モロッコ| |||トリポリタニアはモロッコ(アルモハド帝国)に編入(~1248年)
1160年1月23日-09:00|日本|京都府綴喜郡宇治田原町|平治1年12月13日|藤原信頼と対立していた藤原通憲(信西入道)が山城国の田原で追手の兵に発見されて首を斬られる
1160年2月5日-09:00|日本|京都府京都市|平治1年12月26日|平清盛が、藤原信頼派の討伐の勅令を得て重盛に三千余騎をもって内裏攻撃を敢行/源頼政が平家軍に加担した結果、源義朝らが加茂川を北上して逃走
1160年2月6日-09:00|日本|京都府京都市|平治1年12月27日|藤原信頼が、平治の乱の後始末として六条河原で斬られる/27歳(誕生:長承2(1133))
1160年2月8日-09:00|日本|京都府京都市|平治1年12月29日|<死去>源季実は嫡子・季盛と共に捕らえられ斬首(生年生年未詳/武将)
1160年2月11日-09:00|日本|愛知県知多郡美浜町|平治2年1月3日|<死去>源義朝、東国落ちの途中尾張国知多郡野間で譜代家臣の長田忠致の裏切りに遭い殺害される(38歳、生年1123年/武将、頼朝・範頼・義経らの父)
1160年2月18日-09:00|日本| ||永暦1年1月10日|永暦に改元
1160年3月4日-09:00|日本|京都府京都市|永暦1年1月25日|源義平(源義朝の長男)六条河原にて難波三郎経房に斬られる
1160年3月12日-03:00|イラク| |||<死去>バグダート・アッバース朝カリフ「ムタワィー」
1160年3月12日-03:00|イラク| |||<即位>バグダート・アッバース朝第32代カリフ「ムスタンジド」(~11701218死去)
1160年3月18日-09:00|日本|滋賀県|永暦1年2月9日|源頼朝、近江国で捕らえられる
1160年4月9日-09:00|日本|福島県いわき市|永暦1年3月|鎮守府將軍藤原清衡の娘であった岩城の国守岩城太夫則道公の夫人徳姫、白水阿弥陀堂完成(福島県いわき市)
1160年4月19日-09:00|日本|静岡県伊豆の国市|永暦1年3月11日|源頼朝、伊豆国蛭ヶ小島に配流
1160年5月12日-01:00|チェコ| |||<死去>オモウツ公「オク3世」
1160年5月12日-01:00|チェコ| |||オモウツがホヘミアに復帰(~1173年9月)
1160年5月18日-01:00|スウェーデン| |||<死去>スウェーデン王国国王「エリク9世聖王」
1160年5月18日-01:00|スウェーデン| |||<即位>スウェーデン王国国王「マグヌス2世」(~1161年死去)
1160年7月23日-01:00|チュニジア/エジプト| |||<死去>ファーティマ朝第13代カリフ「アル=ファイズ・ヒ=ナスル=アラ=」
1160年7月23日-01:00|チュニジア/エジプト| |||<即位>ファーティマ朝第14代カリフ「アル=アデイド・リ=デイン=アラ=」(~11710913死去/ファーティマ朝の消滅)
1160年8月9日-01:00|イタリア| |||教皇に味方したミラノを中心としたロンバルディア同盟がドイツ皇帝フリードリヒ一世側の都市ルカへ攻勢に出たが敗北
1160年11月15日-09:00|日本|京都府京都市東山区|永暦1年10月16日|今熊野・新日吉両社成る
1160年12月13日-01:00|チェコ| |||スノイェがホヘミアに復帰(~1173年9月)
1160年12月22日-09:00|日本| ||永暦1年11月23日|<死去>藤原得子(美福門院)(生年1117年/鳥羽上皇の皇后、女院)
1160年12月30日-08:00|中国| |||宋・紹興30年12月1日|南宋が戸部と会子(紙幣)を初めて発行
1161年-05:30|インド| |||<即位>パーラ朝国王「コーヴァンタパーラ」(~1165年)
1161年-05:30|インド| |||<即位>パーンティヤ朝君主「Parakrama Pandyan1世」(~1162年)
1161年-05:00|キルギス/ウズベキスタン/中国| |||<即位>西カラハン朝ハン「Mas'ud Tabghach Khan」(~1171年)
1161年-04:30|アフガニスタン/インド| |||<死去>ゴール朝マリク「アラ=ウッティーン=フサイン2世」
1161年-04:30|アフガニスタン/インド| |||<即位>ゴール朝マリク「シャイフッティーン=ムハンマド1世」フサイン2世の子(~1163年死去)
1161年-04:30|アフガニスタン| |||グズ=トルコマン族がガズナを占領(~1973)
1161年-04:00|ロシア| |||<再任>ヴゴロト共和国ノヴゴロト公「スヴャトスラフ=ロズスラヴィチ」(~1168年)
1161年-04:00|ロシア| |||<死去>リャザン大公「ウラジ=ミル=スヴャトスラヴィチ」
1161年-04:00|ロシア| |||<復位>リャザン大公「グレフ=ロズティスラヴィチ」(~1178年死去)
1161年-03:00|イラク/イラン/トルクメニスタン| |||<即位>大セルジューク朝スルターン「アルスラーン=シャー」(~1176年死去)
1161年-02:00|ウクライナ| |||<即位>ベルゴロト公「ムスチスラフ=ロズスラヴィチ」(~1163年)
1161年-01:00|スウェーデン| |||<死去>スウェーデン王国国王「マグヌス2世」
1161年-01:00|ベルギー| |||<就任>ベルク伯(ベルク=アルナ家)エンゲルベルト1世(~1189年)
1161年-01:00|スウェーデン| |||<即位>スウェーデン王国国王「カール7世」(~11670412死去)
1161年2月3日-01:00|ノルウェー| |||<即位>ノルウェー王「マグヌス5世=アリングソン」(11620707まで対立王~11840615死去)
1161年2月4日-01:00|ノルウェー| |||<死去>ノルウェー王「インゲ1世=ハラルドソン=クロリグ」
1161年2月12日-02:00|ウクライナ| |||<復位>キエフ大公「イジヤスラフ3世」(3期目~3.6死去)

1200迄 (2036件)

1161年3月6日-02:00|ウクライナ| |||<死去>キエフ大公「イジャスラフ3世」
1161年3月6日-02:00|ウクライナ| |||<復位>キエフ大公「ロズスラフ1世」(3期目~11670314死去)
1161年5月9日-09:00|日本|京都府京都市東山区|永暦2年4月13日|後白河法皇が法住寺殿を作り御所とした
1161年6月14日-08:00|中国| ||宋・紹興31年5月19日|<死去>北宋第9代皇帝「欽宗」
1161年8月11日-08:00|中国| ||金・正隆6年7月18日|金の迪古乃、遼の耶律氏と宋の趙氏の男子130余人を殺す
1161年9月21日-08:00|中国| ||金・正隆6年;宋・紹興31年9月|金の迪古乃、宋を攻める
1161年9月24日-09:00|日本| ||応保1年9月4日|應保に改元
1161年10月12日-01:00|オーストリア/スロベニア| |||<死去>ケルテン公「ヘンリ5世」
1161年10月12日-01:00|オーストリア/スロベニア| |||<即位>ケルテン公「ヘルマン2世」(~11811004死去)
1161年10月23日-09:00|日本| ||応保1年10月3日|<死去>妍子内親王(生年生年未詳/皇族、伊勢斎宮)
1161年10月27日-08:00|中国| ||金・大定1年10月7日|<即位>金第5代皇帝「世宗(烏祿=ウル)完顔雍」(~大定29年1月2日(1189年1月20日)死去)
1161年10月28日-08:00|中国| ||金・大定1年10月8日|金の世宗烏祿、大定(~1189年)と改元
1161年11月21日-01:00|フランス| |||<死去>オセル伯・ヌグエール伯「William3世」
1161年11月21日-01:00|フランス| |||<就任>オセル伯・ヌグエール伯「William4世」(~11681024死去)
1161年12月15日-08:00|中国| ||宋・紹興31年11月27日|<死去>金第4代皇帝「海陵煬王(迪古乃=テケイ)完顔亮」南宋への遠征中に配下によって殺害される/40歳(誕生1122年)
1161年12月17日-09:00|日本|島根県出雲市|応保1年11月29日|出雲大社が倒れる
1161年12月19日-08:00|中国| ||金・大定1年12月1日|移剌(耶律)窩斡、臨コで皇帝を称し、天正と改元
1162年-04:00|ロシア| |||<死去>ムロム公「ウラジミール・スヴャトスラヴィチ」
1162年-04:00|ロシア| |||<即位>ムロム公「ユリー・ウラジミロヴィチ」(~11760119死去)
1162年-03:00|ベラルーシ| |||<即位>グイェフ・スク公「ロマン・ブリャチスラヴィチ」(~1165年)
1162年-03:00|ベラルーシ| |||<即位>スルツク公「ウラジミール・ムスチスラヴィチ」(~同年)
1162年-03:00|ベラルーシ| |||<即位>ホロツク公「フセスラフ・ヴァシリコヴィチ」グイェフ・スク公(~1167年)
1162年-03:00|ベラルーシ| |||<退位>グイェフ・スク公「フセスラフ・ヴァシリコヴィチ」
1162年-03:00|ベラルーシ| |||<復位>トルツク公「ロクワ・オロト・ロクワ・オロト・グイェフ・スク公」(4度目~1171年)
1162年-02:00|トルコ| |||<即位>マラティヤ・ダニシュメント朝エミール「ナスルッティーン・ムハンマド」(~1170年)
1162年-02:00|トルコ| |||<即位>メンジューク(エルゾンジヤン)君主「Fahrettin Behramşah」(~1225年)
1162年-02:00|トルコ| |||<即位>メンジューク(デイフ・リ)君主「Iahinsah」(~1198年)
1162年-02:00|ウクライナ| |||<復位>キエフ大公「イジャスラフ3世」(3度目~1162年死去)
1162年-01:00|モンテネグロ| |||<死去>トウクリヤ王「ラドスラフ・グランド・イシュニッチ」
1162年-01:00|ハンガリー| |||<就任>ハンガリー王国パラティン「ヘンリク・ヘダー」(~1164年)
1162年-01:00|ドイツ| |||<就任>リュッケン公「テツワフ」(~1170年)
1162年-01:00|モンテネグロ| |||<即位>トウクリヤ王「ミハヨ・ラドスラヴィッチ」(~1186年1月)
1162年-01:00|セルビア| |||<即位>ラシア大公「デサ」(~1166年)トウクリヤのラドスラフからゼータ(トウクリヤ)とトラヴニアを奪い取り、沿岸のセルビア公国を彼の固い支配下に統一
1162年-01:00|イタリア| |||ハルバロッサ(フェデリコ1世)、ミラノ征服
1162年 00:00|イギリス| |||<死去>ダービー伯「Robert de Ferrers」
1162年 00:00|イギリス| |||<死去>デヴァン伯「Richard de Redvers」
1162年 00:00|イギリス| |||<就任>ダービー伯「William de Ferrers」(~1190年死去)
1162年 00:00|イギリス| |||<就任>デヴァン伯「Baldwin de Redvers」(~1188年死去)
1162年2月10日-02:00|パレスチナ| |||<死去>エルサレム国王「ホードゥアン3世」32歳
1162年2月10日-02:00|パレスチナ| |||<即位>エルサレム国王「アモリー1世」フルクとメリザントの息子(~11740711死去38歳)
1162年2月13日-09:00|日本| ||応保2年1月28日|<死去>重仁親王、皇族(生年1140年)
1162年2月20日-03:30|イラン| |||<死去>ニザリ・イスマイル国君主「Da'i Muhammad ibn Kiya Buzurg-Ummid」
1162年2月20日-03:30|イラン| |||<即位>ニザリ・イスマイル国君主「Imam Hasan 'Ala Dhikr 'ihi's-Salam(Hassan2世)」(~1166年死去)
1162年3月-01:00|ドイツ/イタリア| |||フリートリヒ1世軍がミラノを攻略
1162年3月3日-09:00|日本| ||応保2年2月16日|<死去>最雲法親王(生年1104年/皇族、天台宗の僧)
1162年3月11日-02:00|イスラエル/パレスチナ| |||<就任>聖ヨハネ騎士団「アルノー・ド・コンフ」(~1163年没)
1162年5月31日-01:00|ハンガリー/クロアチア| |||<死去>ハンガリー王・クロアチア王「ゲーズ2世」
1162年5月31日-01:00|ハンガリー| |||<就任>ハンガリー摂政「エステルgom大司教ルカチ・バンソフィ」ヘンドリック・ヘダー」(~7.15)
1162年5月31日-01:00|ハンガリー/クロアチア| |||<即位>ハンガリー王・クロアチア王「イシュトヴァーン3世」(1回目~7.15)
1162年6月15日-09:00|韓国/朝鮮| ||高麗の毅宗16年5月|高麗の伊川、東州などで民衆反乱がおこる
1162年6月27日-01:00|フランス| |||<死去>ブルゴーニュ公「ウート2世」
1162年6月27日-01:00|フランス| |||<即位>ブルゴーニュ公「ユグ3世」(~11920825死去)
1162年7月7日-01:00|ノルウェー| |||<死去>ノルウェー王「ホーコン3世シグルト・ソ肩広王」
1162年7月7日-01:00|ノルウェー| |||<就任>ノルウェー摂政「アーリング・オムソン・スカク腰曲り公」(~1164年)
1162年7月7日-01:00|ノルウェー| |||<即位>ノルウェー対立王「シグルト3世シグルト・ソ」(~11630929死去)
1162年7月11日-09:00|日本| ||応保2年5月27日|<死去>源雅定(生年1094年/公卿、歌人)
1162年7月15日-01:00|ハンガリー/クロアチア| |||<即位>ハンガリー・クロアチア対立王「ラースロ2世」(~11630114没)
1162年7月24日-08:00|中国| ||宋・紹興32年6月11日|<即位>南宋第2代皇帝「孝宗」(~1189年2月18日)

1200迄 (2036件)

1162年7月24日-08:00|中国| ||宋・紹興32年6月11日|<退位>南宋初代皇帝「高宗」
1162年8月6日-01:00|スペイン| ||<死去>アラゴン王・サルダニャ伯・ハルディト伯「モン・パランゲ」-4世(聖伯)」
1162年8月6日-01:00|スペイン| ||<就任>サルダニャ伯「Peter」(~1168年)
1162年8月6日-01:00|スペイン| ||<就任>ハルディト伯「アルフォンソ1世(純潔王, 吟遊詩人王)」ハルディト伯モン・パランゲ-4世とハ
トリエラ女王の息子(~11960425死去)
1162年9月27日-01:00|フランス| ||<死去>ブルゴニユ公「ウート」2世(生年1118年)
1162年9月29日-01:00|ベルギー| ||<死去>シニ伯「Albert1世」
1162年9月29日-01:00|ベルギー| ||<就任>シニ伯「Louis3世」(~11890812死去)
1162年10月16日-08:00|中国| ||金・大定2年9月7日|窩斡, 囚われる
1163年-05:30|インド| ||<即位>チョーラ朝国王「Rajadhiraja2世」(~1178年死去)
1163年-04:30|アフガニスタン| ||<死去>ゴール朝ハミヤーン・アミール「ファフルッディーン・マサード」
1163年-04:30|アフガニスタン| ||<死去>ゴール朝マリク「シャフッディーン・ムハンマド」1世
1163年-04:30|アフガニスタン/インド| ||<即位>ゴール朝スルタン「ギヤースッディーン・ムハンマド」(2世)」サム1世の子(~12030211死去)
1163年-04:30|アフガニスタン| ||<即位>ゴール朝ハミヤーン・アミール「シャムスッディーン・ムハンマド」(~1192年)
1163年-02:00|シリア・アラブ| ||<死去>アンティオキア公「コンスタン(女公)」
1163年-02:00|イスラエル/パレスチナ| ||<就任>聖ヨハネ騎士団「ティアン」ジルベール・ト・サイリ」(~1169年)
1163年-02:00|シリア・アラブ| ||<即位>アンティオキア公「エモン3世」コンスタンと前夫レモン・ド・ポワティエの子(~1201年死去)
1163年-02:00|ウクライナ| ||<即位>オウグルチ公「ロマン・ロススラウイチ」(~同年)
1163年-02:00|ウクライナ| ||<復位>ベルゴロト公「ムススラフ・イジヤスラウイチ」(~1171年)
1163年-01:00|イタリヤ| ||<死去>エステ辺境伯「ボニファツィオ1世」
1163年-01:00|クロアチア| ||<就任>クロアチア・ハン「ベロシュ・ウカウイチ」(2度目~同年)
1163年-01:00|イタリヤ| ||<就任>トスカナ辺境伯「クリスティアン1世・フォン・ブーフ」皇帝代理、マインツ大司教(~1173年)
1163年 00:00|モロッコ| ||<死去>ムワヒッド朝アミール「アブ・アルムミン」
1163年 00:00|モロッコ| ||<即位>ムワヒッド朝アミール「アブ・ヤアケブ・ユースフ1世」(~1184年死去)
1163年1月-01:00|フランス| ||<死去>モンペリアル伯「ティエリ2世」
1163年1月-01:00|フランス| ||<就任>モンペリアル伯「アメ」2世」ティエリ2世の娘ソフィーとモンフォール領主リシャル3世の間の息子(~1
195年死去)
1163年1月14日-01:00|ハンガリー/クロアチア| ||<死去>ハンガリー・クロアチア対立王「ラースロ2世」
1163年1月14日-01:00|クロアチア| ||<即位>クロアチア王「ハンガリー王シュテファン4世」(~1163年6月)
1163年1月14日-01:00|ハンガリー/クロアチア| ||<即位>ハンガリー王・クロアチア王代行「アントン・リッパ・ヘター」(~27日)
1163年1月27日-01:00|ハンガリー/クロアチア| ||<即位>ハンガリー王・クロアチア王「イシュトヴァーン3世」(2回目~11720304没)、対立王
「イシュトヴァーン4世」(~11650411没)
1163年2月5日-08:00|中国| ||西遼・崇福1年|<死去>西遼可汗「仁宗耶律夷列」在位13年
1163年2月5日-08:00|中国| ||西遼・崇福1年|<即位>西遼可汗「承天皇后耶律普速完」(~1177年)崇福と改元
1163年2月5日-07:00|ベトナム| ||大越・政隆宝応1年|大越・李朝の英宗李天祚が政隆宝応と改元(-1174年旧正月)
1163年2月5日-08:00|中国| ||宋・隆興1年1月1日|南宋代孝宗が隆興(-1164年)と改元
1163年5月4日-09:00|日本| ||長寛1年3月29日|長寛に改元
1163年6月4日-09:00|日本| ||長寛1年5月|<任命>鎮守府将軍「藤原長光」(~不詳)
1163年7月11日-09:00|日本|滋賀県大津市|長寛1年6月9日|延暦寺僧徒が園城寺を攻め、堂塔・房舎を焼く
1163年9月-01:00|ハンガリー| ||イシュトヴァーン3世は神聖ローマ皇帝フリードリヒ1世の援軍を受けて、セークシュフェールヴァールで叔父
イシュトヴァーン4世軍を撃破し彼を逮捕しハンガリー王位を取り戻す
1163年9月29日-01:00|ルウェー| ||<死去>ルウェー対立王「シグルド」3世「シグルド・ソン」
1164年-05:30|インド| ||<死去>後期チャルキヤ朝国王「Tailapa3世」殺される
1164年-05:30|インド| ||<即位>後期チャルキヤ朝国王「Jagadhekamalla3世」(~1183年)
1164年-05:30|インド| ||<即位>チャンデーラ朝元首「Yasho-Varman2世」(~1165年)
1164年-04:00|ロシア| ||<即位>クルスク公「フセヴォロド・スヴャトスラウイチ」(~1196年死去)
1164年-04:00|アルメニア/アゼルバイジャン| ||<即位>シャッター朝「ア」国王「シャハンシャー」(~1174年)
1164年-03:00|イェメン| ||<即位>スレイマン首長「Qasim bin Ghanim」(~1174年)
1164年-02:00|ウクライナ/ロシア/ベラルーシ| ||<即位>チェルニヒウ公「オレグ・スヴャトスラウイチ(オレグ2世)」⇒「スヴャトスラフ・フセヴォロド・ウイ
チ」(~1177年)
1164年-02:00|ウクライナ| ||<即位>ノヴゴロド・セヴェルスキー公「オレグ・スヴャトスラウイチ」(~1180年)
1164年-02:00|シリア・アラブ| ||ザンギー朝ヌール・ウッディーンがハラムを奪取
1164年-01:00|フランス| ||<死去>ルシヨン伯「Gausfred3世」
1164年-01:00|クロアチア| ||<就任>クロアチア・ハン「アンブデ」(~1180年)
1164年-01:00|ハンガリー| ||<就任>ハンガリー王国パラチン「アンブ」(~1176年)
1164年-01:00|フランス| ||<就任>ルシヨン伯「Girard2世」(~1172年死去)
1164年-01:00|イタリヤ| ||ヴェローナ、ヴィチエンツァ、パードヴァでヴェローナ同盟成立
1164年 00:00|マン島| ||<死去>マン王「Sumarlidhi Gillibrigtsson」
1164年 00:00|マン島| ||<就任>マン王「Gudhriddhr Olafsson」(2期目~11871110)
1164年1月26日-08:00|中国/ベトナム| ||宋・隆興2年;大越・政隆宝応2年|宋がリ・アイン・トを安南国王に封じ、交趾国
を改めて安南国とする
1164年1月29日 00:00|イギリス| ||イングランドでクレメント法が制定/「保有地の聖俗に関する審問」が定められる

1200迄 (2036件)

1164年2月22日-09:00|日本|和歌山県和歌山市|長寛2年1月28日|紀伊国日前・国県社焼失
1164年4月-02:00|エジプト/シリア・アラブ| |||アレクサンドリア太守エッディンがエジプト征服のためチルクを送る
1164年4月20日-01:00|バチカン| |||<死去>対立ローマ教皇「ウクトル4世(オットー・オ・ディ・モンテフェリオ)」
1164年4月21日-01:00|フランス| |||パリの「サン・ジェルマン・デ・プレ教会」(6区)で「献堂式」(新築の会堂を神にささげる儀式)が行われる
1164年4月28日-01:00|バチカン| |||<就任>対立ローマ教皇「ハスカルス3世」(~11680920死去)
1164年7月6日-01:00|ドイツ| |||<死去>ホルシュタイン伯「アドルフ2世」
1164年7月6日-01:00|ドイツ| |||<就任>シャウエンブルク伯・ホルシュタイン伯「アドルフ3世」(1203年、ホルシュタインをヴァルデマー2世に譲渡~1225年)
1164年7月18日-01:00|スペイン| |||<即位>アラゴン国王「アルフォンソ2世(純潔王, 吟遊詩人王)」ハルセロ伯アルフォンソ1世、ハルセロナ伯ラモン・ベランゲール4世とペドロ・ラウ女王の息子(~11960425死去44歳)
1164年7月18日-01:00|スペイン| |||<退位>アラゴン国王「ペドロ・ラウ」(~11741016死去38歳)
1164年8月-02:00|トルコ| |||<死去>スィヴァス・ダニシュメント朝メルク「マリク・ヤギ・ハサン」
1164年8月-02:00|トルコ| |||<即位>スィヴァス・ダニシュメント朝メルク「マリク・ムシャヒド・ガーズィー」(~1166年)
1164年9月4日-01:00|ベルギー| |||<死去>リエージュ公「リズ」のヘンリー2世
1164年9月4日-01:00|ベルギー| |||<就任>リエージュ公「アレクサンドル2世」(~11670809死去)
1164年9月14日-09:00|日本| ||長寛2年8月26日|<死去>崇徳上皇 46歳(誕生:元永2(1119)0528) 75代天皇
1164年12月15日-08:00|中国| ||金・大定4年;宋・隆興2年11月|金、宋と講和する
1164年12月31日-01:00|オーストリア| |||<死去>シュターアマルク辺境伯「オットカール3世」
1164年12月31日-01:00|オーストリア| |||<就任>シュターアマルク辺境伯「オットカール4世」(⇒1180年シュターアマルク公~11920509死去)
1165年-07:00|カンボジア| |||<即位>カメル王朝国王「トリブヴナーティヤヴァルマン」王位篡奪者(~1177年)
1165年-06:30|ミャンマー| |||<即位>アラカン国王「アナンティリ」(~1167年)
1165年-05:30|インド| |||<即位>チャンデーラ朝元首「ハラルデイン」(~1203年)
1165年-05:30|インド| |||<即位>パラマラ朝国王「ハラハ・ラ」(~1200年)
1165年-03:00|ベラルーシ| |||<死去>ミンスク公「ロズスラフ・グレボヴィチ」
1165年-03:00|ベラルーシ| |||<即位>グイェフスキ公「ダヴィド・ロズスラフヴィチ」(~1167年退位)
1165年-03:00|ベラルーシ| |||<復位>ミンスク公「ダヴィド・グレボヴィチ」(~1167年)
1165年-01:00|フランス| |||<就任>サンボル伯「ユーク4世」(~1205.3死去)アンセルムの子
1165年-01:00|ドイツ| |||<就任>スポンハイム伯「Godfrey2世」(~1183年)
1165年-01:00|イタリア| |||<就任>チロル伯「Berthold1世」(~11800307死去)
1165年 00:00|イギリス| |||<就任>スコットランド大法官「ニコラス」(~1171年)
1165年1月23日-03:30|イラン| |||<死去>ハバント朝太守「Shah Ghazi Rustam」
1165年1月23日-03:30|イラン| |||<即位>ハバント朝太守「Hasan1世」(~1173年殺される)
1165年1月30日-09:00|日本|京都府京都市東山区|長寛2年12月17日|後白河上皇が千一体の観音像を安置する仏堂を発願し平清盛により蓮華王院(三十三間堂)建立
1165年2月13日-08:00|中国| ||宋・乾道1年|南宋代孝宗が乾道(-1173年)と改元
1165年4月11日-01:00|ハンガリー/クロアチア| |||<死去>ハンガリー・クロアチア対立王「イシュトヴァーン4世」
1165年4月23日-09:00|日本|京都府京都市|長寛3年3月11日|京都大火、錦小路富小路より失火、六角、鴨川堤まで類焼、京極寺・悲田院など類焼
1165年7月14日-09:00|日本| ||永万1年6月5日|永萬に改元
1165年7月22日-09:00|日本|京都府京都市右京区|永万1年6月5日|広隆寺講堂を供養する
1165年8月3日-09:00|日本| ||永万1年6月25日|<就任>摂政:近衛基実(~永万2年7月26日在官中に薨御)
1165年8月3日-09:00|日本| ||永万1年6月25日|<譲位>「二条天皇」病気の為→順仁親王踐祚
1165年9月4日-09:00|日本| ||永万1年7月27日|<即位>79代「六条天皇」順仁親王(~11680219)
1165年9月5日-09:00|日本| ||永万1年7月28日|<死去>「二条上皇」23歳(誕生:康治2(1143)0617) 78代天皇
1165年9月15日-09:00|日本|京都府京都市東山区|永万1年8月9日|8月7日の二条天皇葬儀において墓所に掛ける寺額の順序を巡る争論により、延暦寺大衆が清水寺を焼き討ち
1165年12月9日 00:00|イギリス| |||<死去>スコットランド王・ハントイントン伯「マルカム4世大首領王」23歳
1165年12月9日 00:00|イギリス| |||<即位>スコットランド王「ウィリアム1世獅子王」(~12141204死去)兼ハントイントン伯(~1174年)
1166年-05:30|インド| |||<即位>チョーラ朝国王「Rajadhiraja2世」(~1178年)
1166年-05:00|モルデイグ| |||<即位>ティームゲ朝スルタン「Muthey」(~1185年)
1166年-03:30|イラン| |||<即位>ニザリ・イスマイリ国君主「Imam Nur al-Din Muhammad (Muhammad2世)」(~1210年死去)
1166年-02:00|トルコ| |||<即位>スィヴァス・ダニシュメント朝メルク「マリク・イブラヒム」⇒「マリク・イスマイル」(~1172年殺害される)
1166年-01:00|フランス| |||<死去>プロヴァンス伯「レモン・ベランジェ2世」
1166年-01:00|ドイツ| |||<就任>グェルテンベルク伯「ルートヴィヒ2世」(~1181年)
1166年-01:00|フランス| |||<就任>プロヴァンス伯「トマス2世」レモン・ベランジェ2世の娘(~1166年)⇒「アルフォンソ1世(レモン・ベランジェ)」アラゴン王アルフォンソ2世(~1173年)
1166年-01:00|セルビア| |||<即位>初代セルビア大公「ステファン・ネマニヤ」ラシュカ侯(~1196年退位~11990213死去)
1166年-01:00|フランス| |||<即位>ブルターニュ公・レンヌ女公・レンヌ伯「コンスタン」(~12010905死去40歳)
1166年 00:00|アイルランド| |||<死去>アイルランド上王「ミウチェルタッハ・マック・ニール」
1166年 00:00|イギリス| |||<死去>エセックス伯「ジョフリー・ド・マンデヴィル」
1166年 00:00|イギリス| |||<就任>エセックス伯「ウィリアム・ド・マンデヴィル」(~11891114死去消滅)

1200迄 (2036件)

1166年 00:00|アイルランド| |||<即位>アイルランド 上王「ルアイト・リ・マック・ターデ・ルバ・イ」(~11751006)
1166年2月3日-07:00|ベトナム| ||大越・政隆宝応4年|<即位>チャンパ 王「ジヤ・ハリウ・アルマン2世」(~1167年)
1166年3月29日-09:00|日本|京都府京都市中京区|永万2年2月26日|行願寺を供養する
1166年4月6日 00:00|イギリス| |||<死去>ムラン伯「Waleran・ド・ホーモン」
1166年4月6日 00:00|イギリス| |||<就任>ムラン伯「Robert2世」(~1204年)
1166年5月7日-01:00|イタリア| |||<死去>シチリア王「ゲリエル1世」
1166年5月7日-01:00|イタリア| |||<即位>シチリア王「ゲリエル2世」(~11891118死去)
1166年8月24日-09:00|日本| ||永万2年7月27日|<就任>摂政:松殿基房
1166年9月23日-09:00|日本| ||仁安1年8月27日|仁安に改元
1166年12月24日-09:00|日本|京都府京都市|仁安1年12月1日|京都大火/北小路万里小路より出雲路大原辻など20
余町、1000余宇が焼失
1167年-06:30|ミャンマー| |||<死去>パガン王朝君主「アラウンシド・ウー」
1167年-06:30|ミャンマー| |||<即位>アラカン国王「ミン・ンサ」(~1174年)
1167年-06:30|ミャンマー| |||<即位>パガン王朝君主「ナトゥー」(~1171. 2死去)
1167年-03:00|ヘラルシュ| |||<即位>トゥーロフ・ヒンスク公「イヴァン・ユリエウ・イチ」(~1190年)
1167年-03:00|ヘラルシュ| |||<即位>ホロック公「ウオダ・リ・グレボ・ウ・イチ」シンスク公⇒<復位>「フェスラフ・ウ・アシリコウ・イチ」ウ・イェフ・スク公
(~1180年)
1167年-03:00|ヘラルシュ| |||<退位>ウ・イェフ・スク公「ダウ・イト・ロチスラウ・イチ」
1167年-02:00|ウクライナ| |||<即位>ウ・イショ・ロト・公「ダウ・イト・ロチスラウ・イチ」(~1180年)
1167年-02:00|エジプト/パレスチナ| |||エルサレム王アモリー1世がカファを奪取
1167年-01:00|ドイツ| |||<死去>オルデンブルク伯「クリスチャン1世」
1167年-01:00|ドイツ| |||<就任>東フランク大公(ローテンブルク大公)「フリートリヒ3世」(~1169年)
1167年-01:00|ドイツ| |||<就任>ウ・アイマル＝オーラミュンデ 伯「ヘルマン1世」(~1176年)
1167年-01:00|フランス| |||<就任>ウ・アロア伯「Philip of Alsace」(~1185年)
1167年-01:00|フランス| |||<就任>ウ・エルマント・ワ伯「エリザベート」(~11830328死去)
1167年-01:00|フランス| |||<就任>モルテン伯「Marie of Boulogne」「Matthew of Alsace」(~1173年)
1167年-01:00|デンマーク| |||<即位>シュレーズヴィヒ公クリストフ[前任者の非嫡出子](~1173年)
1167年-01:00|イタリア| |||<即位>スレート公「ウ・エルフ6世」(~1173年)
1167年-01:00|ルウェー| |||<即位>ルウェー対立王「オラフ・グッド・ブラント・ウ・グ・ヤク不運王」(~1169年)
1167年-01:00|クロアチア/トルコ| |||イアドラ/ザラをビザンチン支配(~1181年)
1167年-01:00|ボスニア・ヘルツェゴビナ/トルコ| |||ボスニアはビザンチン帝国の一部(~1183年)
1167年 00:00|アイルランド| |||<死去>トモント 王「トイルデ・ルバ・マック・デア・マイト・ウ・ブリアン」
1167年 00:00|チャンネル諸島/イギリス| |||<就任>イギリス王領ガーンジー-島管理者・保護者「Peter Cornet卿」
1167年 00:00|アイルランド| |||<即位>トモント 王「ミウアチャルタハ・マック・トイルデ・ルバ・マック・デア・マイト・ウ・ブリアン」の息子(~1168年没)
1167年1月14日-09:00|日本|滋賀県大津市|仁安1年12月22日|延暦寺五仏院の実相院・五大堂など焼亡
1167年1月16日-09:00|日本|京都府京都市|仁安1年12月24日|京都大火/北小路以北焼亡
1167年1月23日-09:00|日本|広島県|仁安2年|平清盛が日宋貿易のために音戸の瀬戸を開削(広島県)
1167年1月23日-07:00|ベトナム| ||大越・政隆宝応5年|<即位>チャンパ 王「ジヤ・イント・ラ・アルマン4世」(~1190年)
1167年3月-02:00|エジプト/パレスチナ| |||エルサレム王国のアルマリクがカファを攻撃
1167年3月4日-09:00|日本| ||仁安2年2月11日|平清盛、武士でははじめての従一位太政大臣に任ぜられる
1167年3月14日-02:00|ウクライナ| |||<死去>キエフ大公「ロチスラフ1世」
1167年3月14日-02:00|ウクライナ| |||<即位>キエフ大公「ムチスラフ3世」(2期目~1169年)
1167年4月12日-01:00|スウェーデン| |||<死去>スウェーデン王国国王「カール7世」
1167年4月12日-01:00|スウェーデン| |||<即位>スウェーデン王国国王「クヌート1世」(~1195年死去)
1167年4月30日-09:00|日本| ||仁安2年4月10日|<死去>藤原俊憲(生年1122年/公家、学者、歌人)
1167年5月19日-02:00|ウクライナ| |||<即位>キエフ大公「ムチスラフ2世」(2度目~11690312退位)
1167年6月16日-09:00|日本|京都府京都市|仁安2年5月27日|橘逸勢社焼亡
1167年7月18日-08:00|中国| ||金の大定7年7月|金の全真教の開祖王重陽が山東寧海州に全真庵を建てる
1167年8月-01:00|ドイツ/イタリア| |||フリートリヒ1世皇帝軍がトルスクムの戦いでローマ軍を撃破
1167年8月1日-01:00|ベルギー/オランダ| |||<死去>リンブルフ公「ハインリッヒ2世」
1167年8月1日-01:00|ベルギー/オランダ| |||<就任>リンブルフ公「ハインリッヒ3世」(~12210621死去)
1167年8月9日-01:00|ベルギー| |||<死去>リエージュ公「アレクサンドル2世」
1167年8月9日-01:00|ベルギー| |||<就任>リエージュ公「ツェーリングェンのルドルフ」(~11910805死去)
1167年8月19日-01:00|ドイツ/スイス| |||<死去>シュヴァーベン大公「フリートリヒ4世」
1167年8月19日-01:00|ドイツ/スイス| |||<即位>シュヴァーベン大公「フリートリヒ5世」(~11701128死去)
1167年11月10日-09:00|日本|京都府京都市|仁安2年9月27日|五条内裏焼失
1167年12月1日-01:00|イタリア| |||北イタリア・ロンバルディア地方の26(最終的には30)の都市(クレマ、マントヴァ、ベルガモ、ブレシア、ミラノ、ボローニャ、パドヴァ、トレヴィーゾ、ヴィチエンツァ、ヴェローナ、ローデイおよびパルマ等)による軍事同盟(ロンバルディア都市同盟)成立
1168年-04:00|ロシア| |||<就任>ウ・ゴ・ロト 共和国「ゴ・ロト 公」「ロマン・ムチスラウ・イチ」(~1170年)
1168年-03:30|イラン| |||<死去>パダスハニド 朝君主「Shahrivash」

1200迄 (2036件)

1168年-03:30|イラン| |||<即位>ハダス・ニト朝君主「Kai Ka'us1世」(~1184年死去)
 1168年-03:00|ベラルーシ| |||<即位>ガイテフ・スク公「フリャチスラフ・ウ・アシコウ・イチ」(~1175年退位)
 1168年-02:00|トルコ| |||<即位>サルトキッ・君主「Nasiruddin Muhammed」(~1191年)
 1168年-01:00|フランス| |||<就任>アルトワ伯「Philip1世」(~1180年)
 1168年-01:00|イタリア| |||<就任>ケラウ・イ・ナ伯「Richard de Say」(~?)
 1168年-01:00|スペイン| |||<就任>サルダ・ニャ伯「サンチョ1世」(~1223年死去)
 1168年-01:00|スペイン| |||<即位>ハエン・タイファ「Ibrahim」(~1232年)
 1168年-01:00|フランス/イギリス| |||スコットランド王フランス王ルイ7世と秘密同盟を結ぶ
 1168年-01:00|イタリア| |||レツジョ、ロンバルディア同盟に合流
 1168年 00:00|アイルランド| |||<死去>トモント王「ミウアチル・タッハ・マック・トイル・ルバ・ッハ・オー・ブリアン」
 1168年 00:00|アイルランド| |||<即位>トモント王「ト・ナル・モル・オー・ブリアン」トイル・ルバ・ッハ・マック・デア・イマ・イダ・オー・ブリアンの息子(~1194年没)
 1168年1月17日-01:00|フランス/ベルギー| |||<死去>フランドル伯「ティエリー」
 1168年1月17日-01:00|フランス/ベルギー| |||<就任>フランドル伯「フィリップ1世」(~11910801死去)
 1168年2月11日-09:00|日本|広島県廿日市市|仁安3年|この年平清盛、厳島神社社殿を造営
 1168年3月9日 03:00|日本|京都府京都市|仁安3年1月28日|京都大火/四条南、五条北、京極東辺焼亡
 1168年3月24日 03:00|日本|京都府京都市|仁安3年2月13日|<京都仁安3年の大火>午の刻ごろ(午前12時ごろ)南の強風が吹きさす中、六角の南あたりから出火、二条大路を超えて冷泉、朱雀の東あたりまでを灰じんにした/千手堂、悲田院、京極が全焼し、人家は3000余家が延焼
 1168年3月27日 00:00|イギリス| |||<死去>ソールズベリー伯「ハトリック・オブ・ソールズベリー」殺害される
 1168年3月27日 00:00|イギリス| |||<就任>ソールズベリー伯「ウィリアム・オブ・ソールズベリー」(~1196年死去)
 1168年3月30日-09:00|日本| ||仁安3年2月19日|<譲位>79代六条天皇
 1168年3月30日-09:00|日本| ||仁安3年2月19日|<踐祚>憲仁親王/3月20日80代:高倉天皇として即位~11800221
 1168年4月5日 00:00|イギリス| |||<死去>レスター伯「ロバート・ト・ホーモン」
 1168年4月5日 00:00|イギリス| |||<就任>レスター伯「ロバート・ト・ホーモン」(~1190年死去)
 1168年8月5日-09:00|日本| ||仁安3年7月|「和歌現在書目録」成る
 1168年9月20日-01:00|バチカン| |||<死去>対立ローマ教皇「ハスクリス3世」
 1168年9月30日-01:00|バチカン| |||<就任>対立ローマ教皇「カリストゥス3世」(~11780829退任)
 1168年10月24日-01:00|フランス| |||<死去>オセル伯・ヌグエル伯「William4世」
 1168年10月24日-01:00|フランス| |||<就任>オセル伯・ヌグエル伯「Guy」(~1176年死去)
 1168年11月-02:00|エジプト/パレスチナ| |||エルサレム王国軍がエジプトに侵攻し、フスタートが炎上
 1168年12月-02:00|エジプト/シリア・アラブ| |||チルク・ガエジプトに遠征し、エルサレム王アモリー1世を撃退
 1169年-08:00|インドネシア| |||<即位>ケティ王国国王「アル・エシュワラ」(~1171年)
 1169年-05:30|インド| |||<建国>パウンダ・ハタール・ガチアル国
 1169年-04:30|アフガニスタン| |||<即位>ナスリト朝マリク「Taj al-Din3世Harb ibn Muhammad ibn Nasr」(~1213年)
 1169年-04:00|アルメニア| |||<即位>キキア・アルメニア王国国王「ルベノ2世」(~1170年死去)
 1169年-03:30|イラン| |||<即位>ケルマーン・セルジューク朝スルターン「ハフラム・シャー」(~1174年)
 1169年-02:00|イスラエル/パレスチナ| |||<就任>聖ヨハネ騎士団が「デ・イアン」ガスト・ネ・デ・ムル」(~1172年没)
 1169年-02:00|ギリシャ| |||<設立>アトスに聖パテレイモン(ルシコ)修道院
 1169年-02:00|ウクライナ| |||<即位>ペレスラフ・リ公「ウラジミール・クレボウ・イチ」(~1187年)
 1169年-01:00|ドイツ| |||<就任>東フランク大公(ローテンブルク大公)「フリートリヒ4世」(~1188年)
 1169年-01:00|ドイツ| |||<就任>オルデンブルク伯「モリッツ1世」(~1211年死去)
 1169年-01:00|フランス| |||<就任>ポワティエ伯「リカルド1世」エリクとアンリ2世の息子(~1196年)
 1169年-01:00|クマニア/トルコ| |||ラギーザはビザンチン帝国の主権下(~1172年)
 1169年 00:00|イギリス| |||このころオックスフォード大学が成立
 1169年 00:00|イギリス| |||イギリス諸侯をアイルランドに招いたレンスター王デ尔蒙トがイギリス軍の支援でオソリー王マクド・ンチャド・ハをデインで破る
 1169年1月20日-09:00|日本|三重県伊勢市|仁安3年12月21日|伊勢大神宮焼失
 1169年2月4日-01:00|イタリア| |||イタリアのシチリア島で地震(M6.5)、死者1万7000人
 1169年2月6日-02:00|トルコ| |||<死去>キキア・アルメニア王国国王「トス2世(ノス2世)」
 1169年2月6日-02:00|トルコ| |||<即位>キキア・アルメニア王国国王「ルベノ2世」(~1170年死去)
 1169年3月5日-09:00|日本|滋賀県大津市|仁安4年2月5日|比叡山横川中堂焼亡
 1169年3月12日-02:00|ウクライナ| |||<即位>キエフ大公「グレク」(1度目~1170年)
 1169年3月12日-02:00|ウクライナ| |||<退位>キエフ大公「ムチスラフ2世」
 1169年3月26日-02:00|エジプト/シリア・アラブ| |||サラー・アッディン(サラディン)が叔父のチルクを継承し、ファティマ朝の宰相になる
 1169年3月30日-09:00|日本| ||仁安4年3月|後白河上皇、今様の歴史・口伝などを記した「梁塵秘抄口伝集」を巻9まで撰ぶ
 1169年5月6日-09:00|日本| ||嘉応1年4月8日|嘉應に改元
 1169年5月21日-09:00|日本|岩手県西磐井郡平泉町|嘉応1年4月23日|平泉の中尊寺に初めて五輪塔がつくられる
 1169年8月-02:00|エジプト| |||サラディンに対し、黒人宦官ム・タシグが十字軍と共謀して反乱
 1169年8月15日-01:00|ドイツ| |||<即位>ドイツ王「ハインリヒ6世」フリートリヒ1世の息子(共同統治⇒11910414神聖ローマ皇帝~

1200迄 (2036件)

11970928死去)

1169年11月2日-09:00|日本|滋賀県大津市|嘉応1年10月12日|叡山横川中堂でできる
1169年12月30日-09:00|日本| ||嘉応1年12月11日|<死去>覚性入道親王(生年1129年/皇族、僧、歌人)
1170年-05:30|インド| ||<建国>シヤスワン国
1170年-05:30|インド| ||<即位>ガーハダヴァーラ朝国王「シヤヤチャントラ」(~1194年)
1170年-04:00|アルメニア| ||<死去>キリキア・アルメニア王国国王「ルーベ」2世
1170年-04:00|ロシア| ||<就任>ノヴゴロド共和国ノヴゴロド公「リュリク・ロスチスラヴィチ」(~1171年)
1170年-04:00|アルメニア| ||<即位>キリキア・アルメニア王国国王「ムレ」1世(~11750515暗殺される)
1170年-03:00|タンザニア| ||<即位>キルワ・スルタン「Suleiman ibn al-Hassan ibn Dawud」(~1188年)
1170年-02:00|トルコ| ||<死去>キリキア・アルメニア王国国王「ルーベ」2世
1170年-02:00|ウクライナ| ||<即位>ウァルイーニ公「ロマン・ムスチスラヴィチ」(~1188年)
1170年-02:00|ウクライナ| ||<即位>キエフ大公「グレフ」(~11710120死去)
1170年-02:00|トルコ| ||<即位>キリキア・アルメニア王国国王「ムレ」(~11750515死去)
1170年-02:00|ウクライナ| ||<即位>ベルス公「フェヴ・オロド・ムスチスラヴィチ」(~1196年死去)
1170年-02:00|トルコ| ||<即位>マラティヤ・ダニシュメント朝エミール「ファルッテ・イン」(~1172年)
1170年-02:00|シリア・アラブ/パレスチナ| ||エルサレム王アモリー1世、死海でヌール・ウッテ・インを、ガザでサラティンを破る
1170年-01:00|ドイツ/ポーランド| ||<就任>ブランデンブルク辺境伯(アスカニエン家)オットー1世「アルブレヒト1世の息子」(~11840708)
1170年-01:00|フランス| ||<就任>メヌ伯「アンリ若王」共同統治(~11830611死去)
1170年-01:00|ドイツ| ||<就任>リュッケン公「ヤロム」1世(~1217年)
1170年-01:00|デンマーク/ドイツ| ||<就任>シュレーズヴィヒ公「クリストフ」(~1173年死去)前任者の非嫡出子
1170年 00:00|イギリス| ||<即位>アバフロー大公・スワード卿「ミルガン・アブ・オウエイン・グウィネッス」(~1173年)、「ダフイット・アブ・オウエイン・グウィネッス」(東方~1195年)、「ロドリ・アブ・オウエイン・グウィネッス」(西方~1190年)
1170年1月11日-09:00|日本|京都府京都市|嘉応1年12月23日|尾張国目代が美濃国平野荘住人を暴行した事件につき、延暦寺が尾張知行国主・藤原成親の処罰を訴えて内裏に乱入(嘉応の強訴)
1170年1月19日-09:00|日本| ||嘉応2年|この年、歴史物語「今鏡」成る
1170年1月19日-08:00|モンゴル| ||金国がモンゴル人壮丁狩りを実施し、エゲイが戦死
1170年1月19日-08:00|中国| ||西夏の乾祐1年|西夏の仁宗が乾祐(-1193年)と改元
1170年6月14日 00:00|イギリス| ||<即位>イギリス王「若ヘンリー王」(父と共同統治)ヘンリー2世とアリエノール・ダ・キエヌの男子(~1830611死去28歳)
1170年7月10日-09:00|日本| ||嘉応2年5月25日|<任命>鎮守府将軍「藤原秀衡」(~不詳)
1170年7月16日-09:00|日本|京都府京都市|嘉応2年6月1日|洪水により鴨川橋(祇園・清水など)流損
1170年7月25日-01:00|フランス| ||<死去>バル伯「ルノー」2世
1170年7月25日-01:00|フランス| ||<就任>バル伯「アンリ」1世(~11901004死去)
1170年9月6日-03:00|イラク| ||<死去>ザンギー朝モスル・エミール「クトブ・ウッディーン・マウト・ウート」
1170年9月6日-03:00|イラク| ||<即位>ザンギー朝モスル・アミール「サイフッディーン・ガースィー」2世(~1180年死去)
1170年9月21日 00:00|アイルランド/イギリス| ||イングランドがダブリンの北欧王国を占領し、ノス人の支配を終わらせる
1170年10月13日-09:00|朝鮮| ||高麗・大定10年9月2日|<即位>高麗王「明宗」(~11971104退位)
1170年10月13日-09:00|朝鮮| ||高麗・大定10年9月2日|<廃位>高麗王「毅宗」武臣の鄭仲夫、李義方らが突然クーデターを起こし、文臣の官職を奪って巨済島に追放(庚寅の乱)
1170年11月18日-01:00|ドイツ/ポーランド| ||<死去>ブランデンブルク辺境伯・ノルマルク辺境伯「アルブレヒト1世熊公」
1170年11月18日-01:00|ドイツ/ポーランド| ||<就任>ブランデンブルク辺境伯「オットー」1世「アルブレヒト1世の息子」(~11840708死去)
1170年11月23日 00:00|イギリス| ||<死去>グウィネッス王「オウエイン・グウィネッス・アブ・グワファット」
1170年11月28日-01:00|ドイツ/スイス| ||<死去>シュヴァーベン大公「フリートリヒ」5世
1170年11月28日-01:00|ドイツ/スイス| ||<即位>シュヴァーベン大公「フリートリヒ」6世(~11910120死去)
1170年11月28日 00:00|イギリス| ||<死去>グウィネッス王「オウエイン・アブ・グワファット」
1170年11月28日 00:00|イギリス| ||<即位>グウィネッス王「Hywel ab Owain Gwynedd」(~12月殺される)
1170年12月 00:00|イギリス| ||<死去>グウィネッス王「Hywel ab Owain」殺害される
1170年12月 00:00|イギリス| ||<即位>グウィネッス公「Dafydd ab Owain」(~1195年)、「Maelgwn ab Owain」(~1175年)
1170年12月18日-03:00|イラク| ||<死去>バグダード・アッバース朝第32代カリフ「ムスタジド」
1170年12月18日-03:00|イラク| ||<即位>バグダード・アッバース朝第33代カリフ「ムスタディー」(~11800327死去)
1171年-08:00|インドネシア| ||<即位>ケイリ・マハラジャ「Aryesvara」(~同年)
1171年-05:00|キルギス/ウズベキスタン/中国| ||<即位>西カラハ朝ハン「Muhammad Tabghach Khan」(~1178年)
1171年-04:00|ロシア| ||<就任>ノヴゴロド共和国ノヴゴロド公「ユリー・アントレヴィチ」(~1175年)
1171年-04:00|ロシア| ||<即位>スモレンスク公「ヤロムルク・ロマノヴィチ」(~1172年)
1171年-03:00|イェメン| ||<死去>ラッシー朝イマム「アルムタワキル・アフマド・ビン・スレイマン」
1171年-03:00|イラク| ||<即位>ザンギー朝シジャール・エミール「イマート・ウッテ・イン・ザンギー」2世(~1197年)
1171年-03:00|ベラルーシ| ||<復位>ドルツク公「グレフ・ログウ・オロド・ウイチ」(3度目~1180年)
1171年-02:00|ウクライナ| ||<復位>ベルゴロド公「ムスチスラフ・ロスチスラヴィチ」(~1173年)
1171年-01:00|フランス| ||<死去>ルル伯「イティエ」
1171年-01:00|フランス| ||<就任>ルル伯「マサ」4世(~1199年死去)

1200迄 (2036件)

1171年-01:00|クマチア/トルコ| |||スパ・ラトゥム/スパ・ラトをビザンチン支配(~1180年)
1171年 00:00|イギリス| |||<就任>スコットランド 大法官「ダンケルト 司教ウオルター・デ・ビドゥン」(~1178年)
1171年 00:00|イギリス| |||<就任>ストラザン伯「ギルバート」(~1223年死去)
1171年 00:00|イギリス| |||<就任>リッチモンド 女伯「コンスタン・ド・フルターニュ」(~1201年)
1171年1月4日-09:00|日本|京都府京都市東山区|嘉応2年11月26日|今熊野社法華堂、阿弥陀堂焼亡
1171年1月20日-02:00|ウクライナ| |||<死去>キエフ大公「グレゴ」
1171年1月20日-02:00|ウクライナ| |||<即位>キエフ大公「ウラジミール3世」(~同年死去)⇒「ミハイル1世」(~同年退位)⇒「ロマン・ロスチスラヴィチ」(~1173年)
1171年2月-06:30|ミャンマー| |||<死去>パガン王朝君主「ナラトゥー」
1171年2月-06:30|ミャンマー| |||<即位>パガン王朝君主「ナラティンカー」(~1174. 5死去)
1171年2月7日-08:00|中国| ||大理・建徳8年|<譲位>後大理第3代皇帝「景宗正康帝(段正興)」
1171年2月7日-08:00|中国| ||大理・建徳8年|<即位>後大理第4代皇帝「宣宗功極帝(段智興)」(~1200年)
1171年2月7日-08:00|中国| ||西夏・乾祐1年|西夏・乾祐と改元
1171年2月20日-01:00|フランス| |||<即位>ブルターニュ公(ハンティエール家)コンスタン[コナン4世とマーガレット・オブ・ハンティンガダンの1人娘](~1194年. 12010905, 40歳没)
1171年4月7日-09:00|日本| ||嘉応3年3月1日|<死去>ぜん子内親王(生年1159年/皇族、賀茂斎院)
1171年4月7日-09:00|日本| ||嘉応3年3月1日|<死去>休子内親王(生年1157年/皇族、伊勢斎宮)
1171年5月27日-09:00|日本| ||承安1年4月21日|承安に改元
1171年6月18日 00:00|アイルランド| |||<就任>アイルランド 連邦共和国政府(アルシング) 法話者「スティルカール オグソン」(~1181年没)
1171年8月13日-09:00|日本|京都府京都市左京区|承安1年7月11日|東北院焼失
1171年9月13日-02:00|エジプト/シリア・アラブ/イェメン| |||<即位>アイユーブ 朝初代スルタン「サラフッディーン」(~11930304死去)
1171年9月13日-01:00|チュニジア/エジプト| |||<死去>ファーティマ朝第14代カリフ「アル=アデ・リ=ディーン・アラ」ファーティマ朝の消滅
1171年10月16日 00:00|アイルランド/イギリス| |||イングランド 王ヘンリー2世がアイルランドに上陸/アイルランド 貴族が、ヘンリー2世の宗主権を認める
1171年11月8日-01:00|オランダ| |||<死去>エノ伯「ボートゥアン4世」
1171年11月8日-01:00|オランダ| |||<就任>エノ伯「ボートゥアン5世」(~11951217死去)
1171年12月21日-09:00|日本|京都府京都市|承安1年11月23日|土御門高倉殿焼亡
1172年-04:00|ロシア| |||<復位>スモレンスク公「ロマン・ロスチスラヴィチ」(2期目~1174年)
1172年-02:00|トルコ| |||<死去>スィヴ・アス・ダニシュメント 朝メリク「マリク・イスマーイル」殺害される
1172年-02:00|イスラエル/パレスチナ| |||<就任>聖ヨハネ騎士団「デ・イアン「ジュベール・ド・シリ」」(~1177年10月)
1172年-02:00|トルコ| |||<即位>スィヴ・アス・ダニシュメント 朝メリク「マリク・スンヌン」(~1174年死去, ルーム・セルジューク朝に併合)
1172年-02:00|トルコ| |||<即位>マラティヤ・ダニシュメント 朝エミール「アフアリド・ウーン」(~1175年)
1172年-01:00|フランス| |||<死去>ルシヨン伯「Girard2世」
1172年-01:00|イタリア| |||<就任>ヴェネツィア共和国第39代ドージェ(元首)「セバスティアノ・ツィアニ」(~1178年)
1172年-01:00|ドイツ/オランダ| |||<就任>クレフェ伯「ディートリヒ3世」(~1188年)
1172年-01:00|ドイツ| |||<就任>テューリンゲン方伯「ルートヴィヒ3世」(~1190年)
1172年-01:00|ポーランド| |||<就任>ラチフ・シュ公「Mieszko1世 Tanglefoot」(~12110516死去)
1172年-01:00|リビア/エジプト| |||トリポリタニアはエジプトが支配(~1190年)
1172年-01:00|クマチア/イタリア| |||ラグーザはヴェネツィアの主権下(~1173年)
1172年1月14日-09:00|日本|京都府京都市|承安1年12月17日|六条院御堂焼亡
1172年1月27日-08:00|中国| ||大理・利貞1年|後理国の段智興が利貞(-1175年)と改元
1172年1月27日-09:00|日本| ||承安2年12月27日|藤原基房が関白に就任
1172年3月4日-01:00|ハンガリー/クマチア| |||<死去>ハンガリー・クマチア王「イシュトヴァーン3世」
1172年3月4日-01:00|ハンガリー| |||<就任>ハンガリー王国パタイン「アンパット」(~11730113)
1172年3月7日-05:00|トルクメニスタン/ウズベキスタン| |||<死去>ホラズム・シャー朝スルタン「イル・アルスラン」
1172年3月7日-05:00|トルクメニスタン/ウズベキスタン| |||<即位>ホラズム・シャー朝スルタン「ジャラルッディーン・スルタン・シャー」(~1193年死去), 「アラウッディーン・テギシュ」(~1200年死去)
1172年4月16日 00:00|アイルランド/イギリス| |||<就任>アイルランド 判事「ミス卿ヒュー・ド・レイシー」(~1173年4月)
1172年5月27日-09:00|日本| ||承安2年5月3日|<死去>惇子内親王(生年1158年/皇族、伊勢斎宮)
1172年6月9日-09:00|日本| ||承安2年5月16日|<死去>源師仲(生年1116年/公卿、歌人)
1172年6月13日-09:00|日本|京都府京都市|承安2年5月20日|洪水で六波羅付近の人家流失
1172年7月17日-09:00|日本|京都府京都市|承安2年6月25日|京都大火/六角南、烏丸西より失火、三条-四条、町尻東西、三条室町西南に及ぶ
1172年10月14日-01:00|ドイツ| |||<死去>テューリンゲン方伯「ルートヴィヒ2世」
1172年10月14日-01:00|ドイツ| |||<就任>テューリンゲン方伯「ルートヴィヒ3世」(~11901016死去)
1172年11月-01:00|チェコ| |||<即位>ボヘミア王「ベドジフ」ウラジスラフ2世の息子(1回目~1173年9月退位~11890325死去)
1172年12月22日-09:00|日本|京都府京都市|承安2年12月6日|近衛殿(近衛北、室町東)焼亡
1173年-05:30|インド| |||<即位>ホイヤサ朝国王「ハッラー2世」(~1220年)
1173年-04:30|アフガニスタン/インド| |||<即位>ゴール朝スルタン「シハブッディーン・ムハンマド3世」サム1世の子(~12060315死去)
1173年-03:30|イラン| |||<死去>ハバント 朝太守「Hasan1世」殺される
1173年-03:30|イラン| |||<即位>ハバント 朝太守「Ardashir1世」(~1205年退位)

1200迄 (2036件)

1173年-03:00|ヘラルシュ| |||<即位>ヘレスチエ公「スウヤトスラフ・ムスチスラフ・イチ」⇒「ウァシリコ・ヤロホ・ルチ」(~1182年)
 1173年-02:00|ウクライナ| |||<即位>オウルフ公「リュウ・リク・ロスチスラフ・イチ」(~1194年)
 1173年-02:00|ウクライナ| |||<即位>キエフ大公「セウ・オド・3世」(~同年退位)⇒「リュウ・リク2世」(~1174年)
 1173年-02:00|ウクライナ| |||<即位>ヘルム・ロト公「リュウ・リク・ロスチスラフ・イチ」(~1194年)
 1173年-01:00|デンマーク/ドイツ| |||<死去>シュレスヴィヒ公「クリストフ1世」
 1173年-01:00|スペイン| |||<就任>アンソニアス伯「Ponc3世」(~1200年), 「Ponc Hug2世」(~1175年)
 1173年-01:00|ポーランド| |||<就任>ホーレ公「ヤロスワフ」(~12010322死去)
 1173年-01:00|フランス| |||<就任>フランク・アンソニアス伯「レモン・ベランジ・3世」(~11810405死去)
 1173年-01:00|イタリア| |||<即位>スレート公「リテ・ラルフ」(~1183年)
 1173年-01:00|デンマーク/ドイツ| |||<復位>シュレスヴィヒ公「ヴァルデマー1世」(~11820512死去)
 1173年 00:00|イギリス| |||<就任>ペンブルック伯「ギルバート・ト・クレア」(~1185年)
 1173年1月5日-01:00|ポーランド| |||<死去>ポーランド公・マゾフシェ・クワシエ公「ホレスワフ4世ケンジ・エジ・ヤウ・イ」
 1173年1月5日-01:00|ポーランド| |||<即位>ポーランド公「ミェシュコ3世スタウイ」ホレスワフ3世の息子/グィエルモ・ルスカ公を兼ねる(~11770113)
 1173年1月5日-01:00|ポーランド| |||<即位>マゾフシェ・クワシエ公「レシエック」ホレスワフ4世の息子(~1186年死去)
 1173年1月12日-09:00|日本| |||承安2年12月27日<就任>関白:松殿基房(~承安3年11月15日)
 1173年1月13日-01:00|ハンガリー/クロアチア| |||<即位>ハンガリー・クロアチア王「ベラ3世」イシュトヴァーン3世の弟(~11960423死去)
 1173年2月 00:00|イギリス| |||インランド王ヘンリー2世(アンリ・ド・フランス・ジュネ)の長子若アリ、「反乱」を起こし父と対決/若アリが頼った義父のフランス王ルイ7世、フランス北西部ノルマンディーに出兵し、インランド王故ヘンリー1世・ボークレル(碩学王、マティルの父)が建設した「ヴェルヌイ要塞」を包囲
 1173年2月14日-09:00|日本|兵庫県神戸市兵庫区|承安3年|この年平清盛、摂津国兵庫島を築く
 1173年4月 00:00|アイルランド/イギリス| |||<就任>アイルランド 判事代行「ウィリアム・フィッツォーデリン」(~9月)
 1173年4月26日-08:00|中国/日本| |||承安3年3月13日|法皇が清盛に命じて宋に返牒し、日宋貿易が開始
 1173年5月25日-09:00|日本|京都府京都市東山区|承安3年4月12日|後白河院御所の法住寺北殿(七条殿)焼亡
 1173年6月11日-09:00|日本|静岡県|承安3年4月29日|京都・神護寺の再興のために後白河法皇に勸進を強要した僧文覚が捕縛伊豆へ流刑になる
 1173年9月-01:00|チエコ| |||<即位>オモツ公「オルトジ・ヒ3世」(~1177年没)
 1173年9月-01:00|チエコ| |||<即位>スノボ公「コンラート・ホ4世」(~1182年9月)
 1173年9月-01:00|チエコ| |||<即位>ブルガ公「ヴァーツラフ2世」ルビェスラフ1世の息子(~1177年)
 1173年9月-01:00|チエコ| |||<即位>ボヘミア王「ルビェスラフ2世」ルビェスラフ1世の息子(~1178年9月)
 1173年9月-01:00|チエコ| |||<退位>ボヘミア王「バドジフ」(~11890325死去)
 1173年9月 00:00|アイルランド/イギリス| |||<就任>アイルランド 判事代行「ペンブーク伯リチャード・ト・クレア・ストロング・ボウ」(~11760420)
 1173年9月9日-09:00|韓国/朝鮮| |||宋・乾道9年8月|高麗で金甫当が武臣政権に反抗して挙兵するが失敗(~9月)
 1173年9月23日-09:00|日本| |||承安3年8月15日<死去>藤原育子、二条天皇中宮(生年1146年)
 1173年10月6日-01:00|クロアチア/スロベニア/イタリア| |||<死去>イストリア辺境伯「Engelbert3世」兼カルニオラ辺境伯「Engelbert2世」
 1173年10月6日-01:00|クロアチア/スロベニア/イタリア| |||<就任>イストリア辺境伯・カルニオラ辺境伯「Berthold1世」(~11881214死去)
 1173年12月24日-09:00|日本|京都府京都市東山区|承安3年11月18日|清水寺が焼失
 1174年-06:30|ミャンマー| |||<即位>アラカン国王「ヒンサワ」(~1176年)
 1174年-04:00|アルメニア/アゼルバイジャン| |||<即位>シャグ・ド朝(アニ)国王「サルタン・フン・マフムド」(~1199年)
 1174年-04:00|ロシア| |||<復位>スモレンスク公「ヤロフ・ルク・ロマノフ・イチ」(2期目~1175年)
 1174年-03:30|イラン| |||<即位>>ケルマーン・セルジューク朝サルタン「アルスラン・シャー2世」(~1176年)
 1174年-03:00|イェメン| |||<即位>アイユーブ朝(イェメン・バグダッド)アミール「トゥーラーン・シャー」サラフッディーン(兄)(~1176年)
 1174年-02:00|トルコ| |||<死去>スィウ・アス・ダニシュメント朝メルク「マリク・スンヌン」ルーム・セルジューク朝に併合
 1174年-02:00|シリア・アラブ| |||<即位>アイユーブ朝ダマスカス・アミール「サラフッディーン」(~11930304死去)
 1174年-02:00|ウクライナ| |||<即位>キエフ大公「スウヤトスラフ3世」(~同年)⇒「ヤロスワフ2世」(~1175年退位)
 1174年-01:00|フランス| |||<就任>ヌール領主「フィリップ1世・ト・グィルベオン」(~1191年)
 1174年 00:00|イギリス| |||<就任>ハンティントン伯「Simon3世 de Senlis」(~1184年)
 1174年1月30日-09:00|日本|京都府京都市東山区|承安3年12月26日|六波羅蜜寺が焼失
 1174年2月4日-08:00|中国| |||宋・淳熙1年|南宋代孝宗が淳熙(-1189年)と改元
 1174年3月5日-09:00|日本|京都府京都市|承安4年2月|九条御所焼亡
 1174年3月5日-07:00|ベトナム| |||大越・天感至宝1年2月|大越・李朝の英宗李天祚が天感至宝と改元(-1175年)
 1174年5月-06:30|ミャンマー| |||<死去>パガン王朝君主「ナラティンカー」
 1174年5月-06:30|ミャンマー| |||<即位>パガン王朝君主「ナラティンカー」(~12110818死去)
 1174年5月3日-08:00|中国| |||宋・淳熙1年4月|宋で湖氏を中心に頼文成の指導する茶販の反乱起こる
 1174年5月15日-02:00|シリア・アラブ| |||<死去>ザンギー朝(ダマスカス・アレクソ)アミール「ヌルッディーン・マフムド」
 1174年5月15日-02:00|シリア・アラブ| |||<即位>ザンギー朝(ダマスカス・アレクソ)アミール「アッサリフ・イスマイル・アルマリク」(~1181年死去)
 1174年6月29日-04:00|ロシア| |||<死去>ウラジミール・スズダリ大公「聖アントレイ1世・ゴリュフスキー」
 1174年6月29日-04:00|ロシア| |||<即位>ウラジミール・スズダリ大公「ミハイル1世」(~1174.9退位)
 1174年7月11日-02:00|パレスチナ| |||<死去>エルサレム国王「アモリー1世」

1200迄 (2036件)

1174年7月11日-02:00|パレスチナ| |||<即位>エルサレム国王「ボートゥアン4世痲瘋王」アモリー1世とアニェスト・クルネーの息子(11831120からボートゥアン3世と共同統治~11850316死去24歳)

1174年7月13日 00:00|イギリス| |||<就任>スコットランド王摂政「Walter de Bidun」(~11750202)

1174年7月13日 00:00|イギリス| |||<即位>ウジミル・スズダリ大公「ヤボルク3世」(~11750615退位)

1174年9月-04:00|ロシア| |||<即位>ウジミル・スズダリ大公「ミハイル1世」

1174年9月-04:00|ロシア| |||<退位>ウジミル・スズダリ大公「ミハイル1世」

1174年9月-02:00|エジプト| |||アイユーブ朝のサラディンがダマスカスへ遠征を開始

1174年9月28日-09:00|韓国/朝鮮| |||宋・淳熙1年9月|高麗の西京留守の趙位寵が挙兵

1174年9月30日 00:00|イギリス| |||イングランド王ヘンリー2世とその息子たちは1172年以来争っていたが、この日トゥール郊外のモンティで協定を結び仲直り/アリエノールは夫の監視下におかれる

1174年11月-02:00|エジプト/シリア・アラブ| |||アイユーブ朝のサラディンがダマスカスを攻略

1174年12月8日 00:00|イギリス| |||イングランド王がスコットランドの大君主として認められた(~11891205)

1175年-08:00|インドネシア| |||<即位>スンダ・ガラ王国マハラジャ「Prabu Guru Dharmasiksa」(~1297年)

1175年-05:30|インド| |||<即位>パンデヤ朝君主「Jatavarman Srivallaban」(~1180年)

1175年-05:30|インド| |||<即位>パラマラ朝国王「Vindhyavarman」(~1194年)

1175年-05:30|インド| |||<即位>ヤダヴァ朝君主「ビッラマ5世」(~1191年)

1175年-05:30|インド| |||ムハンマ드가ムルタンを攻略

1175年-04:00|ロシア| |||<就任>ノヴゴロド共和国ノヴゴロド公「スヴャトスラフ・ムスチスラヴィチ」(~1175年)⇒<再任>「ムスチスラフ・ロスチスラヴィチ」(~1176年)

1175年-04:00|ロシア| |||<即位>スモレンスク公「ムスチスラフ・ロスチスラヴィチ」(~1177年)

1175年-04:00|ロシア| |||<即位>ペレヤスラヴリ・ザレスキー公「フセヴォロド・ユーリエヴィチ」(~1176年)

1175年-04:00|ロシア| |||<即位>ロストフ公「ムスチスラフ・ロスチスラヴィチ」(~1176年)

1175年-03:00|ベラルーシ| |||<退位>グイェフスク公「フリャチスラフ・グアシニコヴィチ」

1175年-03:00|ベラルーシ| |||<復位>グイェフスク公「フセスラフ・グアシニコヴィチ」(~1178年退位)

1175年-02:00|ウクライナ| |||<復位>キエフ大公「ロマン・ロスチスラヴィチ」(2度目~1177年)

1175年-02:00|トルコ| |||<復位>マティヤ・ダニシュメント朝エミール「ナスルッディーン・ムハンマド」(2度目~1178年ルム・セルジューク朝に併合)

1175年-01:00|イタリア/フランス| |||<死去>サルツツ侯「マンフレート1世」

1175年-01:00|イタリア/フランス| |||<就任>サルツツ侯「マンフレート2世」(~1215年死去)

1175年-01:00|ドイツ| |||<就任>ラーゲンスベルク伯「ヘルマン2世」(~1220年)

1175年1月24日-09:00|日本| |||承安5年| (春) 源空(法然)が初めて専修念仏(浄土宗)を唱えた

1175年1月24日-09:00|日本| 京都府京都市東山区|承安5年|法然, 知恩院創建<浄土宗総本山/京都府>

1175年5月15日-04:00|アルメニア| |||<死去>キリキア・アルメニア王国国王「ムレ1世」暗殺される

1175年5月15日-04:00|アルメニア| |||<即位>キリキア・アルメニア王国国王「ルーベン3世」(~1187年退位)

1175年5月15日-02:00|トルコ| |||<死去>キリキア・アルメニア王国国王「ムレ」

1175年5月15日-02:00|トルコ| |||<即位>キリキア・アルメニア王国国王「ルーベン3世」(~11870506死去)

1175年6月15日-04:00|ロシア| |||<再位>ウジミル・スズダリ大公「ミハイル1世」(~11760620死去)

1175年6月15日-04:00|ロシア| |||<退位>ウジミル・スズダリ大公「ヤボルク3世」

1175年8月14日-07:00|ベトナム| |||大越・天感至宝2年7月26日|<死去>李朝大瞿越第6代皇帝「英宗李天祚」

1175年8月14日-07:00|ベトナム| |||大越・天感至宝2年7月26日|<即位>李朝大瞿越第7代皇帝「高宗李龍翰」(~12101115死去)

1175年8月16日-09:00|日本| |||安元1年7月28日|安元に改元

1175年10月6日 00:00|アイルランド/イギリス| |||ウィンザー条約により、アイルランド上王「リアド・リ・オ・コンチュバ・イア」はイングランド王ヘンリー2世を君主として承認し、上王権廃止(⇒イングランド王がアイルランド卿を兼ねる~1177年5月)

1176年-06:30|ミャンマー| |||<即位>アラカン国王「タナホック」(~1179年)

1176年-04:00|ロシア| |||<即位>ノヴゴロド共和国ノヴゴロド公「ヤロスラフ・ムスチスラヴィチ」(~1177年)

1176年-04:00|ロシア| |||<即位>ペレヤスラヴリ・ザレスキー公「ヤロスラフ・ムスチスラヴィチ」(⇒1187年ペレヤスラヴリ公~1199年死去)チスラヴィチ

1176年-03:30|イラン/イラク/トルクメニスタン| |||<死去>大セルジューク朝スルターン「アルスラーン・シャー」

1176年-03:30|イラン/イラク/トルクメニスタン| |||<即位>大セルジューク朝スルターン「トゥグ・リル3世」(~11940319死去)

1176年-03:30|イラン| |||<即位>ケルマーン・セルジューク朝スルターン「トゥーラーン・シャー2世」(~1183年)

1176年-02:00|ルーマニア/ハンガリー| |||<就任>トランシルヴァニア総督「レウタキウス」(~1196年)

1176年-02:00|トルコ| |||<即位>アルトゥク朝スルターン「イル・ガーズィー2世」(~1184年)

1176年-02:00|トルコ| |||ルム・セルジューク朝軍がビザンティン帝国軍を破る

1176年-01:00|フランス| |||<死去>オセル伯・ヌヴェール伯「Guy」

1176年-01:00|ドイツ| |||<就任>ヴァイマル=オーラムンデ伯「ジークフリート3世」(~1206年)

1176年-01:00|フランス| |||<就任>オセル伯・ヌヴェール伯「William5世」(~1181年死去)

1200迄 (2036件)

1176年-01:00|ドイツ/オランダ| |||<就任>ユーリヒ伯「ヴァルヘルム2世」(~1207年)
1176年 00:00|イギリス| |||<即位>グウィネト公「Rhodri ab Owain」(~1195年死去)
1176年1月3日-09:00|日本|京都府京都市|安元1年11月20日|京都大火、姉小路大宮から出火、押小路東油小路まで延焼、閑院内裏も焼失
1176年1月19日-04:00|ロシア| |||<死去>ムロム公「ユリー・ウラジミロヴィチ」
1176年1月19日-04:00|ロシア| |||<即位>ムロム公「ダヴイト・ユリエヴィチ」(~不明)⇒「ウラジミール・ユリエヴィチ」(~1203年死去)
1176年2月12日-08:00|中国| ||大理・盛徳1年|後理国の段智興が盛徳(-1180年)と改元
1176年2月12日-07:00|ベトナム| ||大越・貞符1年|大越・李朝の高宗李龍翰が貞符と改元(-1186年旧7月)
1176年2月12日-09:00|韓国/朝鮮| ||宋・淳熙3年1月|高麗で公州鳴鶴所の亡伊らが蜂起し、周辺地域を占領
1176年2月13日-08:00|中国| ||金・大定16年|金で女真文字による「史記」等の書が完成
1176年4月11日-09:00|日本|京都府京都市|安元2年3月|九条御所焼亡
1176年4月20日 00:00|イギリス| |||<死去>ペンブルク伯「リチャード・ド・クレア」
1176年4月20日 00:00|アイルランド/イギリス| |||<就任>アイルランド 判事代行「レイモン・フィッツ・エラルト」(~7月)
1176年4月20日 00:00|イギリス| |||<就任>ペンブルク伯「ギルバート・ド・クレア」(~1185年死去)
1176年5月10日-09:00|日本| ||安元2年3月30日|<任命>鎮守府将軍「藤原範季」(~不詳)
1176年5月13日-01:00|フランス| |||<死去>ロレーヌ(ロトリンゲン)公「マチュ1世」
1176年5月13日-01:00|フランス| |||<即位>ロレーヌ(ロトリンゲン)公「シモン2世」(~1205年)
1176年5月29日-01:00|ドイツ/イタリア| |||神聖ローマ帝国フリードリヒ1世(53)がイタリア遠征を行うが、レニャーノの戦いでロンバルディア都市同盟軍に敗れる
1176年6月20日-04:00|ロシア| |||<死去>ウラジミール・スズダリ大公「ミハイル1世」
1176年6月20日-04:00|ロシア| |||<即位>ウラジミール・スズダリ大公「フセヴォロド3世」アント・レイ1世・ミハイル1世の兄弟(~12120415死去)
1176年7月 00:00|アイルランド/イギリス| |||<就任>アイルランド 検事「ウィリアム・フィッツ・オデリン」(~1177年5月)
1176年7月20日-09:00|日本| ||安元2年6月13日|<死去>しゅ子内親王、二条天皇中宮(生年1141年)
1176年8月14日-09:00|日本| ||安元2年7月8日|<死去>平滋子(生年1142年/皇族、高倉天皇の生母)
1176年8月23日-09:00|日本| ||安元2年7月17日|<死去>「六条上皇」(79代天皇)/13歳(誕生:長寛2(1164)1114)
1176年9月-01:00|ルウェー| |||<即位>ルウェー対立王「オイクタイン3世オイクタインソン・モイラ処女王」(~1177年1月死去)
1176年9月17日-02:00|トルコ| |||<ミリカファロン<の戦い>アタリア中部でルム・セルジューク朝が東ローマ帝国に勝利
1176年10月12日 00:00|イギリス| |||<死去>アランデル伯「ウィリアム・ド・オーベニー」
1176年10月12日 00:00|イギリス| |||<就任>アランデル伯「ウィリアム・ド・オーベニー」(~11931224死去)
1176年10月23日-09:00|日本| ||安元2年9月19日|<死去>藤原呈子、近衛天皇中宮(生年1131年)
1176年11月-01:00|ドイツ/パチン| |||皇帝フリードリヒ1世が教皇アレクサンデル3世と講和
1176年11月21日-09:00|日本|奈良県奈良市|安元2年10月19日|仏師運慶円成寺の大日如来像を造る
1176年12月3日-09:00|日本|京都府京都市右京区|安元2年11月|仏師明円大覚寺五大明王像を造る
1177年-07:00|カンボジア/ベトナム| |||チャンパがクメール王国を攻撃し、戦争が勃発
1177年-07:00|カンボジア| |||チャンパー軍、アンコールを攻撃、占領(~1181年)
1177年-04:00|ロシア| |||<復位>スモレンスク公「ロマン・ロスチスラヴィチ」(3期目~1180年死去)
1177年-04:00|ロシア| |||<復位>ノヴゴロド共和国「ゴロト」公「ムスチスラフ・ロスチスラヴィチ」(~1178年)
1177年-02:00|ウクライナ/ロシア/ベラルーシ| |||<即位>チェルニーヒウ公「ヤロスラフ・フセヴォロドヴィチ」(~1198年)
1177年-02:00|ウクライナ| |||<復位>キエフ大公「スвятスラフ3世」(2度目~1180年)
1177年-02:00|エジプト/パレスチナ| |||エルサレム王「ボートン4世」がエジプトの宰相サラーフディーンをモンジザール(テルジエール)で破る
1177年-01:00|ポーランド| |||<就任>グウォグフ公「コンラート・ラスコニギ」(~11900117死去)
1177年-01:00|ハンガリー| |||<就任>ハンガリー王国パタイン「ファルカス・ガタル」(~1183年)
1177年-01:00|チェコ| |||<即位>オモウツ公「ヴァツラフ2世」(~1179年)
1177年-01:00|イタリア| |||<即位>トレント司教公「Salomon」(~1183年)
1177年-01:00|チェコ| |||<即位>ブルノ公「コンラート2世・オタカース」ノイ公(~1182年9月)
1177年 00:00|マリ/ニジェール| |||<即位>ソンガイ王国国王「ファダス」(~1196年)
1177年1月-01:00|ルウェー| |||<死去>ルウェー対立王「オイクタイン3世オイクタインソン・モイラ処女王」
1177年1月13日-01:00|オーストリア| |||<死去>オーストリア公「ハインリヒ2世」70歳
1177年1月13日-01:00|オーストリア| |||<即位>オーストリア公「レオバルト5世」(~11941231死去)
1177年1月13日-01:00|ポーランド| |||<即位>ポーランド公「カジミェシュ2世スワラヴィエトヴィチ」ボレスワフ3世の息子/ガイシリツァ公、サントミェシュ公を兼ねる(~1191年退位)
1177年1月13日-01:00|ポーランド| |||<廃位>ポーランド公「ミェシュコ3世スワトコ」追放
1177年2月1日-08:00|中国| ||西遼・天禧1年|<死去>西遼可汗「承天皇后耶律普速完」在位14年
1177年2月1日-08:00|中国| ||西遼・天禧1年|<即位>西遼可汗「文顯皇帝耶律直魯古」(~1211年)天禧と改元
1177年2月27日-09:00|日本|奈良県奈良市|安元3年1月27日|大地震。東大寺の鐘と大仏螺髪が落ちる
1177年5月 00:00|アイルランド/イギリス| |||<就任>アイルランド 卿「ジョン・ラックランド」(11890903、グロスター伯⇒11990425、ノルマンディー公~11990527、イングランド王ジョン)
1177年5月 00:00|アイルランド/イギリス| |||<就任>アイルランド 検事「ミス卿ヒュー・ド・レイシー」(1回目~1181年4月)
1177年5月5日 11:00|日本|京都府京都市|安元3年4月6日|京都大火/二条南高倉西より出火、藤原師長第・建春門院(滋子)御所焼亡
1177年5月27日 11:00|日本|京都府京都市|安元3年4月28日|<京都安元3年の大火「太郎焼亡」>戌の時ばかり(20時

- ごろ)都の巽(東南)より出火、乾(北西)に至る/公卿の家は関白・内大臣以下14人(の邸宅が)焼失、殿上人以下はその数を知らず/市街地は東は富小路、南は六条、西は朱雀(門)以西(まで)、北は大内(裏)合わせて焼亡、2万余家焼失/炎は大内裏の南外郭に隣接する大学寮から八省院の南側正門の応天門とその東西の二楼、栖鳳楼と翔鸞楼へと延焼、次にその北側の会昌門に移り、続いて天皇と高官が政務を執る八省殿と大極殿を焼く/この間、応天門を灰にした飛び火が大極殿の北側の真言院を焼き、大極殿が焼けている間に、大内裏東南側の神祇官、その北側の大膳職と隣接する主水司も灰とした/別の炎は大内裏南側の民部省と左右に隣接する主計寮及び主税寮、民部省南隣の式部省を焼亡/最期にその南で大内裏中央外郭の朱雀門など、大内裏東南に立ち並ぶ建物群が焼失/また大学寮が完全に焼失したのは畑を隔てて南にある勸学院と同時だった
- 1177年5月30日-09:00|韓国/朝鮮| ||宋・淳熙4年5月|高麗の西京で再び反乱、西北地方で反乱頻発
- 1177年6月-01:00|ルウェー| ||<即位>ルウェー王「スヴェ・シグムンド・ソン」(トロンハイムで11840615まで対立王~12020309死去)
- 1177年6月13日 11:00|日本|京都府京都市|安元3年5月15日|五条北、藤原邦綱第(東洞院東)焼亡
- 1177年6月28日-09:00|日本|京都府京都市左京区|安元3年6月1日|平家一門を倒そうという鹿ヶ谷の陰謀が発覚し、平清盛は首謀者の1人で後白河法皇の側近の藤原師光などを処刑する(鹿ヶ谷事件)
- 1177年6月30日-09:00|日本|鹿児島県|安元3年6月3日|俊寛が鬼界ヶ島に流される
- 1177年7月17日-09:00|日本| ||安元3年6月20日|<死去>藤原清輔(生年1104年/公家、歌人)
- 1177年7月23日-01:00|ドイツ/ハプスブルグ| ||<和解>フリードリッヒ1世が教皇と和解
- 1177年8月29日-09:00|日本| ||治承1年8月4日|治承に改元
- 1177年9月21日-01:00|フランス/イギリス| ||フランス王ルイ7世、フランス北部のノタンクール(パリの西方)で「ノタンクール条約(ノタンクールの和約)」を結び、フランス中南部オグエルニュの「封主権」を巡り対立したイングランド王ヘンリー2世と和睦
- 1177年10月-02:00|イスラエル/パレスチナ| ||<就任>聖ヨハネ騎士団が「デヴィン・ロジェ・デ・ムーラン」(~11870501没)
- 1177年11月25日-02:00|イスラエル/エジプト| ||<モンソザールの戦い>エルサレム王国軍がサッティーン率いるアイユーブ朝軍に勝利
- 1178年-05:30|インド| ||<建国>アサカール国
- 1178年-05:30|インド| ||<死去>チョーラ朝国王「Rajadhiraja2世」
- 1178年-05:30|インド| ||<即位>東ガング朝国王「ヒーマ・デーヴァ2世」(~1198年)
- 1178年-05:30|インド| ||<即位>チョーラ朝国王「クローットウガ3世」(~1218年死去)
- 1178年-05:00|キプス/ウスベキスタン/中国| ||<即位>西ガハラン朝ハン「Ibrahim Arslan Khan」(~1204年)
- 1178年-04:00|ロシア| ||<死去>リャザン大公「グレゴリ・ロステスラヴィチ」
- 1178年-04:00|ロシア| ||<就任>ノヴゴロド共和国ノヴゴロド公「ヤコフ・ロステスラヴィチ」(~1178年)⇒「ロマン・ロステスラヴィチ」(~1179年)
- 1178年-04:00|ロシア| ||<即位>フスコフ公「ムスチスラフ・ダヴイドヴィチ」(~1179年)
- 1178年-04:00|ロシア| ||<即位>リャザン公「ロマン1世グレゴリヴィチ」(~1207年退位~1210年死去)
- 1178年-03:00|ベラルーシ| ||<退位>グイェフスキ公「フセスラフ・グアシリコヴィチ」
- 1178年-03:00|ベラルーシ| ||<復位>グイェフスキ公「フリャチスラフ・グアシリコヴィチ」(~1181年退位)
- 1178年-02:00|パキスタン| ||<即位>アイユーブ朝(ハールヘック)アミール「Turanshah」(~1179年)
- 1178年-02:00|トルコ| ||<退位>マラティア・ダニシメント朝エミール「ナスルッディーン・ムハンマド」ルム・セルジューク朝に併合
- 1178年-01:00|イタリア| ||<死去>エフィソ境伯「フォルコ2世」
- 1178年-01:00|ポーランド| ||<死去>ポメルン公「ツビエスワフ1世」
- 1178年-01:00|イタリア| ||<就任>ヴェネチア共和国第40代「ドージェ」(元首)「オリオ・マストロ・エロ」(~1192年)
- 1178年-01:00|フランス| ||<就任>ヒューゴ伯「Stephanie-Beatrice3世」(~1194年)
- 1178年-01:00|ポーランド| ||<就任>ポメルン公「サボル1世」(~12050207または12.30死去)
- 1178年 00:00|イギリス| ||<就任>スコットランド大法官「セントアンドリュース司教ロジャー・デ・ホーモン」(~1189年)
- 1178年1月7日-09:00|日本|京都府京都市東山区|治承1年12月17日|蓮華王院(三十三間堂)五重塔でける
- 1178年1月14日-09:00|日本| ||治承1年12月24日|彗星出現
- 1178年1月21日-09:00|日本|愛知県豊田市|治承2年|観世音寺創建(風天洞、愛知県足助町)
- 1178年1月27日-09:00|日本| ||治承2年1月7日|寅刻、彗星異方に出現
- 1178年4月13日-09:00|日本|京都府京都市|治承2年3月24日|<京都治承2年の大火「次郎焼亡」>夜中、七条北、東洞院東付近から出火、洞院の南を焼いたのち、西南方から西へと延焼/焼失範囲は、北は北小路南のあたり、南は七条南の東洞院の西角(家経卿御堂所)から八条坊門小路沿いに朱雀大路まで、また北小路南のあたりは、七条大路沿いに朱雀大路まで焼失し、東洞院から朱雀大路に至る範囲がすべて灰となった/町数で50~60か町が焼失
- 1178年5月18日-09:00|日本|京都府京都市|治承2年4月29日|<京都「治承の辻風(竜巻)」>京都の中御門京極から六条大路あたりまで、町中を吹き抜けた旋風に巻き込まれた家々は、公家屋敷や寺のような大きな家も庶民の小さな家もすべて倒壊
- 1178年6月29日-09:00|日本| ||治承2年6月12日|大膳権大夫泰親追奏するには、坤方に星墜ちる/其體水精の如し/その尾2丈ばかり、中絶後7、8尺光る
- 1178年8月29日-01:00|ハプスブルグ| ||<退任>対立ローマ教皇「カリストゥス3世」
- 1178年9月-01:00|チェコ| ||<復位>ボヘミア公「ベトジフ」(2回目~11890325死去)
- 1179年-07:00|カンボジア/ベトナム| ||<クメールのジャヤバルマン7世がチャンパを撃破>
- 1179年-06:30|ミャンマー| ||<即位>アラカン国王「サリナハ」(~1180年)僭主
- 1179年-05:30|インド| ||<即位>セーナ朝国王「ラクシュマナ・セーナ」(~1206年)
- 1179年-04:00|ロシア| ||<就任>ノヴゴロド共和国ノヴゴロド公「ムスチスラフ・ロステスラヴィチ」(~1180年)
- 1179年-04:00|ロシア| ||<即位>コロムナ公「グレゴリ・スヴァトスラヴィチ」(~1179年)
- 1179年-04:00|ロシア| ||<即位>フスコフ公「ムスチスラフ・ロマノヴィチ」(~1195年)

1200迄 (2036件)

1179年-02:00|シリア・アラブ | |||<即位>アイユーブ 朝 (ハマ) 初代アミール「アル=ムザッファル・ウマル」サラフッディーン の兄弟シャール・ハンシャー の息子 (~1191年死去)

1179年-02:00|バグダッド | |||<即位>アイユーブ 朝 (ハ=ルベック) アミール「Farukhshah」 (~1182年)

1179年-02:00|シリア・アラブ | |||<即位>アイユーブ 朝 (ハムス) アミール「Muhammad ibn Shirkuh」 (~11860304死去)

1179年-02:00|エジプト/パレスチナ | |||エジプトの宰相サラフッディーン がシリア方面からエルサレム王国北部へ攻め込みエルサレム王ホー・ト・アン四世とムスリム・ファンで戦い勝敗つかず

1179年-01:00|チェコ | |||<即位>オモツク公「コンラート・オタ4世」ズノイェ公 (~1182年9月)

1179年-01:00|バチカン | |||第3回ラテラン公会議で教皇選挙法を改正、カトリ派を異端とする

1179年 00:00|イギリス | |||<就任>オマル女伯「Hawise of Aumale」 (~12140311死去)

1179年 00:00|ポルトガル | |||ポルトガル王アフォンソ1世は、ローマ教皇アレクサンドル3世と封建的主従関係を結び、ポルトガル王国はカスティーリャから完全独立

1179年2月9日-09:00|日本 | |||治承3年|この年、後白河上皇、今様の歌謡の選集「梁塵秘抄」を編む

1179年2月9日-09:00|日本 |埼玉県熊谷市|治承3年|齊藤朝実盛、聖天山歓喜院長樂寺創建 (埼玉県熊谷市妻沼) <高野山真言宗準別格本山>

1179年2月25日-09:00|日本 | |||治承3年1月17日|後白河法皇が再び院政を始める

1179年3月31日-09:00|日本 |鳥取県米子市|治承3年2月22日|<ツルミ山の戦い>|伯耆国で源氏方の東郷家平とその従兄弟の原田俊兼、俊家が平氏方の小鴨基保らに討たれて死亡、基保側の勝利で終わった

1179年5月2日-09:00|日本 |長野県長野市|治承3年3月24日|信濃国善光寺が焼ける

1179年6月20日-09:00|日本 |京都府京都市東山区|治承3年5月14日|祇園の僧徒が清水寺僧と争い、八坂塔が焼失

1179年7月27日-08:00|マレーシア | |||<死去>ケダ・スルタン国スルタン「ムザッファル・シャー1世」

1179年7月27日-08:00|マレーシア | |||即位>ケダ・スルタン国スルタン「ムザッファル・シャー」 (~12020510死去)

1179年8月20日-01:00|フランス | |||<就死去>オマル伯「William le Gros」

1179年8月20日-01:00|フランス | |||<就任>オマル女伯「Hawise」 (~1194年)

1179年9月17日-01:00|ドイツ | |||<死去>ヒルデガルト・フォン・ビンゲン (生年1098年/ドイツのベネディクト会系女子修道院長、神秘家、作曲家)

1179年9月29日-01:00|バチカン | |||<就任>対立ローマ教皇「インノケンティウス3世」 (~1180.1廃位)

1179年11月1日-01:00|フランス | |||フランス王ルイ7世の子フィリップ・デュー・ド・ネ「(神からの贈り物フィリップ)」の意、のちのフィリップ・オーギュスト王、フィリップ2世)の「戴冠式」(父は存命中)が、フランス北部のランスで行われる

1179年12月17日-09:00|日本 | |||治承3年11月17日|<交替>関白「藤原基房」解任⇒「近衛基通」任命

1179年12月17日-09:00|日本 |愛知県|治承3年11月17日|平清盛による政変のため太政大臣藤原師長が尾張国に配流され、三河守藤原頼家が解任された

1179年12月20日-09:00|日本 |京都府京都市伏見区|治承3年11月20日|<治承三年の政変>平清盛(62)が、後白河法皇(53)を鳥羽殿に幽閉し院政を停止させ、政権を奪取

1180年-06:30|ミャンマー | |||<即位>アラカン国王「ミスティン」 (~1191年)

1180年-04:00|ロシア | |||<死去>スモレンスク公「ロマン・ロスチスラヴィチ」

1180年-04:00|ロシア | |||<就任>ノヴゴロド共和国ノヴゴロド公「ウラジミール・スヴャトスラヴィチ」 (~1181年)

1180年-04:00|ロシア | |||<即位>スモレンスク公「ダウイト・ロスチスラヴィチ」 (~11970823死去)

1180年-04:00|ロシア | |||<即位>プロンスク公「ウラジミール・グレボヴィチ」 (~1186年)

1180年-03:00|イラク | |||<死去>ザンギー朝モスル・アミール「サイフッディーン・ガースィー2世」

1180年-03:00|イラク | |||<即位>ザンギー朝ジャスィーラ・アミール「ムイッスッディーン・サンジャール・シャー」 (~1208年)

1180年-03:00|イラク | |||<即位>ザンギー朝モスル・アミール「ムイッスッディーン・マヌート1世」 (~1193年死去)

1180年-03:00|ベラルーシ | |||<即位>ドルク公「ホリス・ログウ・オロドヴィチ」 (~1196年)

1180年-03:00|ベラルーシ | |||<即位>ムスチスラフリ公「ムスチスラフ・ロマノヴィチ」 (?)

1180年-03:00|ベラルーシ | |||<復位>グイェフスク公「フセスラフ・ヴァシリコヴィチ」 (~1186年死去)

1180年-02:00|ウクライナ | |||<即位>キエフ大公「ヤロスラフ2世」 (~同年) ⇒ 「リュリク2世」 (2度目~1182年)

1180年-02:00|エジプト | |||<即位>シヨウ・サルタン国サルタン「Malasma'i」 (~1183年)

1180年-02:00|ウクライナ | |||<即位>ノヴゴロド・セヴェルスキー公「イゴリ・スヴャトスラヴィチ」 (~1198年)

1180年-02:00|ウクライナ | |||<即位>ベレツコニツァ公「ムスチスラフ・ヤロスラヴィチ」 (~1220年)

1180年-02:00|ウクライナ | |||<即位>ルツク公「インクヴァリ・ヤロスラヴィチ」 (~1220年)

1180年-02:00|ルワンダ | |||<即位>ルワンダ王国ムミ「ンダヒロ1世ルヤンゲ」 (~1213年)

1180年-01:00|フランス | |||<就任>オマル伯「William de Mandeville」Hawiseの夫 (~11891114死去) エックス伯

1180年-01:00|フランス | |||<就任>サンポール伯「エリザベート」 (~1212年)

1180年-01:00|フランス | |||<就任>ビゴール伯「Bernard4世」 (~1192年)

1180年-01:00|ボスニア・ヘルツェゴビナ/トルコ | |||<就任>ボスニア・ハン「ハン・ケリン」 (~1204年)

1180年-01:00|オーストリア | |||<昇格>シュターアマルク辺境伯「オタカル4世」 ⇒ シュターアマルク公 (~11920509死去)

1180年-01:00|ドイツ/オーストリア | |||<即位>ハインリッヒ公「オットー1世」 (~11830711死去)

1180年-01:00|ドイツ/オーストリア | |||<廃位>ハインリッヒ大公「ハインリッヒ12世(獅子公)」追放

1180年-01:00|クロアチア/ハンガリー | |||ハンガリーによるダルマチアのスピリット統治 (~1327年)

1180年-01:00|クロアチア/イタリア | |||ラグーザはノルマン王国「シチリア」(ホーリ)の主権下 (~1190年)

1180年1月-01:00|バチカン | |||<廃位>対立ローマ教皇「インノケンティウス3世」

1180年1月23日-01:00|ドイツ | |||<死去>マルク伯「エーバーハルト1世」ベルク=アルテナ伯

1180年1月23日-01:00|ドイツ | |||<就任>マルク伯「フリートリヒ」ベルク=アルテナ伯 (~1198年死去)

1200迄 (2036件)

1180年3月7日-01:00|イタリ| |||<死去>チル伯「Berthold1世」
 1180年3月7日-01:00|イタリ| |||<就任>チル伯「Berthold2世」(~1181年)、「Henry1世」(~11900614死去)
 1180年3月18日-09:00|日本| ||治承4年2月21日<就任>摂政「近衛基通」(~寿永2年11月21日)
 1180年3月18日-09:00|日本| ||治承4年2月21日<譲位>80代「高倉天皇」高倉院政開始/<踐祚>言仁親王
 1180年3月27日-03:00|イタリ| |||<死去>パグ・ダート・アッパース朝第33代カリフ「ムスタイー」
 1180年3月28日-03:00|イタリ| |||<即位>パグ・ダート・アッパース朝カリフ「ナースィル」(~12251004死去)
 1180年4月13日-01:00|ドイツ| |||<即位>ザクセン公「ベルンハルト3世」(~12120202死去)
 1180年4月27日-09:00|日本|山梨県笛吹市|治承4年4月|武田信義:以仁王の令旨により、甲斐源氏を石和に集結させて挙兵
 1180年4月28日-01:00|フランス| |||<就任>アルトリ伯「Isabella」(~11900315死去)
 1180年4月28日-01:00|フランス| |||フランス王ルイ7世の子フィリップ2世(フィリップ・デュ・ドネ)、「フランドル伯」の姪「ペルト・エー」と結婚/持参金としてフランス中東部のブルワとフランス北部にあったアルトリを手に入れる/アルトリは1237年に「アルトリ伯領」となる
 1180年5月5日-09:00|日本| ||治承4年4月9日|以仁王が平氏追討の令旨を発する(以仁王の乱)
 1180年5月18日-09:00|日本| ||治承4年4月22日<即位>81代「安徳天皇」言仁親王(~11850324)
 1180年5月25日-09:00|日本|京都府京都市|治承4年4月29日|京都で風雨、「治承の辻風(竜巻、旋風)」三条・四条辺に瓢風(辻風)、中御門京極の辺より辻風発生、人家の多く吹き損じ、七条高倉辺に廻瓢とともに落雷、白河・西山で降雹
 1180年6月8日-09:00|日本| ||治承4年5月14日|清盛、後白河の幽閉を解く
 1180年6月13日-09:00|日本| ||治承4年5月19日|源頼政、邸宅に火を放ち、以仁王を奉じて挙兵
 1180年6月20日-09:00|日本| ||治承4年5月26日<死去>以仁王、皇族(生年1151年)平氏家人の藤原景高・伊藤忠綱らが率いる追討軍に討たれた
 1180年6月20日-09:00|日本| ||治承4年5月26日<死去>源頼政(生年1104年/武将、歌人、従三位)平等院で自刃
 1180年6月20日-09:00|日本|京都府宇治市|治承4年5月26日<宇治橋合戦>平家打倒に決起した源頼政と以仁王が宇治川で敗死
 1180年6月21日-09:00|日本|滋賀県大津市|治承4年5月27日|大津三井寺炎上/攻撃に消極的な宗盛・通盛らに代わり、宇治合戦から凱旋した平知盛・重衡らが焼き討ち
 1180年6月26日-09:00|日本|兵庫県神戸市|治承4年6月2日|平清盛の要請で、都を福原へ移す(1126に戻すことになる)
 1180年6月28日-01:00|フランス/イギリス| |||フランス王ルイ7世の子フィリップ2世と、母方の実家「シャンパーニュ伯家」一党の「ランス大司教」ギヨーム、「シャンパーニュ伯」アンリ、「ブロワ伯」チボ、「サントール伯」エティエンヌとの対立を、イングランド王ヘンリー2世(アンリ・ド・プランタジネ)が斡旋し、和解
 1180年8月23日-09:00|日本| ||治承4年8月以降|池田頼政が以仁王を奉じて挙兵すると、池田泰政はその一族として義弟や子たちとともに頼政に加担して戦死
 1180年9月-01:00|ポーランド/ドイツ| |||秋<死去>ホッメルン・デ・ミン公「カンミール1世」
 1180年9月-01:00|ポーランド/ドイツ| |||秋<就任>ホッメルン・デ・ミン公「ヴァルティスラフ2世」(~1184年死去)
 1180年9月8日-09:00|日本|静岡県伊豆の国市|治承4年8月17日<山木合戦>蛭ヶ小島に流刑となっていた源頼朝が、以仁王の令旨を掲げて挙兵/30余騎で山木館を夜襲。山木兼隆を討ち取る
 1180年9月14日-09:00|日本|神奈川県足柄下郡湯河原町|治承4年8月23日<石橋山の戦い(相模国)>源頼朝軍(北條時政父子、安達盛長、狩野茂光、土肥實平、大庭景義)、相模土肥郷石橋山で大庭景親・熊谷直實軍に大敗
 1180年9月15日-09:00|日本|神奈川県逗子市|治承4年8月24日<小坪坂合戦>三浦義澄らを追った畠山重忠軍が稲瀬川で対峙するも和平交渉成る/別行動をとっていた和田義茂7騎が重忠軍へ斬り込んだため合戦/義茂は次々に綴氏3名の首を取り合戦終了
 1180年9月17日-09:00|日本|神奈川県横須賀市|治承4年8月26日<衣笠城合戦(相模国)>畠山重忠軍は衣笠城を攻め三浦義明を討ち取る/義澄らは船で安房へ敗走
 1180年9月18日-01:00|フランス| |||<死去>フランス王(カペー朝)「ルイ7世(若王)」60歳(生年1120年)
 1180年9月18日-01:00|フランス| |||<即位>フランス王(カペー朝)「フィリップ2世尊厳王」(~12230714死去)/初めは義父の「エノー伯」ボート・ヴァン5世が摂政となる
 1180年9月20日-09:00|日本|千葉県安房郡鋸南町|治承4年8月29日|源頼朝、安房平北郡狹島に上陸し北條時政・和田義盛・三浦の一党らと再挙兵
 1180年9月21日-09:00|日本|愛媛県西条市|治承4年9月|河野通清・通信:源氏方について高縄山城に挙兵/平氏方は赤滝城(赤岳)・文台城(丹原町志川)・大熊城(川内町)にこもり抵抗、河野通清はこれを攻め落とした
 1180年9月24日-02:00|トルコ| |||<死去>東ローマ皇帝「マヌエル1世コムネノス(偉大なる)」
 1180年9月24日-02:00|トルコ| |||<即位>東ローマ皇帝「アレクシオス2世コムネノス」マヌエル1世コムネノスと2番目の皇后マリアの子(~1183.107アンドロニコス1世コムネノスに殺害される)政務は生母のマリアが摂政となって取り仕切る
 1180年9月27日-09:00|日本|長野県長野市|治承4年9月7日<市原合戦(信濃国)>源氏方(信濃源氏の井上氏の一族)の村山七郎義直と栗田寺別当大法師範覚(長野市栗田)らとの間で信濃国水内郡市原付近での戦いが行われた/勝敗は中々決着せず、ついに日没.矢が尽きて劣勢となった村山方は、源義仲に援軍を要請.それに応じて大軍を率いて現れた義仲軍を見て笠原勢は即座に退却し越後の豪族・城氏の元へと逃げ込んだ
 1180年9月30日-09:00|日本|山梨県|治承4年9月10日|武田信義、甲斐國に挙兵
 1180年10月3日-09:00|日本|千葉県|治承4年9月13日|千葉小太郎成胤、東六郎胤頼ら下総国の目代を攻め殺し、更に千田庄の千田親政を生捕りに

1200迄 (2036件)

1180年10月26日-09:00|日本|神奈川県鎌倉市|治承4年10月6日|源頼朝が南関東を制圧して相模鎌倉に入る
1180年11月3日-09:00|日本|静岡県|治承4年10月14日|<鉢田の戦い>武田信義・安田義定、および頼朝方の加藤次景廉らが平家方の駿河國目代橋遠茂軍と交戦し目代を捕獲
1180年11月7日-09:00|日本|神奈川県|治承4年10月18日|平家方大庭三郎景親は刈野の森にて頼朝軍と遭遇/その大軍に驚愕、直ちに自軍を解散し河村山に逃亡
1180年11月9日-09:00|日本|静岡県富士市|治承4年10月20日|<富士川の合戦>平家方総大将平惟盛・知度・忠度・實盛らが源氏方頼朝・千葉常胤・三浦義澄・上総介平廣常、および武田党等と駿河國富士川で対峙
1180年11月10日-09:00|日本| ||治承4年10月21日|<任命>遠江国守護「安田義定」(~建久4(1193)年12月5日所領没収)
1180年11月10日-09:00|日本| ||治承4年10月21日|<任命>下総国守護「千葉常胤」(~1189年)
1180年11月10日-09:00|日本| ||治承4年10月21日|<任命>駿河国守護「武田信義」(~元暦元(1184)年6月解任)
1180年11月10日-09:00|日本| ||治承4年10月21日|<任命>上総国守護「介八郎広常」(~寿永2年12月20日(1184)0203)暗殺される)
1180年11月10日-09:00|日本| ||治承4年10月21日|<任命>相模国守護「三浦義澄」(~建久5(1194)年)
1180年11月11日-09:00|日本| ||治承4年10月22日|清盛怒り上総守忠清を斬罪、総大将平維盛流罪
1180年11月15日-09:00|日本| ||治承4年10月26日|源頼朝、河村義秀を斬罪、大庭景親を固瀬川河畔で梟首、長尾定景は三浦義澄に身柄預け後、岡崎義実に取り渡される
1180年11月22日-09:00|日本|茨城県常陸太田市|治承4年11月4日|<金砂城の戦い>佐竹昌成の頼朝方内応で上総介廣常軍により金砂山城陥落/秀義は陸奥國花園城へ逃亡
1180年12月5日-09:00|日本| ||治承4年11月17日|頼朝、侍所を置き和田義盛を別当とする
1180年12月14日-09:00|日本|京都府京都市|治承4年11月26日|平清盛が都を福原から京へ戻す
1180年12月28日-09:00|日本|滋賀県大津市|治承4年12月10日|平盛俊軍が園城寺を攻めて山科で僧兵たちを敗る
1180年12月29日-09:00|日本|滋賀県大津市|治承4年12月11日|平盛俊軍が園城寺及び近辺に放火、同寺は金堂(本堂)を残して全焼/園城寺の門前町など多くの民家も兵火により焼失
1181年-08:00|インドネシア| ||<即位>ケティ王国マハラジャ「クロンチャールヤーデ・イハ」(~1181年)
1181年-07:00|カンボジア| ||<即位>ケメル王朝国王「ジャヤヴァーアルマン7世(チェイヴァーアルマン7世)」(~1218年死去)
1181年-04:00|ロシア| ||<就任>ノヴゴロド共和国ヤロスラフ・ウラジミロヴィチ(~1184年)
1181年-03:00|エチオピア| ||<即位>エチオピア帝国(ザグウェ朝)王「ゲブレ・マスケル・アリベラ」(~1221年死去)
1181年-03:00|ペラルーシ| ||<退位>グイェフ・スク公「ブリヤチスラフ・グアシリコヴィチ」
1181年-02:00|シリア・アラブ| ||<死去>ザンギー朝(タマカス・アレクソ)アミール「アッサリーフ・イスマイル・アルマリク」
1181年-02:00|シリア・アラブ| ||<即位>ザンギー朝アレクソ・アミール「イマート・ウッティーン・ザンギー-2世」(~1183年)
1181年-01:00|ドイツ| ||<死去>ヴュルテンベルク伯「ルートヴィヒ2世」
1181年-01:00|フランス| ||<死去>セーブル伯・ヌヴェール伯「William5世」
1181年-01:00|ドイツ| ||<就任>ヴュルテンベルク伯「ハルトマン」(1240年死去)
1181年-01:00|フランス| ||<就任>セーブル伯・ヌヴェール伯「Agnes1世」(~1192年死去)
1181年-01:00|クロアチア| ||<就任>クロアチア・ハン「マウロ」(~同年)⇒「テニス」(~1183年)
1181年-01:00|フランス| ||<就任>レス伯「Geoffrey3世」(~1186年)
1181年-01:00|イタリア| ||<即位>フリヤ・カラブリア公「エモン」(~1181年)
1181年 00:00|ギリシア| ||<就任>アルスター王権伯「サー・ジョン・ド・クルー」(~1204年、剥奪)
1181年1月8日-09:00|日本| ||治承4年12月21日|<死去>藤原重家(生年1128年/公卿、歌人)
1181年1月15日-09:00|日本|奈良県奈良市|治承4年12月28日|(27日~)平重衡及び道盛率いる平家軍は反平家の牙城、興福寺を攻撃/重衡軍は興福寺僧兵の防御最前線である木津川を難なく渡り、街道沿い民家を焼き払いながら般若坂から北方の奈良へ侵攻、道盛軍は奈良坂を経て西北から奈良に迫った/奈良における戦闘は夜間に及び、たいまつ代わりに興福寺周辺の民家に放火した炎が折からの風に乗って各所に飛び火、元興寺、東大寺などに類焼、東大寺では法華堂、二月堂、正倉院などを残すのみで本堂の大仏殿、講堂、戒壇院、三面僧坊など主要な建物が焼失、大仏は首が融解/興福寺は被害が甚大で、寺内にあった金堂、講堂を始め各堂や院など49棟が全焼、寺外にあった子院37棟、塔2基が全焼/奈良の焼失範囲は、およそ北は般若寺辺りから南は新薬師寺の西方と元興寺に及び、東は東大寺東塔や興福寺東里から西は両寺の西里に及ぶという広大なもので、興福寺、東大寺とともに奈良の街はほぼ全焼
1181年1月17日-09:00|日本|京都府|治承5年|<養和の大飢饉>この年、数年来の大飢饉によって京都で多数の餓死者がでる
1181年1月17日-08:00|中国| ||大理・嘉会1年|後理国の段智興が嘉会(-1184年)と改元
1181年1月30日-09:00|日本| ||治承5年1月14日|<死去>高倉上皇/21歳(誕生:永暦2(1161)0903)80代天皇
1181年2月-01:00|クロアチア/ハンガリー| ||ハンガリーによるダルマチアのザラ支配(~1202年11月)
1181年2月2日-09:00|日本| ||治承5年1月17日|平家により幽閉されていた後白河法皇が、平清盛の死去に伴い院政を再開
1181年3月8日-09:00|日本|愛媛県松山市|治承5年2月21日|平氏方備後亀山城主の西寂により高縄山城落城、河野通清戦死/備後亀山城主の西寂が来襲、越智大島の水軍村上清長の軍を破った/村上清長は粟井坂で戦死
1181年3月16日-01:00|フランス| ||<死去>シャム・ネー伯「アソリ1世」
1181年3月16日-01:00|フランス| ||<就任>シャム・ネー伯「アソリ2世(エルサラム王)」アソリ1世の息子(~11970910死去)
1181年3月20日-09:00|日本| ||治承5年閏2月4日|<死去>平清盛、高熱を発して(64歳、永久6(1118)年1月生/武将、公卿)

1200迄 (2036件)

1181年3月22日-09:00|日本|京都府京都市|治承5年閏2月6日|八条第焼かれる
1181年3月28日-09:00|日本|香川県|治承5年閏2月12日|河野通信が讃岐国司平維盛目代追放
1181年4月 00:00|アイルランド/イギリス| |||<就任>アイルランド 検事代行「ランボ ロー領主ジョン・ド・レイシー」、「リチャード・デ・ベック」(~12月)
1181年4月5日-01:00|フランス| |||<死去>フ ロワ ンス伯「レモン・ベ ランシ」3世
1181年4月5日-01:00|フランス| |||<就任>フ ロワ ンス伯「サンショ」(~1185年)
1181年4月16日-09:00|日本|京都府京都市|治承5年3月|皇嘉門院御所焼亡
1181年4月25日-09:00|日本|岐阜県|治承5年3月10日|<墨俣川の戦い>平重衡の軍が墨俣川の合戦で源行家の軍を破る
1181年5月3日-09:00|日本|愛知県蒲郡市|治承5年3月18日|八百富神社(竹島弁天)創建(愛知県蒲郡市)
1181年5月14日-01:00|フランス| |||「ジャン・ベニ」伯「アンリ・フランドル伯」フィリップ1世が「諸侯同盟」を結び、これに「ブルゴーニュ公」ユーグ3世も加わり、フランス王フィリップ2世(オギュスト尊厳王)と交戦
1181年6月8日-09:00|日本|岐阜県|治承5年4月25日|<墨俣川の戦い>尾張・美濃国境付近の墨俣川(現長良川)において源行家軍と平氏軍との間で行われた戦闘/行家軍は夜間の奇襲を企てて渡河、平氏軍に見破られ、行家軍は大敗/源義円(頼朝の異母弟、源義経の同母兄)、源重光(泉重光、山田重満とも。尾張源氏)、源頼元、頼康(ともに大和源氏)といった源氏一門の諸将が戦死、行家の次男行頼が敵軍の捕虜となっている/行家は矢作川を突破された後に敗走
1181年6月19日 00:00|アイルランド| |||<就任>アイルランド 連邦共和国政府(アルシング) 法話者「ギズール・ハルソン」(~1201年)
1181年6月30日 00:00|イギリス| |||<死去>5代チェスター伯「ヒュー・ド・キウエリカ」
1181年6月30日 00:00|イギリス| |||<就任>6代チェスター伯「ラルフ・ド・フロンツウィル」(~12321026死去)
1181年7月-01:00|フランス| |||<即位>ブルゴーニュ公「ジョフロワ2世」イングランド 王ヘンリー2世とアリエノール・ダキテーヌの4男(コンスタンと共同統治~11860819死去27歳)
1181年7月 00:00|イギリス| |||<就任>リッチモンド 伯「ジョフロワ2世」コンスタンとの結婚により(~11860819)
1181年7月4日-09:00|日本|京都府京都市右京区|治承5年5月21日|法金剛院御所焼亡
1181年7月27日-09:00|日本|長野県長野市|治承5年6月14日|<横田河原の戦い>信濃で挙兵した源義仲らの諸源氏に対して平氏方の越後の城助職が攻め込んで発生した戦い/横田河原において平家の越後軍は9000騎余が討たれたり逃げ去り、兵力では城軍に遥かに劣る信濃勢が勝利を収める
1181年8月25日-09:00|日本| ||養和1年7月14日|養和に改元
1181年8月30日-01:00|バチカン| |||<死去>第170代ローマ教皇「アレクサンデル3世」
1181年9月1日-01:00|バチカン| |||<就任>第171代ローマ教皇「ルキウス3世」(~11851125死去)
1181年10月4日-01:00|オーストリア/スロベニア| |||<死去>ケルテン公「ヘルマン2世」
1181年10月4日-01:00|オーストリア/スロベニア| |||<即位>ケルテン公「ウルリッヒ2世」(~12020810死去)
1181年10月15日-09:00|日本|福井県|養和1年9月6日|平通盛、越前国で義仲軍と合戦し、当国住人新介実澄(稲津新介、稲津実澄)・平泉寺の最明(斎明)らの寝返りによって敗退
1181年10月15日-09:00|日本|和歌山県|養和1年9月6日|熊野権別当湛増、源頼朝に呼応して蜂起
1181年12月 00:00|アイルランド/イギリス| |||<就任>アイルランド 検事「ミース卿ヒュー・ド・レイシー」(2回目~11840901)
1181年12月23日-09:00|日本| ||養和1年11月16日|<死去>覚快法親王、天台宗の僧(生年1134年)
1182年-08:00|インドネシア| |||<即位>ケティリ王国マハラジャ「カメーシュワラ」(~1185年)
1182年-04:00|ロシア| |||<就任>ノヴゴロド 共和国「ゴロト」公「ヤロスラフ・ウラジミロヴィチ」(~1184年)
1182年-03:00|イェメン| |||<即位>アイユーブ 朝(イェメン・ベジャス) アミール「トゥグ・ティギン」トゥーラン・シャーとサラフッディーンの兄弟(~1197.8死去)
1182年-03:00|ベラルーシ| |||<即位>ドゥヴロウツァ公「グレブ・ユリエヴィチ」(~1190年)
1182年-02:00|バハワン| |||<即位>アイユーブ 朝(バールベック)アミール「Bahramshah」(~1230年)
1182年-02:00|ウクライナ| |||<復位>キエフ大公「スвятスラフ3世」(3度目~11940727死去)
1182年-01:00|オランダ| |||<死去>ゲルテルン伯「ハインリヒ(ヘントリック)」
1182年-01:00|フランス| |||<就任>オーベルニュ伯「Robert4世」(~1194年)
1182年-01:00|オランダ| |||<就任>ゲルテルン伯「オットー1世」(~1207年死去)
1182年-01:00|イタリア| |||<即位>プツィア・カラブリア公「ボエモン」ルッジェーロ4世の甥(~1182年)
1182年 00:00|チャンル諸島/フランス| |||<就任>オルタニ島領主「Guillaume L' Ingenieur」(~1222年)
1182年1月10日-09:00|日本| ||養和1年12月4日|<死去>藤原聖子、崇徳天皇の中宮(生年1122年)
1182年2月5日-09:00|日本| ||養和2年|養和の大飢饉、疫病が流行し餓死者が数万人に達する
1182年2月21日-09:00|日本| ||養和2年1月17日|<院政再開>後白河法皇(平清盛の死去に伴い)
1182年4月5日-09:00|韓国/朝鮮| ||宋・淳熙9年3月|高麗全州で竹同らが官奴・農民を率いて蜂起
1182年4月19日-09:00|日本|神奈川県鎌倉市|養和2年3月15日|源頼朝が鎌倉由比ヶ浜から鶴岡への新道を作らせる
1182年4月27日-08:00|中国| ||金・大定22年3月23日|金、重修制条を頒かつ
1182年5月12日-01:00|デンマーク/ドイツ| |||<死去>デンマーク王・シュレーグ・化公「ヴァルデマー1世」51歳
1182年5月12日-01:00|デンマーク/ドイツ| |||<即位>デンマーク王「クヌーズ6世」ヴァルデマー1世とミンスク公女ソフィアの長男(~1202112死去)兼シュレーグ・化公(~1183年退位)
1182年6月4日-09:00|日本|石川県|養和2年5月2日|平氏軍が篠原・安宅に源氏軍を破る
1182年6月11日-09:00|日本|富山県高岡市|養和2年5月9日|般若野で源義仲方の今井兼平と平氏の先鋒隊との合戦が始る(倶利伽羅峠の合戦の始り)

1200迄 (2036件)

1182年6月29日-09:00|日本| ||寿永1年5月27日|寿永に改元
1182年9月-01:00|チェコ| ||<就任>モラヴィア辺境伯「コンラート・オタ4世」(~11890615)
1182年10月8日-09:00|日本|長野県長野市|寿永1年9月9日|<横田河原合戦>源義仲が、信濃国千曲川において、平氏軍の城長茂に勝利
1183年-05:30|インド| ||<即位>後期チャルキヤ朝国王「ソーマシェウァラ4世」(~1200年)
1183年-03:30|イラン| ||<即位>ケルマン・セルジューク朝スルターン「ムハンマド2世」(~1187年)
1183年-03:00|ベラルーシ| ||<即位>ピンスク公「ヤロスラフ・ユリウイチ」(~)
1183年-02:00|シリア・アラブ| ||<即位>アイユーブ朝(アレクソ)アミール「Salah al-Din ibn al-Ayubbi」(~1193年)
1183年-02:00|エジプト| ||<即位>ショワ・サルタン国サルタン「Husein」(~1193年)
1183年-01:00|フランス| ||<死去>ダマルタン伯「Alberic2世」
1183年-01:00|クロアチア| ||<就任>クロアチア・ハン「スパン」(~1185年)
1183年-01:00|フランス| ||<就任>ダマルタン伯「Alberic3世」(~12000919死去)
1183年-01:00|デンマーク/ドイツ| ||<即位>シュレースヴィヒ公「ヴァルデマー2世」(1202年よりデンマーク王~1216年退位)
1183年-01:00|イタリア| ||<即位>スプレート公「コンラット1世」(1期目~1190年)
1183年-01:00|ベルギー/オランダ| ||<即位>ブラバント公「アンリ1世」公国創設(~12351205死去)
1183年-01:00|スペイン| ||<即位>マジョルカ・タイファ「Muhammad2世」(~1184年)
1183年-01:00|デンマーク/ドイツ| ||<退位>シュレースヴィヒ公「クヌズ6世」
1183年-01:00|ホスニア・ヘルツェゴビナ/ハンガリー| ||ホスニアはハンガリーの一部(~13771026)
1183年 00:00|イギリス| ||<就任>3代マー伯「ジルクリスト」(~1203年死去)
1183年3月18日-09:00|日本|栃木県下都賀郡野木町|寿永2年2月23日|<野木宮合戦>下野国の野木宮(栃木県下都賀郡野木町)で志田義廣軍(佐竹氏の一部・下野小山氏の関政平・多気義幹等)が打ち破る/乱後、東條氏所領の稲敷郷は龍ヶ崎氏祖下河辺氏所領となり義廣の信太庄は小田氏祖八田知家の所領となる
1183年3月28日-01:00|フランス| ||<死去>ヴェルマントワ伯「エリザベート」
1183年3月28日-01:00|フランス| ||<就任>ヴェルマントワ伯「アリエノール」(~12130619死去)
1183年5月20日-09:00|日本|福井県坂井市|寿永2年4月27日|平氏軍、平泉寺長吏斎明の内応により燧城と河上城を落とす
1183年6月2日-09:00|日本|富山県小矢部市|寿永2年5月11日|<倶利伽羅峠の戦い>越中・加賀国の国境にある砺波山の倶利伽羅峠で源義仲軍と平維盛率いる平家軍との間で戦われた合戦/平家軍が寝静まった夜間に、義仲軍は突如大きな音を立てながら攻撃を仕掛け、平家軍7万余騎は倶利伽羅峠の断崖に転落して壊滅/平家は、義仲追討軍10万の大半を失い、平維盛は命からがら京へ逃げ帰った
1183年6月3日-09:00|日本|石川県羽咋郡宝達志水町|寿永2年5月12日|平維盛が加賀に敗退し、志雄山の平氏軍が退却
1183年6月11日 00:00|イギリス/フランス| ||<死去>イングランド王「ヘンリー若王」兼メース伯「アンリ若王」28歳
1183年6月11日-09:00|日本| ||寿永2年5月20日|<死去>佐竹隆義(生年1118年/武将、佐竹氏の第2代当主)
1183年6月12日-09:00|日本|石川県加賀市|寿永2年5月21日|平氏軍、篠原の合戦で木曾義仲に敗れる。斎藤実盛討たれる
1183年6月18日-02:00|エジプト/シリア・アラブ| ||アイユーブ朝サラディンがアレクソを奪還し、シリアとエジプトの統一が成る
1183年6月22日-09:00|日本|石川県加賀市|寿永2年6月1日|源義仲が、安宅・加賀篠原の平氏の陣を襲い、壊滅させる
1183年6月30日-01:00|イタリア| ||フリートリヒ1世がロンバルディア都市同盟を承認和解
1183年7月11日-01:00|ドイツ/オーストリア| ||<死去>バイエルン公「オットー1世」
1183年7月11日-01:00|ドイツ/オーストリア| ||<即位>バイエルン公「ルートヴィヒ1世」オットー1世の息子(~12310915暗殺された)
1183年8月15日-09:00|日本|京都府京都市|寿永2年7月26日|比叡山の僧兵が京都に降りて来て市内の放火略奪が発生
1183年8月17日-09:00|日本| ||寿永2年7月28日|後白河法皇が平家追討の院宣を下す
1183年8月18日-09:00|日本|京都府京都市|寿永2年7月29日|平家一門の都落ちにより、祇園中路五条坊門失火、六波羅蜜寺・西八条の平家邸宅・常光院など焼亡
1183年9月-02:00|トルコ| ||<死去>東ローマ皇帝「アレクシオス2世コムネノス」殺害される
1183年9月6日-09:00|日本| ||寿永2年8月18日|源義仲が、平氏一門の官位を奪い所領を没収
1183年9月8日-09:00|日本| ||寿永2年8月20日|<踐祚>82代「後鳥羽天皇」/寿永3年7月28日即位(~11980111)
1183年10月-02:00|トルコ| ||<即位>東ローマ皇帝「アンドロニコス1世コムネノス」マヌエル1世コムネノスの従弟。クーデターを起こして摂政マリアを殺害し、アレクシオス2世の共同皇帝となった(~11850911反乱軍によって虐殺された)
1183年10月29日-09:00|日本|岡山県岡山市北区|寿永2年10月12日|<福降寺囃合戦>備前国福降寺縄手(現岡山市北区)で木曾義仲軍と平氏方の武将妹尾兼康が戦い、兼康方は木曾の大軍の前に城郭を攻め落とされ、妹尾兼康は今井兼平の軍勢に突入して討ち死に
1183年11月17日-09:00|日本| ||寿永2年閏10月1日|95%ほど欠けた金環食が起こった
1183年11月17日-09:00|日本|岡山県倉敷市|寿永2年閏10月1日|<水島の戦い(備中国)>備中国水島(現在の倉敷市玉島)において義仲軍と平家軍との間で海戦が行われ義仲は平氏軍に惨敗し有力武将の矢田義清を失う
1183年11月20日-02:00|パレスチナ| ||<即位>エルサレム国王「ホーントゥアン5世」ヤッファ伯・アスカロン伯「ゲリエルモ・デ・モンフェラート」とジューの息子(11850316までホーントゥアン4世と共同統治~1186.8死去9歳)
1184年-04:00|ロシア| ||<就任>ノヴゴロド共和国ノヴゴロド公「ムスチスラフ・ダウイトウイチ」(~1187年)
1184年-03:30|イラン| ||<死去>パダスパニド朝君主「Kai Ka'us1世」

1200迄 (2036件)

1184年-03:30|イラン| |||<即位>ハダスパニト朝君主「Hazarasp2世」(~1190年)
 1184年-02:00|トルコ| |||<即位>アルトゥク朝スルタン「ユルク・アルスラン・フサム」(~1201年)
 1184年-01:00|アントラ| |||<死去>ウルジエイ伯「Ermengol7世」
 1184年-01:00|イタリア| |||<死去>エステ边境伯「アルベルト4世」
 1184年-01:00|ポーランド/ドイツ| |||<死去>ホンメルン＝デミン公「ヴァルティスラフ2世」
 1184年-01:00|フランス| |||<死去>マコン伯「Geraud1世」
 1184年-01:00|アントラ| |||<就任>ウルジエイ伯「Ermengol8世」(~1208年死去)
 1184年-01:00|フランス| |||<就任>オセル伯「Peter2世」(~1219年死去)兼ウエル伯「Peter2世」(~1192年退位)
 1184年-01:00|ハンガリー| |||<就任>ハンガリー王国パラティン「テネ」(~)
 1184年-01:00|ポーランド/ドイツ| |||<就任>ホンメルン＝シュテッティン・デミン公「ボギスラフ1世」(~11870318死去)
 1184年-01:00|フランス| |||<就任>マコン伯「ギョム4世」(~1224年死去)
 1184年-01:00|イタリア| |||<即位>トレント司教公「Albert3世」(~1188年)
 1184年-01:00|スペイン| |||<即位>マジョルカ・タイファ「Ali」(~1185年)
 1184年 00:00|モロッコ| |||<死去>ムワッヒド朝アミール「アフ＝ヤクブ・ユスフ1世」
 1184年 00:00|イギリス| |||<就任>ハンティントン伯「David of Scotland」(~12190617死去)
 1184年 00:00|モロッコ| |||<即位>ムワッヒド朝アミール「ヤクブ・マヌール」(~11990123死去)
 1184年1月3日-09:00|日本|京都府京都市東山区|寿永2年11月19日|<法住寺合戦(京)>午の刻(午後0時頃)、源義仲が後白河法皇の御所である法住寺殿を襲撃/院を守護する官軍明雲・円恵法親王・源光長・光経父子・藤原信行・清原親業・源基国などが戦死
 1184年1月5日-09:00|日本| ||寿永2年11月21日|<就任>摂政「松殿師家」(~寿永3年正月22日)
 1184年1月13日-09:00|日本|兵庫県たつの市|寿永2年11月29日|<室山の戦い>播磨国室山に陣を構える平知盛・平重衡率いる平氏軍を、源行家軍が攻撃して惨敗
 1184年2月3日-09:00|日本| ||寿永2年12月20日|<死去>上総国守護「介八郎広常」源頼朝の命により梶原景時に暗殺される
 1184年2月14日-09:00|日本| ||寿永3年|<任命>紀伊国守護「豊島有経」(~不詳)
 1184年2月14日-09:00|日本|東京都葛飾区|寿永3年|下総国香取神宮の御分霊を勧請し葛西三十三郷の総鎮守として葛西神社創立(葛飾区)
 1184年2月14日-09:00|日本|奈良県葛城市|寿永3年|当麻寺金堂再興
 1184年2月24日-09:00|日本|京都府京都市|寿永3年1月11日|京に帰った源義仲が、自分を討つことを命令した法皇と天皇を幽閉し、みづから征夷大將軍になる
 1184年3月4日-09:00|日本|京都府宇治市|寿永3年1月20日|<宇治川の戦い>源義仲軍の守る瀬田の唐橋及び宇治で、鎌倉の源頼朝から派遣された源範頼、源義経とが戦い、義経軍が宇治川を突破し京洛へ突入、義仲が義経軍に敗れ、義経は後白河法皇の確保に成功⇒<栗津の戦い>近江国栗津にて源義仲と源頼朝派遣の一条忠頼率いる甲斐源氏軍が戦い義仲軍は潰滅、義仲は覚悟して自害の場所を求めて栗津の松原に踏み込んだところ、馬の脚が深田に取られて動けなくなり、そこを顔面に矢を射られて討ち死に/31歳(誕生:久寿1(1154))
 1184年3月6日-09:00|日本| ||寿永3年1月22日|<就任>摂政「近衛基通」(~文治2年3月12日)
 1184年3月15日-09:00|日本|京都府京都市|寿永3年2月2日|京都大火/七条室町東西より失火、東西10余町焼失
 1184年3月17日-09:00|日本|兵庫県加東市|寿永3年2月4日|<三草山の戦い>丹波路を進む源義経軍は播磨国・三草山の平資盛、有盛らの陣に夜襲を仕掛けて撃破
 1184年3月20日-09:00|日本|兵庫県神戸市兵庫区|寿永3年2月7日|<一ノ谷の戦い>源義経が一ノ谷のひよどり越えから坂落としの奇襲作戦を敢行して平家を破る
 1184年3月27日-04:00|ジョージア| |||<死去>グルジア国王「ジョージ3世」
 1184年3月27日-04:00|ジョージア| |||<即位>グルジア国王「タル大王」(~12130118死去)
 1184年3月31日-09:00|日本| ||寿永3年2月18日|<任命>播磨・美作国守護「梶原景時」(~正治元年12月解任)
 1184年3月31日-09:00|日本| ||寿永3年2月18日|<任命>備前・備中・備後国守護「土肥実平」(~不詳)
 1184年5月2日-09:00|日本| ||寿永3年3月20日|<任命>伊賀国守護「平賀(大内)惟義」(~文治2(1186)年)
 1184年5月27日-09:00|日本| ||元暦1年4月16日|元暦に改元
 1184年6月6日-09:00|日本|埼玉県狭山市|元暦1年4月26日|源頼朝、木曾義仲の子息義高12歳を武蔵國入間川で堀藤次に斬らせる
 1184年6月10日-09:00|日本| ||元暦1年5月|<任命>能登国守護「比企朝宗」(~建久2(1191)年)
 1184年6月13日-09:00|日本|三重県鈴鹿市|元暦1年5月4日|信太義廣、伊勢国羽取山で頼朝方に敗死
 1184年6月15日-01:00|ノルウェー| |||<死去>ノルウェー王「マグヌス5世アリングソン」スウェーデンに殺害される(誕生1156年)
 1184年7月8日-01:00|ドイツ/ポーランド| |||<死去>ブランデンブルク辺境伯「オットー1世」
 1184年7月8日-01:00|ドイツ/ポーランド| |||<就任>ブランデンブルク辺境伯「オットー2世」オットー1世の息子(~12050704死去)
 1184年7月10日-09:00|日本| ||元暦1年6月|<解任>駿河国守護「武田信義」
 1184年7月14日-09:00|日本| ||元暦1年6月5日|<任命>武蔵国守護「平賀義信」(~建久6(1195)年)
 1184年8月14日-09:00|日本|三重県|元暦1年7月7日|<三日平氏の乱(伊勢国、伊賀国)>辰の刻(午前8時頃)に平田家継を大將軍とする反乱が勃発し、襲撃を受けた大内惟義の郎従が多数殺害された/伊勢でも平信兼以下が鈴鹿山を切り塞いで謀反を起こす
 1184年8月26日-09:00|日本|滋賀県米原市|元暦1年7月19日|<三日平氏の乱>近江国大原荘で鎌倉軍(官軍)と平氏残党が合戦/平田家継が討ち取られて梟首され侍大将の富田家助・家能・家清入道(平宗清の子)らが討ち取られ、平信兼・伊藤忠清は行方をくらました/源氏方も老將佐々木秀義が討ち死にし死者数百騎に及ぶ大きな損害を

1200迄 (2036件)

受けた

1184年9月1日 00:00|アイルランド/イギリス| |||<就任>アイルランド 検事「ウースターのフィリップ・ド・ブ・ラオズ」(~11850425)
1184年9月16日-09:00|日本|京都府京都市|元暦1年8月10日|<三日平氏の乱>平信兼の3人の子息、兼衡・信衡・兼時
が京の義経邸に呼び出され、斬殺、自害へ追い込まれる
1184年9月18日-09:00|日本|三重県|元暦1年8月12日|<三日平氏の乱(伊勢国、伊賀国)>伊勢国滝野の城に立てこ
もる100騎ほどの平信兼軍が激戦の末討ち取られたという
1184年11月10日-09:00|日本|神奈川県鎌倉市|元暦1年10月6日|源頼朝:中原広元を別当とし公文所を開く
1184年11月15日-01:00|フランス| |||<死去>ブルゴニュー伯「ベアトリス1世」
1184年11月15日 00:00|イギリス| |||<死去>ウリック伯「ウィリアム・ド・ホーモント」
1184年11月15日 00:00|イギリス| |||<就任>ウリック伯「ウレランド・ド・ホーモント」先代の弟(~12041212死去)
1184年11月21日-09:00|日本| ||元暦1年10月17日|<死去>覚恵(生年1151年/皇族、真言宗の僧)
1184年11月24日-09:00|日本|神奈川県鎌倉市|元暦1年10月20日|頼朝、問注所(裁判所)を置き三善康信を別当と
する
1185年-07:00|オーストリア/カンボジア| |||ルアンパハーン(ランサン)はクメールの宗主国下(~1191年)
1185年-05:30|インド| |||南インド、ヤダヴァ朝独立(~1318)ガウラマ5世即位
1185年-05:00|モルデイヴ| |||<即位>ティームゲ朝スルタン「Ali1世」(~1193年)
1185年-04:00|アルメニア| |||<死去>シャー=アルメニス「Nasiredin Muhammed Sokmen2世」
1185年-04:00|アルメニア| |||<即位>シャー=アルメニス「Seyfettin Beytemur」(~1193年)
1185年-03:00|イラク| |||<即位>アイユーブ朝(メソポタミア)アミール「Salah al-Din ibn Ayyub」(~1193年)
1185年-02:00|ブルガリア| |||<即位>第二次ブルガリア帝国皇帝「ピョートル4世」建国(1回目~1187年退位)
1185年-02:00|ギリシャ/北マケドニア/ブルガリア| |||第2ブルガリア帝国がビザンチン帝国からモシアとトラキアとマケドニアの大部分
を再占領(~1204年)
1185年-01:00|フランス| |||<就任>ナント伯「Geoffrey1世」アンリ2世の四男(~1186年)、「Constance」コナン
の娘(~1201年)
1185年-01:00|ハンガリー| |||<就任>ハンガリー王国ハラディン「トマス2世」(1回目~1186年)
1185年-01:00|フランス| |||<就任>プロヴァンス伯「アルフォン2世」(~12090202死去)
1185年-01:00|スペイン| |||<復位>マジョルカ・タイファ「Muhammad2世」(~1187年)
1185年 00:00|イギリス| |||<死去>ペンブルック伯「ギルバート・ド・クレア」
1185年 00:00|イギリス| |||<就任>ペンブルック女伯「イザベル・ド・クレア」(~1220年死去)
1185年 07:00|メキシコ| |||~1204/マヤパン、チチェン・イツァを征服
1185年1月10日-09:00|日本|岡山県倉敷市|元暦1年12月7日|<藤戸の戦い>備前国児島の藤戸と呼ばれる海峡で源
範頼率いる平氏追討軍が平家の平行盛軍が守る備前児島の篝地蔵を攻め落とし、平氏軍は敗走、讃岐国屋島へ
と逃れた
1185年2月2日-09:00|日本|岐阜県恵那市|元暦2年|加藤景廉が遠山庄地頭に任命され岩村城(霧ヶ城)築城(岐阜
県恵那市岩村町)
1185年2月2日-08:00|中国| ||後理国の元亨1年|後理国の段智興が元亨と改元
1185年2月9日-01:00|ドイツ| |||<死去>下ラウンツ辺境伯「ディートリヒ1世」
1185年2月9日-01:00|ドイツ| |||<就任>下ラウンツ辺境伯「デト3世」(~11900809死去)
1185年3月1日-09:00|日本| ||元暦2年1月28日|<任命>紀伊国守護「佐原義連」(~建仁3(1203)年)
1185年3月4日-09:00|日本|福岡県遠賀郡|元暦2年2月1日|<葦屋浦の戦い>源範頼軍の下河辺行平らは筑前国芦屋
浦で平家方の原田種直を破る
1185年3月16日-02:00|パレスチナ| |||<死去>エルサレム国王「ホードゥアン4世癩癰王」24歳(誕生1160年)癩病に蝕まれてい
た
1185年3月19日-09:00|日本|徳島県阿南市|元暦2年2月16日|義経勢、阿波国椿浦に到着、桂浦で平氏方の豪族桜庭
良遠(田口成良の弟)の館を襲って打ち破り、すぐさま屋島をめざす
1185年3月22日-09:00|日本|香川県高松市|元暦2年2月19日|早朝、義経は古高松の民家に火をかけて白旗を多数
立て大軍の襲来と見せかけ、平家方は狼狽し船で海上へと逃れた/源氏軍が意外に少数と知った平氏軍は、船を
屋島・庵治半島の岸に寄せて激しい矢戦を仕掛けてきた
1185年3月24日-09:00|日本|香川県さぬき市|元暦2年2月21日|<志度浦の戦い>平家方は八栗半島の北を回り込ん
で志度から上陸して背後をつくことを試みたが、義経は志度寺あたりでこれを撃退/志度の作戦に失敗した平
家方は源氏の大船団が屋島に向かっていることを知り西方に退いた
1185年4月-02:00|キプロス| |||<即位>キプロス専制公「イサーキオス・ドゥーカス・コムネノス」(~1191年5月)
1185年4月17日-09:00|日本|香川県高松市|元暦2年3月16日|<屋島の戦い(讃岐国)>屋島の西の島、讃岐国塩飽庄
にいた平家軍を海上から景時軍が、陸上から義経軍が攻撃し平家は100艘余りで安芸国厳島に退いた
1185年4月25日 00:00|アイルランド/イギリス| |||<就任>アイルランド 判事「アイルランド 卿」(~12.17)
1185年4月25日-09:00|日本| ||元暦2年3月24日|<死去>「安徳天皇」清盛の妻時子(60)に抱かれて海中に消える/
8歳(誕生:治承2(1178)1112)
1185年4月25日-09:00|日本|福岡県久留米市|元暦2年3月24日以降|高倉平中宮に仕えていた官女按察使局伊勢(石上神宮の神官娘)が千歳川(筑後川)の鷺野ヶ原に逃れて水天宮を祀ったことに始まり水天宮創建(福岡県久留米市)
1185年4月25日-09:00|日本|山口県下関市|元暦2年3月24日|<壇ノ浦の戦い>長門国赤間関壇ノ浦で源氏軍、平家軍
に勝利/三種の神器の一つである宝剣が海中に没する
1185年5月28日-09:00|日本|神奈川県鎌倉市|元暦2年4月27日|源頼朝、公文所を政所と改称

1200迄 (2036件)

1185年6月29日-09:00|日本| ||元暦2年6月|<任命>摂津国守護「大内惟義」(~不詳、子の惟信が続く~承久3(1221)年6月没落)

1185年7月-01:00|フランス| |||フランス王フィリップ2世(オギュスト尊厳王)、フランス北部のボークで「ボーク条約」を結び、「フランドル伯」フィリップ1世と和睦し、フランス北部の「アルワ伯領」とアミアンなど、「フランドル伯」フィリップ1世の妻イザベル・ド・ヴェルマントワの「遺領」を獲得

1185年7月19日-09:00|日本|滋賀県野洲市|元暦2年6月21日|源義経、近江国篠原にて平宗盛(39歳)子の清宗(16歳)を処刑

1185年7月21日-09:00|日本|京都府木津川市|元暦2年6月23日|平重衡が頼朝から南都の大衆に引き渡され、奈良東大寺・興福寺の僧により木津川で斬首さる

1185年8月6日-09:00|日本| ||元暦2年7月9日|<元暦2年京都大地震>近江・山城・大和で地震/宮中の築垣、大内日花門、閑院西辺廊、法勝寺阿弥陀堂が倒壊し、九重塔が破損、市中の民家の多くが倒壊/40余日余震が続き、皇居以下神社仏閣民家倒壊、山崩れ川埋まり、大地は稲妻の如く裂けて水湧き、盤石谷に転び人民六蓄死亡多数

1185年9月9日-09:00|日本| ||文治1年8月14日|文治に改元

1185年9月12日-02:00|トルコ| |||<死去>東ローマ帝国皇帝「アンドロニコス1世コムネノス」反乱軍によって虐殺される

1185年9月12日-02:00|トルコ| |||<即位>東ローマ皇帝「イサキオス2世アンゲロス」アンドロニコス・アンゲロスの子(~1195.3廃位~1204/128死去)

1185年9月23日-09:00|日本|奈良県奈良市|文治1年8月28日|東大寺大仏の落慶供養/後白河法皇、みづから大仏に入眼(聖武天皇使用の筆を用いて)

1185年9月29日-01:00|ルウェー| |||<即位>ルウェー対立王「ジョン・インゲソン・クワルク」(~1188年12月死去)

1185年11月10日-09:00|日本|京都府京都市下京区|文治1年10月17日|堀川夜討ち/源頼朝の密命で土佐坊昌俊が京都・堀河館の義経を襲うが敗走

1185年11月17日-09:00|日本|神奈川県鎌倉市|文治1年10月24日|鎌倉にて勝長寿院(頼朝が父義朝のため建立)落慶供養

1185年11月19日-09:00|日本|京都府京都市|文治1年10月26日|土佐坊昌俊、捕らえられて六条河原で処刑される

1185年11月23日-09:00|日本|京都府京都市|文治1年10月30日|摂津国太田頼基、源義経に協力し船を提供した紀伊権守兼資を討つ

1185年11月25日-01:00|パチン| |||<死去>第171代ローマ教皇「ルウス3世」

1185年11月26日-09:00|日本|大阪府茨木市|文治1年11月3日|<河原津の合戦>都から西国に落ち延びる源義経を太田頼基が安威川にかかっている太田橋の西側の河原津で攻めたが、太田頼基自身も手負い、多くが討たれ、馬も腹射され退いた

1185年11月28日-09:00|日本|兵庫県尼崎市|文治1年11月5日|<河尻の戦い>源義経が大物浦へ向かう道中の摂津国河尻で摂津源氏ら京武者達の追撃を受け、これを撃退

1185年12月1日-01:00|パチン| |||<就任>第172代ローマ教皇「ウルバヌス3世」(~1187/1020死去)

1185年12月6日 00:00|ポルトガル| |||<死去>ポルトガル王「アフォンソ1世」

1185年12月6日 00:00|ポルトガル| |||即位>ポルトガル王「サンシュ1世植民王」アフォンソ1世の子(~1212/0326死去)

1185年12月17日 00:00|アイルランド/イギリス| |||<就任>アイルランド判事「アルスター卿ジョン・ド・コルシー」(~1192年)

1185年12月18日-09:00|日本| ||文治1年11月25日|<任命>京都守護・山城国守護「北条時政」(~文治2(1186)年3月)

1185年12月22日-09:00|日本| ||文治1年11月29日|<任命>阿波国守護「佐々木経高」(~正治元(1199)年8月2日解任)

1185年12月22日-09:00|日本| ||文治1年11月29日|<任命>伊賀国守護「山内首藤経俊」(~元久元(1204)年5月10日)

1185年12月22日-09:00|日本| ||文治1年11月29日|<任命>伊勢国守護「山内首藤経俊」(~元久元(1204)年5月10日)

1185年12月22日-09:00|日本| ||文治1年11月29日|<任命>越後・佐渡国守護「佐々木盛綱」(~建久10(1199)年3月22日出家)

1185年12月22日-09:00|日本| ||文治1年11月29日|<任命>近江国守護「佐々木定綱」(~建久2(1191)年4月11日)

1185年12月22日-09:00|日本| ||文治1年11月29日|<任命>讃岐国守護「後藤基清」(~建久10(1199)年3月罷免)

1185年12月22日-09:00|日本| ||文治1年11月29日|<任命>駿河・伊豆国守護「北条時政」(~建久6(1195)年)

1185年12月22日-09:00|日本| ||文治1年11月29日|<任命>上野国守護「比企能員」(~不詳)

1185年12月22日-09:00|日本| ||文治1年11月29日|<任命>信濃国守護「比企能員」(~建仁3(1203)年9月2日謀殺される)

1185年12月22日-09:00|日本| ||文治1年11月29日|<任命>対馬国守護「河内義長」(~不詳)

1185年12月22日-09:00|日本| ||文治1年11月29日|<任命>但馬国守護「小野時広」(~不詳)

1185年12月22日-09:00|日本| ||文治1年11月29日|<任命>長門国守護「佐々木高綱」(~不詳)

1185年12月22日-09:00|日本| ||文治1年11月29日|<任命>土佐国守護「梶原朝景」(~文治2(1186)年)

1185年12月22日-09:00|日本| ||文治1年11月29日|<任命>備前国守護「佐々木高綱」(~不詳)

1185年12月22日-09:00|日本| ||文治1年11月29日|頼朝、義経捕縛のため全国に守護・地頭を設置

1186年-05:30|スリランカ| |||<死去>ポロナルフ王「ハラクラマバーフ1世大王」

1186年-05:30|スリランカ| |||<即位>ポロナルフ王「Vijayabahu2世」Parakramabahu1世の甥(~1187年)

1186年-04:30|アフガニスタン/インド| |||<廃位>ガズナ朝君主「ホスロー・マリク」ゴール朝によって滅亡

1186年-04:00|ロシア| |||<即位>コロムン公「フセヴォロド・グレボヴィチ」(~1188年)兼ブンスク公(~1186年)

1200迄 (2036件)

1186年-03:00|ベラルーシ| |||<死去>ガ イテフ ス公「フセスラフ・ウ・アシコウ イチ」
1186年-03:00|ベラルーシ| |||<即位>ガ イテフ ス公「ウ・アシコ・ブ・リヤチスラウ イチ」(~1221年退位)
1186年-03:00|ベラルーシ| |||<即位>ホ ロック公「ウラジミール・フセスラウ イチ」ウ・イテフ ス公(~1215年)
1186年-02:00|エストニア/ラトビア| |||<就任>リウ オニア司教「マインハルト」(~11961012)
1186年-01:00|ポーランド| |||<死去>マゾ フシェク・ウ・イ公「レシェク」
1186年-01:00|ドイツ| |||<就任>フェルデントゥ伯「Gerlach3世」(~1214年)
1186年-01:00|ポーランド| |||<即位>マゾ フシェク・ウ・イ公「カジミェシュ2世正義公」ホ レスワ3世の息子(~11940505死去)
1186年 00:00|イギリス| |||<就任>初代キャリック伯「ダニカン」(~12500613死去)
1186年1月-01:00|モンテネグロ/セルビア| |||<即位>ゼータ大公「ステファン・ウ・カン・ネマニッチ」(~1208年5月)
1186年1月-01:00|モンテネグロ/セルビア| |||モンテネグロは自治権を持つセルビア国家に編入
1186年1月19日-09:00|日本| ||文治1年12月27日|<配流>前大蔵卿高階泰経(伊豆へ)/前刑部卿藤原(難波)頼経(安房へ)
1186年1月21日-01:00|イタリア| |||<即位>イタリア王「エンリコ6世」ローマ皇帝 フェデリコ1世ハルバロッサの子(~11970928死去)
1186年2月21日-09:00|日本|京都府京都市|文治2年2月1日|北條時政が六条河原で群盗18人を斬首に処した
1186年3月4日-02:00|シリア・アラブ| |||<死去>アイユーブ 朝(ハムス)アミール「Muhammad ibn Shirkuh」
1186年3月4日-02:00|シリア・アラブ| |||<即位>アイユーブ 朝(ハムス)アミール「Al-Mujahid Shirkuh」(~1240. 2死去)
1186年3月23日-09:00|日本| ||文治2年3月|<任命>上野・越後国守護「新田義重」
1186年4月3日-09:00|日本|京都府京都市|文治2年3月12日|<就任>摂政「九条兼実」(~建久2(1191)年12月17日)
1186年4月13日-09:00|日本| ||文治2年3月23日|<任命>京都守護・山城国守護「一条能保」(~建久8(1197)年10月13日)
1186年4月25日-09:00|日本| ||文治2年4月5日|<死去>難波頼輔(生年1112年/公卿、歌人)
1186年6月1日-09:00|日本|大阪府|文治2年5月12日|源義経の叔父行家、和泉国で北条時定に処刑される
1186年6月2日-09:00|日本|大阪府|文治2年5月13日|源義経の叔父行家の子光家、和泉国で討ち取られる
1186年7月4日-09:00|日本|奈良県宇陀市|文治2年6月16日|源義経の娘婿・源有綱、大和国宇陀郡で襲われ自決
1186年7月9日-09:00|日本| ||文治2年6月21日|源頼朝が西国・九州の地頭を停止
1186年7月18日-07:00|ベトナム| ||大越・天資嘉瑞1年7月|大越・李朝の高宗李龍翰が天資嘉瑞と改元(-1202年旧8月)
1186年8月-02:00|パレスチナ| |||<死去>エルサレム国王「ホー・ド・アン5世」9歳
1186年8月-02:00|パレスチナ| |||<即位>エルサレム国王「シベ・ユ」アモリーとアニース・ト・クルネーの娘(~11900725死去),「ギート・リュビニヤン」ユグ・8世・ド・リュビニヤンとブルゴニユ・ド・ランソンの息子(~1192年~11940718死去)
1186年8月11日-09:00|日本|三重県|文治2年7月25日|源義経の郎党伊勢三郎、伊勢国にて討死
1186年8月19日-01:00|フランス| |||<死去>ブルターニュ公「ジヨワワ2世」27歳
1186年11月4日-09:00|日本|京都府京都市|文治2年9月22日|京にて源義経の郎党佐藤忠信、討死(26歳)
1187年-05:30|スリランカ| |||<即位>ホーナルワ王「Mahinda6世」⇒「ニッサナ・マラ」(~1196年死去)
1187年-04:00|ロシア| |||<再任>ヴゴロド 共和国「ヴゴロド 公」ヤロスラフ・ウラジミロウ イチ」(~1196年)
1187年-04:00|アルメニア| |||<即位>キキア公「レオ1世」(⇒11980106、キキア・アルメニア王国国王~12190502死去)
1187年-04:00|アルメニア| |||<退位>キキア・アルメニア王国国王「ルーベン3世」
1187年-03:00|イェメン| |||<即位>ラッシー朝イマーム「アルマンスール・アブ・ダラー・ヒン・ハムザー」(~12170421死去)
1187年-02:00|ブルガリア| |||<即位>第二次ブルガリア帝国皇帝「イヴァン・アセン1世」(~1196年イヴァンコに殺される)
1187年-02:00|ウクライナ| |||<即位>ウイニコロド 公「ムチスラフ・ダヴイトウ イチ」(~1189年)
1187年-02:00|ウクライナ| |||<即位>ペレスラヴ・リ公「ヤロスラフ・ムチスラフ イチ」(~1199年)
1187年-02:00|ブルガリア| |||<退位>第二次ブルガリア帝国皇帝「ペタル2世(4世)」
1187年-02:00|ルーマニア/ブルガリア| |||ドブルジャはブルガリアの一部(~1388年)
1187年-01:00|イタリア| |||<就任>フェーラ侯「ルッツォ1世」エステ辺境伯(~11931225死去)
1187年-01:00|スペイン| |||<即位>マジョルカ・タイファ「Tasfin」(~1187年)⇒「Yahya」(~1203年)
1187年1月21日-09:00|日本| ||文治2年12月10日|<任命>九州惣追捕使・鎮西奉行「天野遠景」鎌倉幕府が九州の御家人統率・軍事統括の為設置(~建久6年)
1187年2月10日-09:00|日本|東京都品川区|文治3年|源頼朝が海上安全の守護神として安房の国の洲崎明神である天比理乃咩命を勧進して品川神社創建(東京都)
1187年2月10日-09:00|日本|長崎県壱岐市|文治3年|長徳寺東泉院[芦辺町]を建立
1187年2月10日-09:00|日本|山口県防府市|文治3年|僧重源、周防国佐波令に阿弥陀寺を建立
1187年3月12日-09:00|日本| ||文治3年2月|<任命>美濃国守護「大内惟義」(~建暦元(1211)年、次に惟信が就任~承久3(1221)年6月)
1187年3月18日-01:00|ポーランド/ドイツ| |||<死去>ホーンメルン=シュテッティン・デ・ミン公「ホーギスラフ1世」
1187年3月18日-01:00|ポーランド/ドイツ| |||<就任>ホーンメルン=シュテッティン・デ・ミン公(摂政)「アナスタシア・ホーンスカー」(~1208年~1240年ごろ死去)
1187年4月8日-09:00|日本|神奈川県鎌倉市|文治3年2月28日|記録書を設置
1187年5月1日-02:00|イスラエル/パレスチナ| |||<就任>聖ヨハネ騎士団「ロバート・イザール」-「アルメンゴル・デ・アスバ」(~1190年)
1187年5月6日-02:00|トルコ| |||<死去>キキア・アルメニア王国国王「ルーベン3世」
1187年5月6日-02:00|トルコ| |||<即位>キキア・アルメニア王国国王「ルヴァン2世」(~12190502死去)
1187年7月4日-02:00|イスラエル/エジプト| |||<ハッティンの戦い>アイユーブ 朝サラフッディンはガリヤで十字軍を倒す
1187年7月4日-02:00|エジプト/レバノン| |||「ハッティンの戦い」で、「タンブル騎士団」・「聖ヨハネ騎士団」がイスラム教徒のサラディン

1200迄 (2036件)

に敗れ、総長ジェラルド・リドフォール以外虐殺される
1187年7月10日-02:00|エジプト/イスラエル/パレスチナ| |||サラディンがアッコンを陥落させる
1187年8月-02:00|エジプト/レバノン| |||サラディンがヤッファとベイルートを占領
1187年8月6日-02:00|レバノン/イスラエル| |||十字軍エルサレム王国がベイルト取得
1187年10月1日-02:00|ウクライナ| |||<死去>ガリチ公「ヤロスラフ・ウラジミロヴィチ」
1187年10月1日-02:00|ウクライナ| |||<復位>ガリチ公「オレグ・ヤロスラヴィチ」⇒「ウラジミール・ヤロスラヴィチ」(~1188年)
1187年10月1日-01:00|ポーランド| |||<死去>ペレミシュリ公「Yaroslav Osmomysl」
1187年10月1日-01:00|ポーランド| |||<即位>ペレミシュリ公「ウラジミール・ヤロスラヴィチ」(~1205年)
1187年10月2日-02:00|イスラエル/エジプト| |||エルサレム陥落/イスラエルはアイユーブ朝の一部(~1263年)
1187年10月2日-02:00|パレスチナ| |||サラディンがエルサレムを降伏させ、キリスト教徒を自由に退去させる
1187年10月20日-01:00|バチカン| |||<死去>第172代ローマ教皇「ウルバヌス3世」
1187年10月21日-01:00|バチカン| |||<就任>第173代ローマ教皇「グレゴリウス8世」(~1187|1217死去)
1187年10月23日-09:00|日本| |||文治3年9月20日|藤原俊成「千載和歌集」撰進
1187年11月9日-08:00|中国| |||宋・淳熙14年10月8日|<死去>南宋初代皇帝「高宗」享年80 (1107|1170誕生)
1187年11月10日 00:00|マン島| |||<就任>マン王「Ragnvaldr Gudhfridharson」(~1229|1214死去)
1187年11月30日-09:00|日本|岩手県西磐井郡平泉町|文治3年10月29日|<死去>藤原秀衡(奥州藤原3代目)[1122年生~](享年66)秀衡の次男(嫡子)泰衡、奥州領主の座を継ぐ
1187年12月17日-01:00|バチカン| |||<死去>第173代ローマ教皇「グレゴリウス8世」
1187年12月19日-01:00|バチカン| |||<就任>第174代ローマ教皇「クレメンス3世」(~1191|10320死去)
1188年-04:00|ロシア| |||<復位>フロンスク公「フセヴォロド・グゼヴォヴィチ」(~1207年)
1188年-03:30|イラン| |||<死去>ヤズド・アタベク朝スルタン「ロクヌッディーン・サム・イブン・ウァルダ・ヌルズ」
1188年-03:30|イラン| |||<即位>ヤズド・アタベク朝スルタン「イッスッティーン・ランギヤル・イブン・ウァルダ・ヌルズ」(~1207年)
1188年-02:00|ウクライナ| |||<即位>ウァルイーニ公「フセヴォロド・ムスチスラヴィチ」(~1188年)⇒<復位>「ロマン・ムスチスラヴィチ」(1199年にガリチ公国を統合し、ガリチ・ウァルイーニ公~1206年)
1188年-02:00|ウクライナ| |||<即位>ガリチ公「オレグ・ヤロスラヴィチ」⇒「ロマン・ムスチスラヴィチ」⇒「アントン・ラシュ」(~1190年)
1188年-01:00|ドイツ| |||<就任>東フランク大公(ローテンブルク大公)「コンラート4世」(~1196年)
1188年-01:00|ドイツ/オランダ| |||<就任>クレフェー伯「ディートリヒ4世」(~1198年)
1188年-01:00|ハンガリー| |||<就任>ハンガリー王国パラティン代行「モグ」(1回目~1192年)
1188年-01:00|スペイン| |||<即位>ガルシア王「Alfonso9世」(~1230年死去)
1188年-01:00|イタリア| |||<即位>トレント司教公「Conrad2世」(~1205年)
1188年-01:00|フランス| |||<即位>ブルターニュ公「ラルフ」5代チェスター伯ユークとベルトラード・ド・モンフォールの一人息子(~1199年退位~1232|1028死去)
1188年-01:00|スペイン| |||レオン王国で身分制議会のコルテスが開催
1188年 00:00|イギリス| |||<死去>デヴォン伯「Baldwin de Redvers」
1188年 00:00|イギリス| |||<就任>デヴォン伯「Richard de Redvers」(~1193年死去)
1188年1月1日-02:00|レバノン/イスラエル| |||十字軍エルサレム王国がシドン取得
1188年1月22日-01:00|スペイン| |||<死去>レオン国王「フェルナンド2世」
1188年1月22日-01:00|スペイン| |||<即位>レオン国王「アルフォンソ9世」(~1230|0923死去)
1188年1月30日-09:00|日本|神奈川県鎌倉市|文治4年1月1日|強風、佐野太郎基綱の窟堂下の家が全焼し火の粉が飛んで数十軒の家屋に延焼
1188年3月19日-09:00|日本| |||文治4年2月20日|<死去>九条良通(22歳、生年1167年/公卿、歌人)
1188年3月25日-09:00|日本| |||文治4年2月26日|<死去>源資賢(76歳/権大納言、雅楽家)
1188年5月11日-09:00|日本|京都府京都市|文治4年4月13日|六條殿が焼亡/宝蔵と御倉は災難を逃れたが、長講堂は焼け落ちた、本尊は何とか救出
1188年5月20日-09:00|日本| |||文治4年4月22日|<完成>「千載和歌集」後白河院の院宣により藤原俊成が編纂した勅撰和歌集
1188年5月28日-09:00|日本|鹿児島県|文治4年5月|藤原信房・天野遠景ら鬼界ヶ島を平定
1188年12月-01:00|ルウェー| |||<死去>ルウェー対立王「ジョン・インゲソン・クワルク」
1188年12月-01:00|ルウェー| |||<即位>ルウェー対立王「シグムンド・インゲソン」(~同年)
1188年12月14日-01:00|クロアチア/スロベニア/イタリア| |||<死去>イストリア辺境伯・カルニオラ辺境伯「Berthold1世」
1188年12月14日-01:00|クロアチア/スロベニア/イタリア| |||<就任>イストリア辺境伯・カルニオラ辺境伯「Berthold2世」(~1204|0812死去)
1189年-06:00|プータン| |||<設立>ドゥルク・セワ・ジャンチュブリン僧院
1189年-05:30|インド| |||ハーンデヤ朝がチョーラ朝に破れてクイロンに敗走
1189年-03:00|タンザニア| |||<即位>キルワ・スルタン「Dawud ibn Suleiman」(~1190年)
1189年-02:00|ウクライナ| |||<即位>ペルゴロド公「ロズスラフ・リュリコヴィチ」(~1203年)
1189年-01:00|ベルギー| |||<就任>ナミュール伯「ボートゥアン1世」アンリ1世の甥(~1195|1217死去)エノ伯
1189年-01:00|フランス| |||<就任>モルテン伯「John1世」(~1190|527)
1189年-01:00|ルウェー| |||<即位>ルウェー対立王「ウイカール・マグヌソン」(~1190年)
1189年-01:00|イタリア| |||<即位>フッリャ・カラブリア公「ルッジェーロ5世」ルッジェーロ3世の孫、ボエモントの再従兄、シチリア王ルッジェーロ3世(~1193|1224死去)
1189年 00:00|イギリス| |||<就任>スコットランド大法官「グラスゴー司教ヒュー・デ・ロクスバーグ」(~1199年)

1200迄 (2036件)

1189年 00:00|イギリス| |||<就任>ペンブルック伯「ウィリアム・マーシャル」(~12190514死去)
1189年1月20日-08:00|中国| ||金・大定29年1月2日|<死去>金第5代皇帝「世宗(烏祿=ウル)完顔雍」
1189年1月30日-08:00|中国| ||金・大定29年1月2日|<即位>金第6代皇帝「章宗(麻達葛=マダガ)完顔璟」(~泰和9年11月20日(1208年12月29日)死去)
1189年2月18日-08:00|中国| ||宋・淳熙16年2月2日|<死去>南宋第2代皇帝「孝宗」
1189年2月18日-08:00|中国| ||宋・淳熙16年2月2日|<即位>南宋第3代皇帝「光宗」(~1194年7月24日)
1189年3月3日-09:00|日本|岩手県西磐井郡平泉町|文治5年2月15日|藤原泰衡、末弟錦戸頼衡(親義経派)を討つ
1189年3月4日-01:00|イタリア/フランス| |||<就任>サヴォイア伯「トマーゾ 1世」(~12330301死去)
1189年3月25日-01:00|チェコ| |||<死去>ボヘミア公「ベートジフ」
1189年3月25日-01:00|チェコ| |||<即位>ボヘミア公「コンラート2世」(~11910909死去)
1189年4月7日-09:00|日本|神奈川県横須賀市|文治5年3月20日|和田義盛夫妻の発願により、大仏師運慶、芦名浄楽寺の木造阿弥陀三尊像、不動明王、毘沙門天像を造立
1189年5月-01:00|ドイツ| |||第3回十字軍が始まり、ドイツ皇帝フリードリヒ1世が出発
1189年6月15日-01:00|チェコ| |||モラヴィアはボヘミア政権下(~11971206)
1189年6月15日-09:00|日本|岩手県西磐井郡平泉町|文治5年閏4月30日|<衣川合戦>藤原泰衡が、兵数100で屋敷陸奥国藤原基成の衣川館にいた源義経主従を攻撃。主従の武威坊弁慶、鈴木重家、亀井重清らがわずかに10数騎で防戦したが、ことごとく戦死・自害。義経は持仏堂に籠り正妻の郷御前と4歳の女子を殺害した後、自害(31歳)
1189年6月21日-09:00|日本|静岡県伊豆の国市|文治5年5月6日|北条時政、願成就院創建(静岡県伊豆の国市)<高野山真言宗>
1189年7月-01:00|ドイツ| |||<死去>ハルク伯「エンゲルハルト1世」
1189年7月-01:00|ドイツ| |||<就任>ハルク伯「アドルフ6世」(~12180807死去)
1189年7月6日-01:00|フランス| |||<即位>ノルマンディー公「リシャル4世」兼アンジュー伯・メヌ伯「リシャル1世」アンリ1世とアリエノール・ダキテーヌの息子(~11990406死去41歳)ナント伯、アイルランド 卿
1189年7月6日 00:00|イギリス/フランス| |||<死去>イングランド王「ヘンリー2世」兼アキテーヌ公・アンジュー伯「アンリ1世」兼ノルマンディー公・メヌ伯「アンリ2世」56歳(誕生11330305)
1189年7月23日-09:00|日本|神奈川県鎌倉市|文治5年6月9日|<落慶供養>鶴岡八幡宮・堂塔伽藍
1189年8月-02:00|イスラエル/シリア・アラブ| |||十字軍がアッカを包囲し攻撃開始、サ拉丁が援軍を派遣
1189年8月9日-09:00|日本|岩手県西磐井郡平泉町|文治5年6月26日|奥州で兵乱。藤原泰衡と対立し弟忠衡が殺害される
1189年8月12日-01:00|ベルギー| |||<死去>シニエ伯「Louis3世」
1189年8月12日-01:00|ベルギー| |||<就任>シニエ伯「Louis4世the Young」(~12261007死去)
1189年8月18日-09:00|日本| ||文治5年7月5日|比企能員が北陸道の大將軍として奥州を目指し出陣
1189年9月-01:00|ドイツ| |||<就任>トリア選帝侯「ヨハン1世」(~12120715死去)
1189年9月1日 01:00|日本| ||文治5年7月19日|巳刻(10時前後)、頼朝は畠山次郎重忠を先陣に奥州の藤原泰衡征伐に出陣
1189年9月2日-09:00|日本| ||文治5年7月20日|<死去>統子内親王(上西門院)(64歳、生年1126年/鳥羽天皇の皇女)
1189年9月3日 00:00|イギリス/フランス| |||<即位>イングランド王「リチャード 1世獅子心王」兼アキテーヌ公「リシャル1世」ヘンリー2世とアリエノール・ダキテーヌの男子(~11990406死去41歳)ノルマンディー公
1189年9月8日-09:00|日本|栃木県宇都宮市|文治5年7月26日|宇都宮で常陸佐竹氏3代目当主「佐竹秀義」、源頼朝に臣下の礼をとり、奥州藤原氏征伐に従軍
1189年9月17日-09:00|日本|福島県伊達郡国見町|文治5年8月6日|<石那坂の戦い>伊佐為宗が信夫庄司佐藤基治(佐藤継信・佐藤忠信の父)を打ち破り、その首を阿津賀志山の上の経岡に晒した
1189年9月19日-03:00|日本|福島県伊達郡国見町|文治5年8月8日|<阿津賀志山の戦い>卯の刻(午前6時頃)、畠山重忠らの先陣は、金剛別当秀綱の率いる数千騎と戦端を開き、巳の刻(午前10時頃)に秀綱は大木戸に退却
1189年9月21日-09:00|日本|福島県伊達郡国見町|文治5年8月10日|<阿津賀志山の戦い>畠山重忠・小山朝政らの本軍は大木戸に総攻撃/後陣の山に登った紀権守、芳賀次郎大夫(紀清両党)らの奇襲もあり、奥州軍は金剛別当秀綱、子息の下須房太郎秀方が戦死(享年13)して潰走/出羽方面に脱出しようとした藤原国衡は追撃した和田義盛に討たれた/根無藤の城郭では両軍の激しい攻防が繰り広げられたが、大將軍の金十郎が戦死して勝敗が決した/自軍の大敗を知った藤原泰衡は多賀城から平泉方面へ退却
1189年9月24日-09:00|日本|山形県|文治5年8月13日|幕府北陸道軍、出羽国で奥州藤原氏の郎党、田川行文・秋田致文を討ち取る
1189年9月25日-09:00|日本|宮城県大崎市|文治5年8月14日|源頼朝、玉造郡に発向、小山朝政、物見岡を攻略
1189年9月26日-09:00|日本|奈良県奈良市|文治5年8月15日|快慶の興福寺弥勒像ができる
1189年10月1日-09:00|日本|宮城県大崎市|文治5年8月20日|源頼朝、千葉・八田軍が藤原泰衡の玉造郡多加波々城を攻略
1189年10月2日-09:00|日本|岩手県西磐井郡平泉町|文治5年8月21日|源頼朝、平泉に発向。栗原・三迫の要害を攻略して津久毛橋に達する/泰衡、平泉に火を放って逃走
1189年10月14日-09:00|日本|秋田県大館市|文治5年9月3日|藤原泰衡、比内郡賛柵で郎従の河田次郎に裏切られ殺される(35歳)奥州藤原氏が滅亡
1189年10月15日-09:00|日本|岩手県盛岡市|文治5年9月4日|頼朝は志波郡に到着/泰衡の縁戚である俊衡法師は驚き恐れて当郡内の比爪館を焼き陸奥の奥地に逃げ去った/頼朝は追討するために三浦介義澄と(佐原)義連、

1200迄 (2036件)

義村を派遣/頼朝は陣岡蜂社に本陣を置いた/北陸道の追討使比企能員と宇佐美實政が出羽国の武士を従えて合流、軍勢は郎従まで加えると28万4千騎を数えた

1189年10月18日-09:00|日本| ||文治5年9月7日|<任命>淡路国守護「(小野)横山時広」(~建久4(1193)年)

1189年10月29日-09:00|日本|岩手県盛岡市|文治5年9月18日|秀衡の四男本吉冠者高衡が降伏し、下河邊庄司行平に連行されて出頭/泰衡を後見する一人の名取熊野の別当秀綱は上総介足利義兼が連行

1189年11月2日-09:00|日本| ||文治5年9月22日|<任命>奥羽惣奉行「葛西清重」文治五年奥州合戦の戦後処理のため

1189年11月14日 00:00|イギリス/フランス| ||<死去>エックス伯・オマル伯「ウィリアム・ド・マンデグイル」消滅

1189年11月18日-01:00|イタリア| ||<死去>シチリア王「グリエルモ2世」

1189年11月18日-01:00|イタリア| ||<即位>シチリア王「タンクレデ」(~11940220死去)

1189年12月12日 00:00|イギリス| ||イギリス王リチャード1世が十字軍に出征

1190年-07:00|カンボジア| ||カンボジア、チャンパーを攻略

1190年-05:30|インド| ||<即位>パーンデヤ朝君主「ジャターヴァルマン・クラシカラ1世」(~1216年)パーンデヤ朝を再建

1190年-03:00|タンザニア| ||<即位>キルワ・スルタン「Talut ibn Suleiman」(~1191年)

1190年-03:00|ベラルーシ| ||<即位>トウロフ・ビンスク公「スヴァトホルク・ユリエウイチ」⇒「クレフ・ユリエウイチ」(~1195年)

1190年-03:00|ベラルーシ| ||<即位>ビンスク公「ヤホフ・ユリエウイチ」(~1204年)

1190年-02:00|イスラエル/パレスチナ| ||<就任>聖ヨハネ騎士団「ゲイアン・ガリエト・ホリ」(~1192年6月没)

1190年-02:00|ウクライナ| ||<復位>ガリチ公「ウラジミール・ヤロスラフイチ」(~1199年)

1190年-01:00|フランス| ||<就任>オマル伯「William de Forz」Hawiseの2番目の夫(~1194年)

1190年-01:00|クロアチア| ||<就任>クロアチア・ハン「カラ」(~1193年)

1190年-01:00|ドイツ| ||<就任>テュリンゲン方伯「ヘルマン1世」(~1217年)

1190年-01:00|ポーランド/ドイツ| ||<就任>ホンメルン=シュラフ=シュトルブ公「ボギスラフ3世」(~1223年死去)

1190年-01:00|マルタ| ||<就任>マルタ伯「Margarito di Brindisi」(~1194年)

1190年-01:00|アルバニア| ||<即位>アルバニア公「フロン」(~1198年、死去)

1190年-01:00|イタリア| ||<即位>スレート公「パントルフ2世」(~1195年)

1190年-01:00|リビア/エジプト| ||フェザーンはエジプトに併合

1190年-01:00|マルタ/イタリア| ||マルタはシチリアの領地、マルタ郡(~14280820)

1190年 00:00|イギリス| ||<死去>ダービー伯「William de Ferrers」

1190年 00:00|イギリス| ||<死去>レスター伯「ロバート・ド・ホーモン」

1190年 00:00|イギリス| ||<就任>ダービー伯「William de Ferrers」(~1247年死去)

1190年 00:00|イギリス| ||<就任>レスター伯「ロバート・ド・ホーモン」(~12041021死去)

1190年 00:00|ポルトガル| ||ムワヒド軍の支援を得たイスラム教徒タイファ諸国がポルトガルに対する反撃を開始し、シリウスを奪還

1190年1月1日-09:00|日本|神奈川県鎌倉市|文治5年11月23日|一日中強風が吹き荒れ、夜になって大倉観音堂が失火により焼失

1190年1月8日-09:00|日本|秋田県|文治5年12月|<大河兼任の乱>藤原泰衡の郎従で八郎潟東岸(現秋田県五城目町付近)を本拠とする大河兼任が義経と称して出羽国田川郡海辺荘に現れ、義仲の嫡男・朝日冠者(義高)と称して同国山北郡で挙兵するなど鎌倉方を攪乱/七千余騎の軍勢を率いて鎌倉に向けて進軍開始、八郎潟を渡る際に氷が突然割れて五千人余りが溺死

1190年1月17日-01:00|ポーランド| ||<死去>グウォグフ公「コンラト・ラスコギ」

1190年1月17日-01:00|ポーランド| ||<就任>グウォグフ公「ボレスワフ1世グィキ」(~12011207死去)

1190年1月23日 11:00|日本/天体| ||文治5年12月16日|亥刻(20時前後)に月蝕があった

1190年2月7日-08:00|中国| ||宋・紹熙1年|南宋代光宗が紹熙(-1194年)と改元

1190年2月7日-07:00|ベトナム| ||大越・天資嘉瑞5年|<即位>チャンパ王「スリヤヴァルマン」(~1203年)

1190年2月7日-09:00|韓国/朝鮮| ||金・明昌1年1月|高麗・慶州地方で民衆反乱

1190年2月7日-08:00|中国| ||金・明昌1年1月1日|金の章宗が明昌(-1196年)と改元

1190年2月12日-09:00|日本|秋田県秋田市|文治6年1月6日|<大河兼任の乱>大河兼任と御家人の合戦が始まった。味方の中で小鹿嶋の橘公成(公業)と宇佐美平次實政と大見平次家政と石岡三郎友景が討死し、由利中八維平は攻撃を受けて城を放棄し逃走

1190年2月14日-09:00|日本| ||文治6年1月8日|奥州の反乱に対応するため軍兵を派遣/大將軍は海道が千葉常胤、山道が比企四郎能員

1190年2月18日-01:00|ドイツ| ||<死去>マイセン辺境伯「オットー」

1190年2月18日-01:00|ドイツ| ||<就任>マイセン辺境伯「アルブレヒト1世」オットーの長男(~11950624死去)

1190年3月8日-09:00|韓国/朝鮮| ||高麗・明昌1年2月|高麗が金からの知らせにより明昌に改元

1190年3月15日-01:00|フランス| ||<死去>アルトワ伯「イザベル」フランス王フィリップ2世(オギュスト尊厳王)の最初の王妃/19歳(生年1170年)

1190年3月15日-01:00|フランス| ||<就任>アルトワ伯「Louis8世」(~12230714)

1190年3月18日-01:00|ドイツ/トルコ| ||フリードリヒ1世(赤髭王)がイコンムを攻略

1190年3月19日-09:00|日本|宮城県栗原市|文治6年2月12日|<大河兼任の乱>兼任軍は栗原郡一迫(現栗原市)で足利義兼率いる鎌倉軍と激突するが、壊滅的打撃を受け敗走/兼任は残存兵力500余騎を率いて衣川で反撃するが敗北し北上川を越えて外ヶ浜と糠部の間にある多宇末井の懸橋近くの山に立て籠もったが、義兼らの急襲を受けて行方をくらました

1200迄 (2036件)

1190年3月23日-09:00|日本| ||文治6年2月16日|<死去>西行(佐藤義清)(73歳、生年1118年/武士、僧、歌人)

1190年4月16日-09:00|日本|宮城県栗原市|文治6年3月10日|<大河兼任の乱>大河兼任が栗原寺で地元の樵に斧で斬殺された

1190年5月16日-09:00|日本| ||建久1年4月11日|「建久」に改元

1190年6月10日-01:00|ドイツ/イタリア/オーストリア/フランス/スイス| ||<死去>フランク・ローマ帝国皇帝・ブルグント王・ブルゴニュー伯「フリートリヒ1世赤髭王」兼イタリア王「フェデリコ1世赤髭王」キキアの甥で水に落ちて溺死/67歳(誕生1123年)

1190年6月10日-01:00|フランス| ||<就任>ブルゴニュー伯「オトン1世」フリートリヒ1世・ベアトリクス1世の息子(~12000113死去)

1190年6月10日-01:00|ドイツ| ||<即位>ブルグント王「ハインリヒ6世」(~11970928死去)

1190年6月14日-01:00|イタリア| ||<死去>亨利伯「Henry1世」

1190年7月4日-01:00|フランス/イギリス| ||フランス王フィリップ2世(オギュースト)とイギリス王リチャード獅子心王が第3回十字軍遠征に出発

1190年7月25日-02:00|パレスチナ| ||<死去>エルサレム国王「シベユ」

1190年7月25日-02:00|パレスチナ| ||<即位>エルサレム国王「イザベル1世」アモリー1世とマリア・コムネ(エルサレム王妃)の娘(~12050405死去33歳)、「コンラート1世」モンフェラート侯「リヒャルト5世」とユディット・フォン・バーンベルクの息子(~11920428暗殺される)

1190年8月1日-01:00|オランダ| ||<死去>ボートン伯「フロリス3世」

1190年8月1日-01:00|オランダ| ||<就任>ボートン伯「ディルク7世」(~12031104死去)

1190年8月9日-01:00|ドイツ| ||<就任>下ラウザッツ辺境伯「コンラート2世」デット3世の子(~12100506死去)

1190年8月16日-01:00|ドイツ| ||<死去>下ラウザッツ辺境伯「デット3世」

1190年8月21日-01:00|フランス/ベルギー| ||<死去>下ロリングア公「ゴッドフロワ8世(7世)」兼ルーベン・フッセル伯「Godfrey3世」

1190年9月13日-01:00|ドイツ/イタリア| ||<死去>バーデン辺境伯・ウエー罗纳辺境伯「ヘルマン4世」

1190年9月13日-01:00|ドイツ| ||<就任>バーデン・ハッハベルク辺境伯「ハインリヒ1世」(~12310702死去)

1190年9月13日-01:00|ドイツ/イタリア| ||<就任>バーデン・バーデン辺境伯・ウエー罗纳辺境伯「ヘルマン5世」(~12430116死去)

1190年9月17日-09:00|日本|京都府京都市|建久1年8月16日|京都大風・洪水(台風)、甚雨・暴風。鴨川・桂川氾濫、民家崩壊・流失多数、左京35戸、右京630戸、3995人被災

1190年10月4日-01:00|フランス| ||<死去>バル伯「アンリ1世」

1190年10月4日-01:00|フランス| ||<就任>バル伯「ティボ-1世」(~12140213死去)

1190年10月16日-01:00|ドイツ| ||<死去>テューリングェン方伯「ルートヴィヒ3世」

1190年10月16日-01:00|ドイツ| ||<就任>テューリングェン方伯「ヘルマン1世」(~12170425死去)

1191年-07:00|カンボジア/ベトナム| ||クメール王国がチャンパの首都ガイジャを占領

1191年-06:30|ミャンマー| ||<即位>アラン国王「ンガランマン」(~1193年)

1191年-05:30|インド| ||<建国>パト国

1191年-05:30|インド| ||<即位>ヤダヴァ朝君主「ジャイトウギ」(~1200年)

1191年-05:30|インド| ||ゴール朝軍がインドへ侵入するがヒンドゥー連合軍が撃退

1191年-03:00|タンザニア| ||<即位>キルワ・スルタン「Hussein ibn Suleiman」(~1215年)

1191年-02:00|シリア・アラブ| ||<死去>アイユーブ朝(ハマー)初代アミール「アルムサッファル・ウマル」

1191年-02:00|シリア・アラブ| ||<即位>アイユーブ朝(ハマー)第2代アミール「アルマンスール・ムハンマド」(~1221年死去)

1191年-02:00|トルコ| ||<即位>サルトキット君主「Melike Mama Hatun」(~1200年)

1191年-01:00|ドイツ| ||<死去>ニュルンベルク城伯「コンラート2世・フォン・ラープス」

1191年-01:00|フランス| ||<死去>ペルシュ伯「Rotrou4世」

1191年-01:00|フランス| ||<就任>ヌール領主「ゴ-ティエ2世・ド・ヴァイルベオン」(~1222年)

1191年-01:00|フランス| ||<就任>ペルシュ伯「Geoffrey3世」(~12020405死去)

1191年-01:00|ポーランド| ||<退位>ポーランド公「カジミェシュ2世スワワトワイトリグイ」

1191年-01:00|ポーランド| ||<復位>ポーランド公「ミェシュコ3世タルイ」(~1191年退位)⇒<復位>「カジミェシュ2世スワワトワイトリグイ」(~11940505死去)

1191年-01:00|スイス| ||ツェーリングェン家が都市ベルンを建設

1191年 00:00|イギリス| ||<死去>ホイス公「Gruffydd Maelor ap Madog」

1191年 00:00|イギリス| ||<即位>ホイス公「Madog ap Gruffydd」(~1236年死去)

1191年1月20日-01:00|フランス| ||<死去>シャルトル伯・ブワ伯「ティボ-5世」

1191年1月20日-01:00|ドイツ/スイス| ||<死去>シュヴァーベン大公「フリートリヒ6世」

1191年1月20日-01:00|フランス| ||<就任>シャルトル伯・ブワ伯「Louis1世」(~12050414死去)

1191年1月20日-01:00|ドイツ/スイス| ||<即位>シュヴァーベン大公「コンラート2世」(~11960815死去)

1191年1月27日-07:00|ベトナム| ||大越・天資嘉瑞6年|<即位>チャンパ王「ジャヤ・インドラヴァルマン5世」(~1192年)

1191年2月10日-09:00|日本|神奈川県鎌倉市|建久2年1月15日|頼朝、公文所改め政所を設置

1191年3月20日-01:00|バチカン| ||<死去>第174代ローマ教皇「クレメン3世」

1191年3月30日-01:00|バチカン| ||<就任>第175代ローマ教皇「クレステニス3世」(~11980108死去)

1191年3月30日-07:00|日本|神奈川県鎌倉市|建久2年3月4日|鎌倉大火、鶴岡宮などが焼失/南の強風が吹く中、丑刻(深夜2時前後)に小町大路付近の失火が原因で大火/北條義時、相模守大内惟義、村上判官代、比企能員、同朝宗、佐々木三郎盛綱、一品坊昌寛、仁田忠常、工藤行光、佐貫広綱らの家を含む数十軒が焼け落ちた/炎と火の粉が風に煽られて鶴岡八幡宮の流鏑馬馬場の横にある塔婆(多宝塔か)に燃え移り、同様に大倉御所も焼失/更に鶴岡八幡宮の本殿、回廊、経堂なども全て灰燼に帰した/北の谷・御谷にある供僧の坊(支院)も何軒かが同様の被害を受けた

1191年4月5日-09:00|日本| ||建久2年3月10日|<死去>藤原長方(53歳、生年1139年/公卿、歌人)

1200迄 (2036件)

1191年4月14日-01:00|ドイツ/オーストリア/フランス/イタリア/スイス| |||<即位>フランク・ローマ帝国皇帝・イタリア王・ブルグント王「ハインリヒ6世」(⇒11941225、兼シチリア王~11970928没)

1191年4月17日-09:00|日本|京都府京都市|建久2年3月22日|朝廷が新制17か条を下す

1191年4月19日-01:00|フランス/パレスチナ| |||フランス王フィリップ2世がアッカに上陸し、アッカ攻囲戦に参加

1191年4月23日-09:00|日本|京都府京都市|建久2年3月28日|朝廷が新制36か条を下す(建久の新制)

1191年5月5日-09:00|日本| |||建久2年4月11日|<解任>近江国守護「佐々木定綱」

1191年5月21日-02:00|キプロス/イギリス| |||リチャード獅子心王がトレビトゥーシアの戦いでビザンティン人からキプロス島を奪い取る

1191年5月24日-09:00|日本| |||建久2年4月30日|佐々木定綱が薩摩国に、弟らは隠岐・対馬・土佐国に配流

1191年5月26日-09:00|日本|奈良県高市郡明日香村|建久2年5月2日|飛鳥・川原寺炎上

1191年5月30日-01:00|モロコ/イタリア| |||神聖ローマ皇帝ハインリヒ6世がジェノヴァにモロコの宗主国交付(1191年7月2日発効、1220年10月4日確定)

1191年6月-01:00|イタリア| |||夏<死去>モンフェッラート侯「カリエルモ5世」

1191年6月-01:00|イタリア| |||夏<就任>モンフェッラート侯「コラード」カリエルモ5世の次男(~11920428死去)

1191年6月5日-02:00|キプロス/イギリス| |||<就任>イングランドのキプロス司法官「リチャード・ド・カマギル」(~同月)、「ロバート・デ・ターナム」(~7月)

1191年6月7日-09:00|日本|京都府京都市|建久2年5月14日|五条南油小路西より失火、六条坊門、油小路、西洞院に及ぶ

1191年6月13日-09:00|日本|滋賀県大津市|建久2年5月20日|近江国辛崎の近くで佐々木小次郎兵衛尉定重の流刑を中止し梟首に処せられた

1191年7月-02:00|キプロス| |||<就任>テンプル騎士団キプロス総司令官「アルナルド・ド・ボシャル」(~1192年5月)

1191年7月12日-02:00|パレスチナ/イギリス/イスラエル| |||第3回十字軍のフィリップ・オーギュストとリチャードがアッコンを占領

1191年8月1日-01:00|フランス/ベルギー-| |||<死去>フランドル伯「フィリップ1世」

1191年8月1日-01:00|フランス/ベルギー-| |||<就任>フランドル伯「マルグリット1世」(~11941115死去)、「ボードゥアン8世」(~11951217死去)

1191年8月5日-01:00|ベルギー-| |||<死去>リエージュ公「ツェーリンゲン」のルドルフ

1191年8月5日-01:00|ベルギー-| |||<就任>リエージュ公「ルーヴェン」の聖アルベール」(~11921114殺害される)

1191年8月20日-09:00|日本|神奈川県鎌倉市|建久2年7月28日|寝殿と対屋および御厩など御所の造営が完成し、移転の儀を行った

1191年9月7日-02:00|エジプト/イギリス| |||リチャード獅子心王がサラディンとアスーフで戦い勝利をおさめる

1191年9月9日-01:00|チェコ| |||<死去>ボヘミア公「コラート2世」

1191年9月9日-01:00|チェコ| |||<即位>ボヘミア公「ヴァーツラフ2世」(~1192年1月死去)

1191年10月9日-09:00|日本|大阪府大阪市天王寺区|建久2年9月18日|<焼失>四天王寺念仏三昧院並びに念仏堂

1191年10月31日-09:00|日本|京都府京都市|建久2年10月11日|栄西が宋から臨済宗とお茶の種を持ち帰る

1191年11月11日-09:00|日本|長野県長野市|建久2年10月22日|信濃の善光寺の落慶供養が行われる

1191年12月10日-09:00|日本|神奈川県鎌倉市|建久2年11月21日|鶴岡八幡宮と若宮と末社などの遷宮を行った

1191年12月26日-09:00|日本|福井県敦賀市|建久2年12月8日|敦賀郡気比社が焼失

1192年-05:30|インド-| |||タラインの戦い。ゴール朝のムハンマド・ヒトウー連合軍を破る

1192年-04:30|アフガニスタン| |||<即位>ゴール朝バミヤン・マリク「Abbas ibn Muhammad」⇒「バハール・ウッディーン・サーム2世」(~1206年)

1192年-02:00|トルコ| |||<死去>ルーム・セルジューク朝スルタン「クルチ・アルスラン2世」

1192年-02:00|トルコ| |||<即位>ルーム・セルジューク朝スルタン「カイスロ1世」(1期目~1196年退位)

1192年-02:00|パレスチナ| |||<退位>エルサレム国王「ギー・ド・リュジニャン」(~11940718死去)

1192年-01:00|フランス| |||<死去>オセル伯「Agnes1世」

1192年-01:00|イタリア| |||<就任>ヴェネツィア共和国「ドージェ」(元首)「エンリコ・ダントロ」(~1205年)

1192年-01:00|フランス| |||<就任>ニュルンベルク城伯「フリートリヒ1世」(~1200年)

1192年-01:00|フランス| |||<就任>ヌヴェール伯「Matilda1世」(~12570729死去)

1192年-01:00|ハンガリー-| |||<就任>ハンガリー王国パタイン「トマス2世」(2回目~1193年)

1192年-01:00|チェコ| |||<退位>オモウツ公「ヴァティミール」(~12001211死去)

1192年-01:00|フランス| |||<退位>ヌヴェール伯「Peter2世」

1192年-01:00|チェコ| |||<退位>ブルノ公「スピチフニェフ」「スヴァトプルク」

1192年 00:00|アイルランド/イギリス| |||<就任>アイルランド「判事」「ヒーター・ヒート」、ウィリアム・ザ・リトル」(~1196年)

1192年1月-01:00|チェコ| |||<死去>ボヘミア公「ヴァーツラフ2世」

1192年1月-01:00|チェコ| |||<即位>ボヘミア公「フシェスル」(1回目~11931206廃位)

1192年1月4日-09:00|日本| |||建久2年12月17日|<就任>関白「九条兼実」(~建久7年11月25日)

1192年1月17日-07:00|ベトナム| ||大越・天資嘉瑞7年|<即位>チャンパ王「Jaya Vidyānandana」(~1203年、真臘の支配)

1192年2月2日-09:00|日本| |||建久2年閏12月16日|<死去>徳大寺実定(生年1139年/公卿、歌人)

1192年2月14日-09:00|日本|山口県下関市|建久2年閏12月28日|赤間神宮創建(山口県下関市)

1192年2月15日-09:00|日本| |||建久3年|<任命>下野国守護「小山朝政」(~不詳、以後、朝長、長村、時長、宗長、貞朝と続く)

1192年4月8日-09:00|日本| |||建久3年2月24日|<死去>宇都宮業綱(生年1156年/武将、宇都宮氏第4代当主)

1192年4月24日-08:00|中国| |||宋・紹熙3年3月11日|南宋・中都郊外に盧溝橋(マルコ・ポーロ橋)が建設される

1200迄 (2036件)

1192年4月26日-05:00|日本|京都府京都市|建久3年3月13日|<死去>寅刻(午前4時前後)、後白河法皇が六條西洞の院の宮で/66歳(誕生:大治2(1127)0911)77代天皇・後白河天皇

1192年4月28日-02:00|パレスチナ| ||<死去>エルサレム国王「コンラート1世」暗殺される

1192年4月28日-02:00|パレスチナ| ||<即位>エルサレム国王「アンリ1世」シャンパニュ伯アンリ1世とマリー・ド・フランスの息子(イザベル1世と共同統治~11970910死去31歳)

1192年4月28日-01:00|イタリア| ||<死去>モンフェラート侯「コラード」暗殺教団によって暗殺される

1192年4月28日-01:00|イタリア| ||<就任>モンフェラート侯「ホーニファチオ1世」グリエルモ5世の三男(~12070904死去)

1192年5月-02:00|キプロス| ||<就任>キプロス領主「ギート・リュジニャン」リチャードからキプロス島を購入(~11940718死去)エルサレム王

1192年5月9日-01:00|オーストリア| ||<死去>シュターアマルク公「オタカル4世」

1192年5月9日-01:00|オーストリア| ||<即位>シュターアマルク公「レオポルト5世」(~11941231死去)

1192年6月-02:00|イスラエル/パレスチナ| ||<就任>聖ヨハネ騎士団「デヴィッド・ジョワ・ド・デュワソン」(~1202年没)

1192年8月5日-02:00|エジプト/イギリス/パレスチナ| ||エジプト宰相サラフッディーン率いるイスラム教徒軍がエルサレム王国へ侵攻しヤッファでイギリス国王リチャード一世と戦い敗北

1192年8月12日-09:00|日本| ||建久3年7月3日|<死去>好子内親王(45歳、生年1148年/後白河天皇の皇女、伊勢斎宮)

1192年8月21日-09:00|日本| ||建久3年7月12日|<任命>征夷大將軍「源頼朝」(鎌倉初代征夷大將軍)

1192年8月25日-01:00|フランス| ||<死去>ブルゴニ公「ユグ3世」

1192年8月25日-01:00|フランス| ||<即位>ブルゴニ公「ウード3世」(~12180706死去)

1192年9月3日-02:00|エジプト/イギリス| ||第3回十字軍のリチャード獅子心王がサラディンと休戦協定を結ぶ

1192年9月13日-09:00|日本|神奈川県鎌倉市|建久3年8月5日|鎌倉幕府が政所を開設し、御家人に政所下文をあたえる

1192年10月20日-09:00|日本|大阪府大阪市天王寺区|建久3年9月13日|<再建>四天王寺念仏三昧院

1192年11月3日-09:00|日本|兵庫県小野市|建久3年9月27日|僧重源播磨国に浄土寺及び薬師堂を建立

1192年11月14日-01:00|ベルギー| ||<死去>リエージュ公「ルヴェン」の聖アルベール殺害される

1192年11月14日-01:00|ベルギー| ||<就任>リエージュ公「ホットシュテン」のロテル(~1193年)

1192年12月7日-09:00|日本|京都府京都市東山区|建久3年11月|崇徳天皇廟を改名/「保元の乱」で敗北し、讃岐国へ流罪とされた崇徳上皇の御霊を祀るために建立されたもので、粟田廟と呼ばれていたが「粟田宮」号に改称

1192年12月11日-01:00|オーストリア/イギリス| ||イングランド王リチャード1世、オーストリア大公レオポルト5世に捕らえられデュルンシュタイン城に幽閉された(-1194年2月)

1192年12月26日-09:00|日本|神奈川県鎌倉市|建久3年11月20日|源頼朝、鎌倉に永福寺を建立

1193年-06:30|ミャンマー| ||<即位>アラカン国王「ガボガン」(~1195年)

1193年-05:30|インド| ||<建国>ホルパナガル国(モグイから追放された統治者によって)

1193年-05:30|インド/アフガニスタン| ||ゴール朝のアイバク軍がデリーを占領しインド経営の首府とする

1193年-05:00|トルクメニスタン/ウズベキスタン| ||<死去>ホラズム・シャー朝スルタン「ジャラルッディーン・スルタン・シャー」

1193年-05:00|モルデイグ| ||<即位>ティームゲ朝スルタン「Dhinei Kalaminjaa1世」(~1199年死去)

1193年-04:00|アルメニア| ||<即位>シャー=アルメニス「Bedreddin Aksungur」(~1198年)

1193年-03:00|イラク| ||<死去>ザンギー朝モスル・アミール「イッスッディーン・マヌート1世」

1193年-03:00|イラク| ||<即位>アイユーブ朝(メソポタミア)アミール「Al-Adil」(~1200年)

1193年-03:00|イラク| ||<即位>ザンギー朝モスル・アミール「ヌルッディーン・アルスラフ・シャー1世」(~1211年)

1193年-02:00|シリア・アラブ| ||<即位>アイユーブ朝(アレッポ)アミール「Az-Zahir Ghazi」(~1216年)

1193年-02:00|エジプト| ||<即位>ショワ・サルタン国サルタン「Abdallah」(~1235年)

1193年-01:00|イタリア| ||<死去>エフィソ境界伯「アツォ5世」

1193年-01:00|イタリア| ||<就任>エフィソ境界伯「アツォ6世」(~1209年兼フェララ侯~1212.11死去)

1193年-01:00|ベルギー| ||<就任>リエージュ公「リンブルクのサイモン」(~1195年)

1193年-01:00|イタリア| ||<即位>シリア王「ルッジェーロ3世」共同統治(~11931224死去)

1193年-01:00|ノルウェー| ||<即位>ノルウェー対立王「シグルト・マグヌソン」(~11940403没)

1193年 00:00|イギリス| ||<死去>デヴオン伯「Richard de Redvers」

1193年 00:00|イギリス| ||<就任>デヴオン伯「William de Redvers」(~12170910死去)

1193年1月19日-08:00|中国| ||宋・紹熙3年12月15日|<死去>陸九淵(象山)/(誕生:1139)/明代の陽明学の起訴を築いた儒者

1193年2月3日-09:00|日本| ||建久3年12月30日|朝廷銭貨を停止

1193年2月4日-09:00|日本|長崎県壱岐市|建久4年|源頼朝の一国一社の命により若宮神社[北触]を鎮座

1193年3月4日-02:00|エジプト/シリア・アラブ/イェメン| ||<死去>アイユーブ朝初代スルタン兼ダマスカス・アミール「サラフッディーン」55歳(1138年生)3人の息子がそれぞれカイロ、ダマスカス、アレッポの領土を継承

1193年3月4日-02:00|エジプト/イェメン/シリア・アラブ| ||<即位>アイユーブ朝第2代スルタン「アル=アジ=ズ」(~11981129死去)

1193年3月4日-02:00|シリア・アラブ| ||<即位>アイユーブ朝ダマスカス・アミール「アル=アッダル」(~1196年退位)

1193年6月28日-09:00|日本|静岡県富士宮市|建久4年5月28日|<曾我氏兄弟仇討ち事件>子刻(深夜)、故伊東次郎祐親法師の孫である曾我十郎祐成と同五郎時致が富士野の神野の狩宿に推参し、左衛門尉工藤祐経を殺した。同宿していた備前国の住人吉備津宮の王藤内も殺された/宿泊していた大勢の侍が様子が判らないままに飛び出して暗闇の中を走り回り、祐成兄弟によって多くの者が負傷。平子野平右馬允、愛甲三郎、吉香小次郎、加藤太、海野小太郎、岡部彌三郎、原三郎、堀藤太、臼杵八郎が疵を負い、宇田五郎が命を落とした/十郎祐成は新田四郎

1200迄 (2036件)

忠常と斬り合って落命し、五郎時致は頼朝の狩宿を目指して走った/小舎人童の五郎丸が曾我五郎を捕獲し、大見小平次に召し預けられて騒ぎが鎮まった

1193年6月29日-09:00|日本| ||建久4年5月29日|<死去>曾我時致(20歳/武将)工藤祐経を殺害後に捕縛され、処刑

1193年7月1日-09:00|日本| ||建久4年6月|<任命>常陸国守護「八田(小田)知家」(~1203年)

1193年8月-01:00|チェコ| ||<即位>ボヘミア対立公「ジンドリヒ・ブレティスラフ3世」(⇒12.6公~11970619没)

1193年8月2日-09:00|日本| ||建久4年7月4日|宋銭の通用を停止

1193年8月14日-01:00|フランス/デンマーク| ||フランス王フィリップ2世(オーギュスト尊厳王)、デンマーク王クヌート6世の妹インゲボルグと結婚するが、結婚生活はまもなく破綻する

1193年9月10日-09:00|日本|群馬県吾妻郡草津町|建久4年8月13日|源頼朝が浅間山で巻狩りを行った際に草津温泉(群馬県)を発見(伝説)

1193年9月14日-09:00|日本|静岡県伊豆市|建久4年8月17日|源頼朝が、伊豆・修善寺に弟・範頼を幽閉

1193年9月15日 07:00|日本|神奈川県鎌倉市|建久4年8月18日|申刻(16時前後)、参州(範頼)の家臣である橘太左衛門尉、江瀧口、梓刑部丞らが武装して濱の宿館に立て籠ったとの情報があり、結城七郎、梶原平三父子、新田四郎らを派遣してこれを討ち破った

1193年9月17日 07:00|日本|神奈川県鎌倉市|建久4年8月20日|故曾我十郎祐成の同腹の異父弟である京の小次郎が源範頼に連座して追討された

1193年9月27日-09:00|日本| ||建久4年9月1日|<死去>多忠節(84歳)雅楽家

1193年10月16日-08:00|中国| ||西夏・乾祐23年9月20日|<死去>西夏第5代皇帝「仁宗(聖徳皇帝)李仁孝」

1193年10月16日-08:00|中国| ||西夏・乾祐23年9月20日|<即位>西夏第6代皇帝「桓宗(昭簡皇帝)李純佑」(~応天元年(1206年3月1日)死去)

1193年11月3日-09:00|日本| ||建久4年10月8日|<再任>近江国守護「佐々木定綱」(~元久2(1205)年4月7日出家)

1193年11月23日-09:00|日本| ||建久4年10月28日|<任命>淡路国守護「佐々木経高」(~正治2(1200)年8月2日解任)

1193年12月6日-01:00|チェコ| ||<廃位>ボヘミア公「プリェミスル」

1193年12月23日 07:00|日本|神奈川県鎌倉市|建久4年11月28日|越後守安田義資が永福寺薬師寺堂供養の際に女房に艶書を届けたとの科で梶原景時の讒言に遭い源頼朝の命を受けた加藤景廉によって殺害され鎌倉にて梟首された

1193年12月24日-01:00|イタリア| ||<死去>シチリア王「ルッジェーロ3世」兼「アリャ・カラブリア公「ルッジェーロ5世」

1193年12月24日 00:00|イギリス| ||<死去>アランデル伯「ウィリアム・ド・オービニー」

1193年12月24日 00:00|イギリス| ||<就任>アランデル伯「ウィリアム・ド・オービニー」(~12210201死去)

1193年12月25日-01:00|イタリア| ||<死去>フェーラ侯・エステ辺境伯「ロベッツォ1世」

1193年12月30日-09:00|日本| ||建久4年12月5日|<解任>遠江国守護「安田義定」所領没収

1194年-08:00|インドネシア| ||<即位>クティ王国マハラジャ「カルタジャヤ、サルウエーシュワ2世」(~1222年)

1194年-05:30|インド| ||<建国>セジャクパル国

1194年-05:30|インド| ||<建国>ハリラナ国

1194年-05:30|インド| ||<建国>ラジャリ国

1194年-05:30|インド| ||<即位>ガハダヴァーラ朝国王「Harishchandra」(~1197年)

1194年-05:30|インド| ||<即位>ハラマラ朝国王「Subhatavarman」(~1209年)

1194年-01:00|フランス| ||<死去>トゥールズ伯「レイモン7世」兼「ロヴァンス辺境伯「レモン5世」

1194年-01:00|ドイツ| ||<就任>ウエルテンベルク伯「ルートヴィヒ3世」(~1226年)

1194年-01:00|フランス| ||<就任>オーベルニュ伯「キヨム9世」(~1195年)

1194年-01:00|クロアチア| ||<就任>クロアチア・ハン「トミニク・ミシコル」(~1195年)

1194年-01:00|フランス| ||<就任>トゥールズ伯「レイモン8世」兼「ロヴァンス辺境伯「レモン6世」(~12220802死去)

1194年-01:00|フランス| ||<就任>ピゴール伯「Petronilla」(~1215年)

1194年-01:00|マルタ| ||<就任>マルタ伯「Guglielmo Grasso」(~1198年)

1194年 00:00|アイルランド| ||<死去>トモント王「ドナル・モル・オブ・リアン」

1194年 00:00|アイルランド| ||<即位>トモント王「ミウチヤルツハ・ダル・オブ・リアン」ドナル・モル・オブ・リアンとオラカン・ニー・ムルチャダの息子(~1198年没)

1194年 00:00|イギリス| ||ルウェリン・アプ・イウォース全ケウネッスを掌握

1194年 07:00|メキシコ| ||チェン・イツァ山地を拠点とするマヤハンが、チマカと結んでトルカ王国を降し、ユカタン半島を制圧

1194年1月1日-09:00|日本|京都府京都市|建久4年12月7日|六角堂焼失

1194年1月7日-09:00|日本|茨城県|建久4年12月13日|前右衛門尉八田知家に命じて常陸国の住人下妻四郎弘幹を梟首/北條時政への遺恨が露見したため

1194年1月14日-09:00|日本| ||建久4年12月20日|<任命>石見国守護「佐々木定綱」(~正治2(1200)年)兼隠岐国守護(~元久2(1205)年4月7日出家)兼長門国守護(~不詳/次に広綱が継ぐ~承久3(1221)年7月2日死去)

1194年1月24日-08:00|中国| ||西夏・天慶1年|西夏の桓宗が天慶(-1205年)と改元

1194年2月20日-01:00|イタリア| ||<死去>サレリ・シチリア王「タンクレディ」

1194年2月20日-01:00|イタリア| ||<即位>シチリア王「グリエルモ3世」(~1194.12)

1194年3月19日-03:30|イラン/イラク/トルクメニスタン| ||<死去>大セルジューク朝スルターン「トゥグ・リル3世」ホズム・シャー朝に滅ぼされる

1194年3月21日-09:00|日本|神奈川県鎌倉市|建久5年2月27日|初めて楽所を置き別当・預・寄人・舞人・楽人などを補佐

1200迄 (2036件)

1194年4月3日-01:00|ノルウェー| |||<死去>ノルウェー対立王「シグルト・マグヌソン」
1194年4月18日-09:00|日本|京都府京都市|建久5年3月26日|松殿(藤原基房第)焼亡
1194年5月5日-01:00|ポロランド| |||<死去>ポロランド公「マゾフシェ=クヤヴィ公「カジミェシュ2世正義公」
1194年5月5日-01:00|ポロランド| |||<即位>ポロランド公「レシェク1世ピャウイ」カジミェシュ2世の息子/サントミェシュ公を兼ねる(〜198年退位)
1194年5月5日-01:00|ポロランド| |||<即位>マゾフシェ=クヤヴィ公「レシェク1世(白公)」(〜1200年),「コンラト1世」(〜12470831死去)
1194年6月27日-01:00|スペイン| |||<死去>ナバラ王「サンチヨ6世」
1194年6月27日-01:00|スペイン| |||<即位>ナバラ王「サンチヨ7世」サンチヨ6世とサンチャ・デ・カスティリヤの男子(〜12340407死去)
1194年6月28日-08:00|中国| ||宋・紹熙5年6月9日|南宋の2代皇帝趙慎(孝宗)死去(*1127年)
1194年7月3日-01:00|フランス/イギリス| |||フランス王フィリップ2世(オキュスト尊厳王)、パリの南西約160キロメートルにある「ワトガールの戦い」でイングランド王リチャード1世(獅子心王)に大敗
1194年7月18日-02:00|キプロス| |||<死去>キプロス領主「ギー・ト・リュジニョン」
1194年7月18日-02:00|キプロス| |||<就任>キプロス領主「エメリ・ト・リュジニョン」(⇒1197年9月、キプロス国王⇒1198年1月兼エルサレム王〜12050401死去)
1194年7月24日-09:00|日本| ||建久5年7月5日|延暦寺の訴えにより、栄西らの禅宗を禁止
1194年7月24日-08:00|中国| ||宋・紹熙5年7月5日|<即位>南宋第4代皇帝「寧宗」(〜嘉定17年閏8月3日(1224年9月17日))
1194年7月24日-08:00|中国| ||宋・紹熙5年7月5日|<廃位>南宋第3代皇帝「光宗」
1194年7月27日-02:00|ウクライナ| |||<死去>キエフ大公「スヴャトスラフ3世」
1194年7月27日-02:00|ウクライナ| |||<復位>キエフ大公「リュリク2世」(3度目〜1202年)
1194年8月16日-09:00|日本|大分県|建久5年7月28日|宇都宮頼綱:豊後配流
1194年9月3日-09:00|日本|京都府京都市|建久5年8月17日|八条院御所(八条東洞院)焼亡
1194年9月5日-09:00|日本|山梨県甲州市|建久5年8月19日|幕府、安田義定(61)を謀反の疑いで梟首
1194年9月6日-09:00|日本|神奈川県鎌倉市|建久5年8月20日|名越の付近で遠江守安田義定の仲間五人の首を刎ねた/前の瀧口榎下重兼、前の右馬允宮道遠式、麻生平太胤国、柴藤三郎、武藤五郎ら
1194年9月16日-08:00|中国| ||西夏・天慶1年9月|西夏・天慶と改元
1194年9月16日-09:00|日本|愛媛県四国中央市|建久5年閏8月1日|宇和郡三島神社銅製懸仏が造られる
1194年11月6日-09:00|日本|奈良県奈良市|建久5年9月22日|興福寺金堂・南大門等供養
1194年11月7日-09:00|日本|京都府京都市東山区|建久5年9月23日|青蓮院焼亡
1194年11月15日-01:00|フランス/ベルギー| |||<死去>フランドル伯「マルグリット1世」
1194年11月15日-01:00|フランス/ベルギー| |||<就任>フランドル伯「ボートゥアン9世」ボートゥアン8世の息子(〜1205年死去)
1194年11月15日-09:00|日本| ||建久5年10月|<任命>三河国守護「安達盛長」(〜正治1(1199)年正月辞任)
1194年12月25日-01:00|イタリア| |||<即位>シチリア王「コスタンツァ」(〜11981127死去),「エンリコ」フランク・ローマ帝国皇帝・イタリア王・フランク王国王ハインリヒ6世(〜11970928没)
1194年12月26日 00:00|イギリス| |||<死去>初代オックスフォード伯「オブ・リー・ト・グアイア」
1194年12月26日 00:00|イギリス| |||<就任>2代オックスフォード伯「オブ・リー・ト・グアイア」先代の子(〜1214年死去)
1194年12月31日-01:00|オーストリア| |||<死去>オーストリア公・シュターマルク公「レオポルト5世」
1194年12月31日-01:00|オーストリア| |||<即位>オーストリア公「フリートリヒ1世」(〜11980416死去23歳)
1194年12月31日-01:00|オーストリア| |||<即位>シュターマルク公「レオポルト6世」(〜12300728死去)
1195年-06:30|ミャンマー| |||<即位>アラン国王「ソカライン」(〜1198年)
1195年-04:00|ロシア| |||<即位>ウラジミール・スズダリ大公「フセヴォロド3世」(〜12120415死去)ロシア諸侯から認められた
1195年-04:00|ロシア| |||<即位>プスコフ公「ウラジミール・ムスチスラヴィチ」(〜1211年退位)
1195年-03:00|ベラルーシ| |||<即位>トクローフ・ピンスク公「イヴァン・ユリエヴィチ」(〜1207年)
1195年-03:00|ベラルーシ| |||<即位>ドゥブローツァ公「アレクサンドル・グレボヴィチ」(〜1223年戦死)
1195年-01:00|スウェーデン| |||<死去>スウェーデン王国国王「クヌート1世」
1195年-01:00|フランス| |||<死去>モンペリアル伯「アメー2世」
1195年-01:00|フランス| |||<就任>オーペルニュ伯「Guy2世」(〜1224年)
1195年-01:00|フランス/イギリス| |||<就任>オマル伯「Baldwin of Bethune」Hawiseの3番目の夫(〜1196年〜12121013死去)
1195年-01:00|ドイツ| |||<就任>スポンハイム伯「Godfrey3世」(〜1218年)
1195年-01:00|イタリア| |||<就任>トスカナ辺境伯「フィリップ・デ・イス・ヴェーグイア」神聖ローマ皇帝(〜1197年)
1195年-01:00|フランス| |||<就任>モンペリアル伯「リシャール3世」アメー2世の息子(〜12270607死去)
1195年-01:00|ベルギー| |||<就任>リエージュ公「アルベール・オブ・カイク」(〜12000202死去)
1195年-01:00|スウェーデン| |||<即位>スウェーデン王国国王「スヴェルケル2世」(〜12080131退位〜12100710死去)
1195年-01:00|イタリア| |||<復位>スレート公「コンラット1世」(2期目〜1198年)
1195年 00:00|イギリス| |||<死去>グウィネト公「Rhodri ab Owain」
1195年 00:00|イギリス| |||<即位>アバフロー大公・グウィネト公「ルエリン・アブ・ヨーワース」(〜12400410死去)
1195年 00:00|イギリス| |||<即位>ホイス公「グウェンウイン・アブ・オウイン」(〜1208年)
1195年 00:00|モロッコ| |||<即位>マリーン朝スルタン「アブド・アル=ハック1世」(〜1217年死去)
1195年2月7日-09:00|日本|神奈川県鎌倉市|建久5年12月26日|永福寺内に新造した薬師堂の落慶供養
1195年2月12日-09:00|日本| ||建久6年|<任命>出雲国守護「安達親長」但馬守護(〜正治元(1199)年)

1200迄 (2036件)

1195年2月12日-09:00|日本| ||建久6年|<任命>筑前・肥前国守護「武藤資頼」(~安貞元(1227)年)
 1195年2月12日-09:00|日本| ||建久6年|<任命>鎮西西方奉行「武藤資頼」(~不詳、以後、少貳資能、少貳経資と続く~不詳)
 1195年2月12日-09:00|日本| ||建久6年|<任命>鎮西東方奉行「中原親能」(~1208年)
 1195年2月12日-09:00|日本| ||建久6年|<任命>尾張国守護「小野成綱」(~不詳、次に盛綱が就任~承久3(1221)年6月15日逃亡)
 1195年2月12日-09:00|日本|福岡県福岡市博多区|建久6年|禅宗の祖・栄西禅師により博多に日本最初の禅寺聖福寺を開く(福岡県)
 1195年2月12日-08:00|中国| ||宋・慶元1年|南宋の寧宗趙昀が慶元(-1200年)と改元
 1195年3月-02:00|トルコ| ||<即位>東ローマ皇帝「アレクシオス3世アンゲロス」イサキオス2世アンゲロスの弟、ケーターを起こして即位(~12030718廃位~1211年死去)
 1195年3月-02:00|トルコ| ||<廃位>東ローマ皇帝「イサキオス2世アンゲロス」弟のケーターにより(~12040128死去)
 1195年4月23日-09:00|日本|奈良県奈良市|建久6年3月12日|後鳥羽天皇・源頼朝臨席の元、東大寺再建供養が行われる
 1195年7月9日-09:00|日本|長野県長野市|建久6年6月|尾張国熱田生まれの僧定尊、夢告により信濃国善光寺の阿弥陀三尊仏を鑄造
 1195年7月19日-01:00|スペイン| ||ムワット朝カリフ・ヤーケブがアラゴスでカスティリア王アルフォンソ8世に勝利
 1195年11月8日-01:00|ドイツ| ||<就任>ライン宮中伯「ハインリヒ5世」(~1212年譲位)
 1195年11月29日-09:00|日本| ||建久6年10月26日|<死去>藤原資長(77歳)権中納言、歌人
 1195年12月17日-01:00|フランス/オランダ/ベルギー| ||<死去>フランドル伯「ボートゥアン8世」兼エノー伯「ボートゥアン5世」兼ナミュール伯「ボートゥアン1世」
 1195年12月17日-01:00|ベルギー| ||<就任>ナミュール伯「フィリップ1世」(~12121009死去)ボートゥアン1世の子
 1195年12月17日-01:00|フランス/オランダ/ベルギー| ||<就任>フランドル伯「ボートゥアン9世」兼エノー伯「ボートゥアン6世」(~12050414死去)
 1196年-05:30|スリランカ| ||<死去>ボロンタル王「ニッサナ・マラ」
 1196年-05:30|インド| ||<即位>カーカティヤ朝国王「マハーデーヴァ」プラーターハルト1世の弟(~1199年)
 1196年-05:30|スリランカ| ||<即位>ボロンタル王「Vira Bahu1世」ニッサナ・マラの息子⇒「Vikramabahu2世」ニッサナ・マラの弟⇒「Chodaganga」ニッサナ・マラの甥(~1197年)
 1196年-05:30|インド| ||チャウ朝クローツウナ3世、テルグ・チョダよりカーンチーを回復
 1196年-05:30|インド| ||ヤダヴァ朝ジャイトウギ、カーカティヤ朝プラーターハルト1世を破る
 1196年-04:00|ロシア| ||<死去>クルスク公「フセヴォロド・スヴャトスラヴィチ」
 1196年-04:00|ロシア| ||<即位>クルスク公「スヴャトスラフ・オリコヴィチ」(~?)
 1196年-03:00|ベラルーシ| ||<即位>ドルツク公「ボリス・フセスラヴィチ」(~?)
 1196年-02:00|ブルガリア| ||<死去>第二次ブルガリア帝国皇帝「イヴァン・アセン1世」イヴァンコに殺される
 1196年-02:00|ウクライナ| ||<死去>ベルス公「フセヴォロド・ムスチスラヴィチ」
 1196年-02:00|シリア・アラブ| ||<即位>アイユーブ朝(ダマスカス)第3代アミール「アル=アードイル」(~12180831死去)
 1196年-02:00|ウクライナ| ||<即位>ベルス公「アレクサンドル・フセヴォロドヴィチ」(~1207年)
 1196年-02:00|トルコ| ||<即位>ルーム=セルジューク朝スルタン「スライマン2世」(~1204年)
 1196年-02:00|シリア・アラブ| ||<退位>アイユーブ朝ダマスカス=アミール「アル=アフダル」
 1196年-02:00|トルコ| ||<退位>ルーム=セルジューク朝スルタン「カイホスロ1世」(1期目)
 1196年-02:00|ブルガリア| ||<復位>第二次ブルガリア帝国皇帝「イヴァンコ」帝位篡奪(~同年)⇒「ペル2世(4世)」(2回目~1197年死去)
 1196年-01:00|フランス| ||<再位>ブルターニュ公「アルチュール1世」ジョフロワ2世とコンスタンスの1人息子(~12030403死去16歳)
 1196年-01:00|フランス| ||<就任>ボワティエ伯「オットー4世」(~11980712)
 1196年-01:00|フランス| ||<就任>レンヌ公・レンヌ伯・ナント伯「Arthur」(~1203年死去)
 1196年-01:00|セルビア| ||<即位>セルビア大公「ステファン・フルグ・オヴ・エンチャニ」ステファン・ネマニヤの次男(~1202年)
 1196年-01:00|セルビア| ||<退位>セルビア大公「ステファン・ネマニヤ」僧侶となる
 1196年-01:00|オランダ/ベルギー| ||ブレタはブラバント公国の領地(~1327年)
 1196年 00:00|イギリス| ||<死去>ソールズベリー伯「ウィリアム・オブ・ソールズベリー」
 1196年 00:00|アイルランド/イギリス| ||<就任>アイルランド判事「ウァロニウのハモ卿」(~1199年7月)
 1196年 00:00|イギリス| ||<就任>ソールズベリー女伯「エラ・オブ・ソールズベリー」(~12610824死去)、ソールズベリー伯「ウィリアム・ロンゲペー」イングランド王ヘンリー2世庶子、エラの夫(~12260307死去)
 1196年 00:00|イギリス| ||<就任>リッチモンド伯「アルチュール1世(ブルターニュ公アサー・オブ・ブリタニー)」コンスタン・ド・ブルターニュの子(~1202年、叔父ジョン王により幽閉され、1203年に行方不明)
 1196年 00:00|マリ/ニジェール| ||<即位>ソンガイ王国国王「アリ=コロ」(~1215年)
 1196年1月-01:00|フランス/イギリス| ||フランス王フィリップ2世(オーギュスト尊厳王)、イングランド王リチャード1世(獅子心王)とフランス南西部のガロンで「ガロン条約」を結ぶ/フランス北西部のジソール(カール県)以外の占領地全てを返還
 1196年2月1日-09:00|日本| ||建久7年|<任命>安芸国守護「宗孝親」(~1221年)
 1196年2月1日-08:00|モンゴル| ||金国がタタル部の討伐軍をおこす
 1196年2月1日-08:00|中国| ||宋・慶元2年|宋で偽学の党の任用が禁止され、朱熹が弾劾され
 1196年2月11日-09:00|日本| ||建久7年1月11日|<任命>鎮西奉行「大友能直」(~不詳、以後、親秀、頼泰、親時、貞親と続く~不詳)

1200迄 (2036件)

1196年2月11日-09:00|日本| ||建久7年1月11日|<任命>豊前・豊後国守護「大友能直」(~不詳)
1196年4月23日-01:00|ハンガリー/クロアチア| ||<死去>ハンガリー・クロアチア国王「ベーラ3世」
1196年4月23日-01:00|ハンガリー/クロアチア| ||<即位>ハンガリー・クロアチア王「イムレ1世」ベーラ3世の長男(~12041130死去)
1196年4月25日-01:00|スペイン| ||<死去>アラゴン国王「アルフォンソ2世(純潔王, 吟遊詩人王)」兼バレャ伯「アルフォンソ1世」44歳
1196年4月25日-01:00|スペイン| ||<即位>アラゴン国王「ペドロ2世」兼バレャ伯「ペラ1世」アルフォンソ2世とサンチャ・デ・カステリーヤの息子(~12130912ミウラの戦いで死去)
1196年4月30日-09:00|韓国/朝鮮| ||宋・慶元2年4月|高麗で崔忠献が李義文を倒して政権を掌握
1196年5月17日-09:00|日本| ||建久7年4月18日|<死去>定恵法親王(41歳)後白河天皇の皇子
1196年6月-01:00|フランス/イタリア| ||フランス王フィリップ2世(オーギュスト尊厳王)、イタリア北部の「メラノ公」ベルトルト4世の娘アニェスト・マリーと結婚
1196年7月11日-09:00|日本|福井県敦賀市|建久7年6月14日|敦賀郡気比社の社殿が建立される
1196年7月22日-09:00|日本|京都府京都市|建久7年6月25日|京都守護一条能保の兵が平知忠(平知盛の三男)を討伐
1196年8月2日-09:00|日本|奈良県奈良市|建久7年7月7日|仏師定慶興福寺維摩居士像を造立供養
1196年8月14日-01:00|ルクセンブルグ| ||<死去>ルクセンブルク伯「ハインリッヒ4世」
1196年8月14日-01:00|ルクセンブルグ| ||<就任>ルクセンブルク摂政「ハールベルト伯」(~12140213没)
1196年8月14日-01:00|ルクセンブルグ| ||<就任>ルクセンブルク伯「エルメジンデ伯爵夫人」(~12470212)、対立伯「オットー」ブルゴニエ伯トナ1世、ハインリッヒ4世の従兄弟(~1197年死去)
1196年8月15日-01:00|トイ/スイス| ||<死去>シュヴァーベン大公「コンラート2世」
1196年8月15日-01:00|トイ/スイス| ||<即位>シュヴァーベン大公「フィリップ」(~12080621死去)
1196年8月20日-09:00|日本| ||建久7年7月25日|<死去>平知忠(17歳/武将、伊賀守)一条能保暗殺計画を立てたとして処刑
1196年9月24日-09:00|日本| ||建久7年9月1日|<任命>若狭国守護「津々見忠季」(~建仁3(1203)年9月4日比企能員の変に連座所領没収)
1196年10月3日-09:00|日本|香川県丸亀市|建久7年9月10日|長命寺(現、丸亀市本島)蔵木造弥勒菩薩坐像、造られる
1196年10月12日-02:00|エストニア/ラトビア| ||<就任>リガ・オニア司教「ベルトルト・シュル」(~11980824死去)
1196年10月23日-08:00|中国| ||金・明昌7年10月|この月、契丹人徳寿、信州(遼寧省鉄嶺県)で自立し身聖と建元する
1196年11月14日-08:00|中国| ||金・承安1年10月23日|金の章宗が承安(~1200年)と改元
1196年11月28日-09:00|日本| ||建久7年11月7日|<任命>和泉国守護「佐原義連」(~建仁3(1203)年5月17日)
1196年12月16日-09:00|日本| ||建久7年11月25日|<解任>関白・氏長者「九条兼実」罷免、弟慈円も天台座を追われ一族が排斥される
1196年12月16日-09:00|日本| ||建久7年11月25日|<再任>関白「近衛基通」/源通親が朝廷の実権を握る(建久7年の政変)
1197年-05:30|インド| ||<建国>タンガローラ国
1197年-05:30|インド| ||ゴール朝アイバク軍がグジャラート地方の都アンhilワラを攻略
1197年-04:00|アゼルバイジャン/ロシア| ||<死去>シルヴァンシャー朝国王「Akhsitan1世」
1197年-04:00|ロシア| ||<就任>ノヴゴロド共和国ノヴゴロド公「ヤコフ・ヤロスラヴィチ」(~同年年) =><復位>「ヤロスラフ・ウラジミロヴィチ」(~1199年)
1197年-04:00|アゼルバイジャン/ロシア| ||<即位>シルヴァンシャー朝国王「Shahanshah」前王の兄弟(~1200年死去)
1197年-03:00|イラク| ||<即位>ザンギー朝シジャール・アミール「クタブ・アッディーン・ムハンマド」(~1219年)
1197年-02:00|ブルガリア| ||<死去>第二次ブルガリア帝国皇帝「ペタル2世(4世)」
1197年-02:00|ギリシャ| ||<設立>アトスにヒランダル(キアンタリ)修道院
1197年-02:00|ブルガリア| ||<即位>第二次ブルガリア帝国皇帝「カロヤン・アッセン」(~12071008、死去)
1197年-02:00|パレスチナ/イスラエル| ||十字軍エルサレム王国がシオン再取得(~1249年)
1197年-02:00|パレスチナ/イスラエル| ||十字軍エルサレム王国がバイルト再取得
1197年-01:00|ルクセンブルグ| ||<死去>ルクセンブルク伯「オットー」
1197年-01:00|ハンガリー| ||<就任>ハンガリー王国パラチン「モク」(2回目~1198年)
1197年-01:00|トイ| ||<就任>ヘルツ伯「アドルフ4世」(~12180807死去)
1197年-01:00|イタリア| ||<就任>ミラノ・シニョレ「パガノ1世・デッラ・トル」(~1241年)
1197年-01:00|ルクセンブルグ| ||<就任>ルクセンブルク伯「エルメジンデ女伯」(~12470212死去)、「テオバルト」ヘルツ伯「ティボ」(~12140213死去)エルメジンデ女伯と結婚
1197年 05:00|ペルー| ||<建国>クスコ王国(クスコ)をマンコ・カパック(マンコ・カパック)が設立
1197年1月20日-09:00|日本| ||建久8年|<任命>但馬国守護「安達親長」(~1221年)
1197年1月20日-09:00|日本|神奈川県横浜市|建久8年|源頼朝、佐奈田義忠菩提堂の伽藍を整備、寺号を証菩提寺とする
1197年4月28日 00:00|イギリス| ||<死去>デハイベース公「リース・アフ・グウィリス」
1197年4月28日 00:00|イギリス| ||<即位>デハイベース公「Gruffydd ap Rhys」(~12010725死去)
1197年5月15日-09:00|日本| ||建久8年4月27日|<死去>承仁法親王(29歳)後白河天皇の皇子、第63世天台座主
1197年6月15日-01:00|チコ| ||<死去>スノイ公「インビ」モラグ・イフ・辺境伯ウラジスラの領域に編入

1200迄 (2036件)

1197年6月19日-01:00|チェコ| |||<死去>ホヘミア公「ジントリヒ・ブレティスラフ3世」
 1197年6月22日-01:00|チェコ| |||<即位>ホヘミア公「ウジスラフ・ジントリヒ」(~12.6)
 1197年8月-03:00|イェメン| |||<死去>アイユーブ朝(イェメン・ヘジャズ)アミール「トゥグ=ティキーン」
 1197年8月-03:00|イェメン| |||<即位>アイユーブ朝(イェメン・ヘジャズ)アミール「アル=ムイッス・イスマーイル」トゥグ=ティキーンの子(~1202年)

1197年8月23日-04:00|ロシア| |||<死去>スモレンスク公「ダウイト・ロスチスラヴィチ」
 1197年8月23日-04:00|ロシア| |||<即位>スモレンスク公「ムスチスラフ・ロマノヴィチ」(~1213年)
 1197年9月10日-02:00|パレスチナ/フランス| |||<死去>エルサレム国王「アンリ1世」兼シャンパ=ニュ伯「アンリ2世」31歳
 1197年9月10日-02:00|パレスチナ| |||<即位>エルサレム国王「アモリー2世」ユーグ8世・ト・リュジニャンとブルゴ=ニュ・ト・ランソンの息子(イザベル1世と共同統治~12050401死去60歳)
 1197年9月10日-01:00|フランス| |||<就任>シャンパ=ニュ伯「ティボ=3世」アンリ2世の弟(~12010514死去)
 1197年9月28日-01:00|ドイツ/オーストリア/イタリア/フランス/スイス| |||<死去>フランク=ローマ帝国皇帝・ブルグント王「ハインリヒ6世」兼イタリア王「エンリコ6世」兼シチリア王「エンリコ」第4回イタリア遠征中、南イタリアのメッサで急逝し、世襲帝国の計画が挫折
 1197年9月28日-01:00|ドイツ/オーストリア/イタリア/フランス| |||<就任>フランク=ローマ帝国首相「マインツ大司教コンラート・フォン・ヴァイツェルスバッハ」(~11980308)

1197年10月24日-02:00|イスラエル/レバノン| |||エルサレム王がベイルートを奪回
 1197年11月4日-09:00|朝鮮| ||高麗・承安2年9月23日|<即位>高麗王「神宗」(~12040207退位)
 1197年11月4日-09:00|朝鮮| ||高麗・承安2年9月23日|<廃位>高麗王「明宗」崔忠献により
 1197年11月23日-09:00|日本| ||建久8年10月13日|<任命>京都守護・山城国守護「一条高能」(~建久9年(1198年)9月17日)

1197年11月26日-02:00|ブルガリア| |||ブルガリアでパシパ=オウルがオスマン朝支配に対して反乱
 1197年12月6日-01:00|チェコ| |||<就任>モラヴィア辺境伯「ウジスラフ1世ジジッチ」(~1220812死去)
 1197年12月6日-01:00|チェコ| |||<即位>ホヘミア公「ブゼミスル」(2回目⇒11980815王~12301215死去)
 1197年12月11日-09:00|日本|山口県防府市|建久8年11月22日|重源周防国阿弥陀寺多宝鉄塔を建立

1198年-06:30|ミャンマー| |||<即位>アラカン国王「ンガギン」(~1201年)
 1198年-05:30|インド| |||<即位>東ガング朝国王「ラージャラジャ2世」(~1211年)
 1198年-04:00|アルメニア| |||<即位>シャー=アルメニス「Succaudin Kutlug」⇒「Melik ulmansur Muhammed」(~1206年)
 1198年-02:00|ウクライナ| |||<即位>グィスコロド公「ロスチスラフ・リュリコヴィチ」(~1203年)
 1198年-02:00|ウクライナ/ロシア/ベラルーシ| |||<即位>チェルニヒウ公「イェゴリスラフ・ヤトスラヴィチ」(~1202年)
 1198年-02:00|トルコ| |||<即位>メジューク(デ・イブリー)君主「Suleyman2世」(~1227年)
 1198年-01:00|アルバニア| |||<死去>アルバノン公「フロゴン」
 1198年-01:00|ドイツ| |||<死去>マルク伯「フリードリヒ」ヘルク=アルテナ伯
 1198年-01:00|ドイツ/オランダ| |||<就任>クレフェ伯「アルノルト2世」(~1201年)
 1198年-01:00|クロアチア| |||<就任>クロアチア=ハン「アントリュ」(~1199年)
 1198年-01:00|ハンガリー| |||<就任>ハンガリー王国パライン「エズー」(~1199年)
 1198年-01:00|ドイツ| |||<就任>マイセン辺境伯「ティートリヒ」オットーの次男、アルブレヒト1世の弟(~12210618死去)
 1198年-01:00|ドイツ| |||<就任>マルク伯「アドルフ1世」(~12490628死去)
 1198年-01:00|マルタ| |||<就任>マルタ伯「Enrico de Castro "Pescatore"」(~1231年死去)
 1198年-01:00|アルバニア| |||<即位>アルバノン公「ジッ=ブロニ」(~1208年、死去)
 1198年-01:00|イタリア| |||<即位>スレート公「コンラート2世」(~1205年)
 1198年-01:00|ポーランド| |||<退位>ポーランド公「レシク1世ヒェウイ」
 1198年-01:00|ポーランド| |||<復位>ポーランド公「ミェシュコ3世スタリ」(~1199年退位)
 1198年 00:00|アイルランド| |||<死去>トモント王「ミウアチルタハ・ダール・オー・ブリアン」
 1198年 00:00|アイルランド| |||<即位>トモント王「コンチョバル・ルアド・オー・ブリアン」ド=ナル・モル・オー・ブリアンとオラカン・ニー・ムルチャダの息子(~1203年没)

1198年1月-01:00|ノルウェー| |||<即位>ノルウェー対立王「インゲ2世マクヌソン」(~1202年8月没)
 1198年1月8日-01:00|バチカン| |||<死去>第175代ローマ教皇「クレティウス3世」
 1198年1月8日-01:00|バチカン| |||<就任>第176代ローマ教皇「インノケンティウス3世」(~12160716死去)
 1198年1月9日-09:00|日本| ||建久8年12月|<任命>薩摩・日向・大隅国守護「島津忠久」(~建仁3(1203)年9月4日)
 1198年2月8日-09:00|日本| ||建久9年|この年、僧栄西、「興禅護国論」を著す
 1198年2月8日-09:00|日本|京都府京都市|建久9年|讃岐国の費用により、大内裏朱雀門が再建
 1198年2月8日 00:00|チャンネル諸島/イギリス| |||<就任>イギリス王領ガーンジー=島・ジャージー=島主「ジョン王子」(~11990527)
 1198年2月8日 00:00|チャンネル諸島/フランス| |||チャンネル諸島(ガーンジー=、ジャージー=、オルダニー=、サーク、ブルチョウ、エルム、ジエロー)島主はノルマンディー公国内(12040624まで)

1198年2月18日-09:00|日本| ||建久9年1月11日|<就任>摂政「近衛基通」(~建仁2年12月25日)
 1198年2月18日-09:00|日本| ||建久9年1月11日|<譲位>82代「後鳥羽天皇」院政を始める/為仁親王踐祚
 1198年3月8日-01:00|ドイツ/フランス/スイス| |||<即位>ドイツ王・ブルグント王「シュガー=ベン公フィリップ」(~12080621暗殺される)

1198年4月8日-09:00|日本| ||建久9年3月|<即位>83代「土御門天皇」為仁親王(~12101125)
 1198年4月8日-09:00|日本| ||建久9年3月|僧源空(法然)「選択本願念仏集」を著す
 1198年4月16日-01:00|オーストリア| |||<死去>オーストリア公「フリードリヒ1世」23歳
 1198年4月16日-01:00|オーストリア| |||<即位>オーストリア公「レオポルト6世」(~12300728死去54歳)

1200迄 (2036件)

1198年6月7日-09:00|韓国/朝鮮| ||宋・慶元4年5月|高麗の開城で万積らが奴婢の反乱を企てるが鎮圧される
 1198年6月9日-01:00|イタリア/ドイツ| ||<即位>ローマ王「オットー4世」フィリップ・フォン・シュヴァーベンの対立王。ローザ3世の曾孫フィリップの女婿(⇒12091004神聖ローマ皇帝~12150705廃位~12180519死去)
 1198年6月25日-09:00|日本|新潟県佐渡市|建久9年5月19日|文覚、佐渡へ配流
 1198年7月12日-01:00|フランス| ||<再任>ポワティエ伯「リカルド1世」(~11990406死去)
 1198年8月15日-01:00|チェコ| ||ボヘミア王国独立
 1198年8月24日-02:00|エストニア/ラトヴィア| ||<死去>リガ・オニア司教「ヘルムット・シュルテ」
 1198年9月28日-01:00|フランス/イギリス| ||フランス王フィリップ2世(オースト尊厳王)、フランス中西部トゥールの北西にあたる「クールセルの戦い」でイングランド王リチャード1世(獅子心王)に敗北
 1198年11月27日-01:00|イタリア| ||<死去>シチリア王「コスタンツァ」
 1198年11月27日-01:00|イタリア| ||<即位>シチリア王「フェデリコ1世」(~12501213死去)
 1198年11月29日-02:00|エジプト/シリア・アラブ/イェメン| ||<死去>アイユーブ朝第2代スルタン「アル・アッザーズ」
 1198年11月29日-02:00|エジプト/シリア・アラブ/イェメン| ||<即位>アイユーブ朝第3代スルタン「アル・マンズール・ムハンマド1世」(~1200.2退位)
 1198年12月2日 00:00|アイルランド| ||<死去>アイルランド上王「ローリー・オナー」
 1199年-05:30|インド| ||<即位>カーカティーヤ朝国王「ガナパティ・デーウア」(~1262年)
 1199年-05:00|モルデイヴ| ||<死去>ティーム朝スルタン「Dhinei Kalaminjaa1世」
 1199年-05:00|モルデイヴ| ||<即位>ティーム朝スルタン「Dhihei Kalaminjaa2世」(~1214年)
 1199年-04:00|ロシア| ||<死去>ペレヤスラヴリ公「ヤロスラフ・ムスチスラヴィチ」
 1199年-02:00|ルーマニア| ||<就任>トランシルヴァニア総督「レグ・フォルス」(~1200年)
 1199年-02:00|ウクライナ| ||<即位>ウイニコ・公「ヤロスラフ・ウラジミロヴィチ」(~1201年)
 1199年-02:00|ウクライナ| ||<即位>ウイニコ・公「ロマン・ムスチスラヴィチ」⇒ガリチ・ウイニコ公(ガリチ公国を統合~12050619)
 1199年-01:00|フランス| ||<死去>ルル伯「マセ4世」
 1199年-01:00|クロアチア| ||<就任>クロアチア・ハン「トランシルバニアのニコライ1世」(~1200年)
 1199年-01:00|フランス| ||<就任>ヌヴェール伯「Herve4世」(~12220122死去)
 1199年-01:00|ハンガリー| ||<就任>ハンガリー王国「ラティス・モグ」(3回目~1201年)
 1199年-01:00|フランス| ||<就任>ルル伯「ユグ2世」(~1227年死去)
 1199年-01:00|フランス| ||<即位>ブルターニュ公「ギー」(~1201年)
 1199年-01:00|ポーランド| ||<退位>ポーランド公「ミェシュコ3世スワトコ」
 1199年-01:00|ポーランド| ||<復位>ポーランド公「レシェク1世ピャウ」(~1202年退位)
 1199年-01:00|ボスニア・ヘルツェゴビナ| ||ボスニアが東西教会から異端視のボゴミール派を国教として独立を宣言
 1199年 00:00|イギリス| ||<就任>エックス伯「ジェフリー・フィッツピター」(~12131014死去)
 1199年 00:00|イギリス| ||<就任>サリー伯「ハメルン・ド・ワレン」イザベルの2番目の夫(~12020507死去)
 1199年 00:00|イギリス| ||<就任>スコットランド 大法官「グラスゴウ司教ウィリアム・デ・マルベイン」(~1202年)
 1199年 00:00|イギリス| ||<就任>ペンブルック伯「ウィリアム・マーシャル」(~12190514死去)
 1199年 00:00|イギリス| ||<即位>デハイベース公「Maelgwyn ap Rhys」(12010725まで対立公~1231年死去)
 1199年 00:00|イギリス| ||北部のマリ地方やケイスネス、サザランドもスコットランド国王の支配下に入った
 1199年1月23日 00:00|モロッコ| ||<死去>ムワッヒド朝アミール「ヤアケフ・マンズール」
 1199年1月23日 00:00|モロッコ| ||<即位>ムワッヒド朝アミール「ムハンマド・ナースール」(~1213年死去)
 1199年1月28日-09:00|日本|京都府京都市北区|建久10年|この年京都遣迎院釈迦弥陀像(快慶)できる
 1199年1月28日-08:00|中国| ||宋・慶元5年|統天暦が施行される
 1199年1月28日-09:00|日本| ||建久10年1月|<辞任>三河国守護「安達盛長」
 1199年2月9日-09:00|日本|神奈川県鎌倉市|建久10年1月13日|<死去>征夷大將軍「源頼朝」53歳(誕生:久安3(1147)年)
 1199年2月22日-09:00|日本|神奈川県鎌倉市|建久10年1月26日|源頼家が鎌倉殿を継ぐ
 1199年2月27日-09:00|韓国/朝鮮| ||宋・慶元5年2月|高麗の江陵と慶州の反乱勢力が江原・慶尚両道の各地を占領
 1199年3月-02:00|エストニア/ラトヴィア| ||<就任>リガ・オニア司教「アルブレヒト・フォン・ブクシュヘフテン」(~1201年)
 1199年3月3日-09:00|日本| ||建久10年2月5日|<死去>平高直(平六代・妙覚)(27歳/僧、平維盛の息子)土御門通親襲撃計画に加担したとして処刑
 1199年3月12日-09:00|日本|京都府京都市|建久10年2月14日|一条家の遺臣讃岐守護後藤基清ら、内大臣源通親を討とうとして幕府に捕らえられる/三左衛門の乱
 1199年4月2日-09:00|日本| ||建久10年3月5日|<交替>讃岐国守護「後藤基清」罷免⇒「近藤国平」(~不詳)
 1199年4月6日-01:00|フランス/イギリス| ||<死去>イングランド王兼アキテーヌ公「リチャード1世獅子心王」兼ルマンデール公「リチャール4世」兼アンジュー伯・メヌ伯・ポワティエ伯「リチャール1世」西部フランスで城攻めの最中に矢の傷の壊疽がもとで/41歳(誕生11570908)
 1199年4月6日-01:00|フランス| ||<即位>ルマンデール公・メヌ伯「ジャン」イングランド王ジョン次地王(~1204年フィリップ2世によってルマンデール公領(チャル諸島を除く)を奪われるが、以降も公位を主張)
 1199年4月6日-01:00|フランス| ||<即位>ブルターニュ公・アンジュー伯・メヌ伯「アルテュール1世」ブルターニュ公ジョフロワ2世とコンスタンスの息子(~12030403死去16歳)
 1199年4月19日-09:00|日本| ||建久10年3月22日|<出家>越後・佐渡国守護「佐々木盛綱」
 1199年4月27日-09:00|日本|神奈川県鎌倉市|建久10年4月1日|源頼家新たに問注所を建て三善康信を執事に任命

1200迄 (2036件)

1199年5月8日-09:00|日本|神奈川県鎌倉市|建久10年4月12日|北條政子・時政・大江廣元ら、頼家の訴訟関係の直断を停止/十三人合議制発足

1199年5月23日-09:00|日本| ||正治1年4月27日|「正治」に改元

1199年5月27日 00:00|アイルランド/イギリス| ||<就任>アイルランド 卿をイングランド 王が兼ねる (~15410619)

1199年5月27日 00:00|チャンネル諸島/イギリス| ||<就任>イギリス王領ガーンジー-島管理者・保護者「William Orseth卿」

1199年5月27日 00:00|イギリス/フランス| ||<即位>イングランド 王「ジョン」欠地王」兼アキテーヌ公・ノルマンディー公「ジャン」ヘンリー2世とアリエノール・ダキテーヌの男子 (~12161019死去49歳)

1199年6月5日-09:00|日本|京都府京都市|正治1年5月10日|洪水により八条北の民家、多く流出

1199年6月17日-07:00|日本|神奈川県鎌倉市|正治1年5月10日|丑刻(午前2時前後)に由比ヶ浜近くの火災で民家30余りが焼失、この中には平民部大夫盛時、中澤兵衛尉、飯富源太らの家も含まれている

1199年7月 00:00|アイルランド/イギリス| ||<就任>アイルランド 判事「マイラー・フィッツヘンリー卿」 (~1208年9月)

1199年9月22日-01:00|フランス/イギリス| ||イングランド 王ジョンがフランス王フィリップ のブルターニュを攻略し、ルマンでブルターニュのアーサーとコンスタンスに恭順を表させる

1199年10月17日-07:00|日本|神奈川県鎌倉市|正治1年9月26日|御所に於いて不動明王像の落慶供養を催した。導師は葉上房律師 栄西、布施は被物五重と裏物五つおよび馬一疋/この像は奈良で造像し掃部頭中原親能が差配して鎌倉に運んだもの

1200年-07:00|カンボジア| ||アンコール・トム造営

1200年-05:30|インド| ||<建国>ハンガール国

1200年-05:30|スリランカ| ||<即位>ホラナラ王「Sahassa Malla」ニッサナ・マラの弟 (~1202年)

1200年-05:30|インド| ||<即位>ヤダヴァ朝君主「シカナ2世」 (~1246年)

1200年-05:30|インド| ||<退位>ハラ朝国王「ハラハ・ハラ」ベンガルのハラ朝が滅亡

1200年-05:00|トルクメニスタン/ウズベキスタン| ||<死去>ホラズム・シャー朝スルタン「アラウッディーン・テギシュ」

1200年-05:00|トルクメニスタン/ウズベキスタン| ||<即位>ホラズム・シャー朝スルタン「アラウッディーン・ムハンマド」 (~1220. 12死去)

1200年-04:00|アゼルバイジャン/ロシア| ||<死去>シルヴァンシャー朝国王「Shahanshah」

1200年-04:00|ロシア| ||<就任>ノヴゴロド 共和国ノヴゴロド 公「スヴャトスラフ・フセヴォロドヴィチ」 (~1205年)

1200年-04:00|アゼルバイジャン/ロシア| ||<即位>シルヴァンシャー朝国王「Fariburz2世」前王の甥 (~1204年死去)

1200年-03:00|イラク| ||<即位>アイユーブ 朝(メソポタミア)アミール「Al-Awhad Ayyub」 (~1210年)

1200年-02:00|ルーマニア| ||<就任>トランシルヴァニア総督「イース」 (~1201年)

1200年-02:00|トルコ| ||<即位>サルトキッド 君主「Alaeddin Muhammed」 (~1202年)

1200年-02:00|ウクライナ| ||<即位>ノヴゴロド・セヴェルスキー公「オレグ・スヴャトスラヴィチ」 (~1201年)

1200年-02:00|ウクライナ| ||<即位>ペレヤスラヴリ公「ヤロスラフ・フセヴォロドヴィチ」 (~1206年)

1200年-01:00|スペイン| ||<就任>アンブリアス伯「Hugh4世」 (~1230年)

1200年-01:00|フランス| ||<就任>ブルゴーニュ伯(ホエンシュタウフェン家)「ジャン」1世[トニ1世の娘] (~1205年死去)

1200年-01:00|クロアチア| ||<就任>ホルツァ伯「イワン・ハパリ」

1200年-01:00|フランス| ||フィリップ 2世が特許状に署名をしてパリ大学発足

1200年 00:00|セネガル| ||<建国>ジョロフ帝国

1200年 00:00|ヨーロッパ| ||ガラス職人によりヨーロッパ で眼鏡がこのころ発明か?

1200年 07:00|メキシコ| ||このころ、メキシコ中央高地のトルテカのトゥーラが滅亡

1200年 07:00|メキシコ| ||チチメカ族の一派アステカがメキシコ盆地に入る。守護神メシンの名をとり国名をメシカと称する

1200年1月6日-09:00|日本| ||正治1年12月18日|<解任>播磨・美作国守護「梶原景時」鎌倉から追放される

1200年1月7日-09:00|日本| ||正治1年12月19日|<任命>播磨国守護「小山朝政」 (~1230年、以後、長村、宗長と続く ~1275年頃)

1200年1月7日-09:00|日本| ||正治1年12月19日|<任命>美作国守護「和田義盛」 (~1213年)

1200年1月12日-09:00|日本|京都府京都市左京区|正治1年12月24日|藤原経房浄蓮華院を造立供養

1200年1月13日-01:00|フランス| ||<死去>ブルゴーニュ伯「トニ1世」

1200年1月13日-01:00|フランス| ||<就任>ブルゴーニュ伯「ジャン」1世[トニ1世の娘] (~1205年死去)

1200年1月14日 00:00|チャンネル諸島/イギリス| ||<就任>イギリス王領ガーンジー-島・ジャージー-島主「Pierre de Preaux」 (~1206年)

1200年1月18日-09:00|日本| ||正治2年|<任命>豊前国守護「武藤資頼」 (~嘉禄元(1225)年)

1200年1月18日-09:00|韓国/朝鮮| ||高麗・承安5年|高麗の晋州で公私奴隷が、密陽で官奴が、ソウルで部曲民が各々反乱

1200年1月18日-09:00|日本|和歌山県伊都郡高野町|正治2年|この年金剛峰寺孔雀明王像(快慶)できる

1200年1月18日-08:00|中国| ||大理・安定8年|<死去>後大理第4代皇帝「宣宗功極帝(段智興)」 (~1204年)

1200年1月18日-08:00|中国| ||大理・安定8年|<即位>後大理第5代皇帝「英宗亨天皇帝(段智廉)」 (~1204年)

1200年1月18日-09:00|日本| ||正治2年1月|<任命>土佐国守護「佐々木経高」 (~正治2(1200)年8月2日解任)

1200年2月-02:00|エジプト/シリア・アラブ/イェメン| ||<即位>アイユーブ 朝第4代スルタン「アル・アードイル」 (~12180831死去)

1200年2月-02:00|エジプト/シリア・アラブ/イェメン| ||<退位>アイユーブ 朝第3代スルタン「アル・マンズール・ムハンマド 1世」

1200年2月2日-01:00|ベルギー| ||<死去>リエージュ公「アルベール・オブ・カイ」

1200年2月6日-09:00|日本| ||正治2年1月20日|梶原景時は一族とともに京都へ上る道中で東海道の駿河国清見関(静岡県清水区)近くで偶然居合わせた吉川氏ら在地武士たち、相模国の飯田家義らに発見されて襲撃を受け、狐崎において合戦となり子の三郎景茂(年34)・六郎景国・七郎景宗・八郎景則・九郎景連が討たれ、景時と嫡子景季(年39)、次男景高(年36)は山へ引いて戦ったのち討ち死に、その首は隠されていたが翌日探し出され、一族

1200迄 (2036件)

33名の首が路上に懸けられた

1200年3月3日-01:00|ベルギー| |||<就任>リエージュ公「ピエール^oントのヒューゴ」(~12290404死去)
1200年3月29日-09:00|日本|神奈川県鎌倉市|正治2年閏2月13日|北条政子鎌倉に寿福寺を建立
1200年4月23日-08:00|中国| ||宋・慶元6年3月9日|<死去>朱熹(朱子)/69歳(誕生:11300915)朱子学を創始した
1200年5月22日-01:00|フランス/イギリス| |||フランス王フィリップ 2世(オーギュスト尊厳王)、「ル・クレ条約」を結びイングランド王ジョン(欠地王)と講和する。①フランス王フィリップ 2世は、フランス中西部のオーヴェルニュ地方とフランス中央部のベリー地方の譲渡に加えて、占領したノルマンディーの領有を認められる/イングランド王ジョン(欠地王)は「アンジュー家」の当主となることを認められる
1200年6月24日-09:00|日本| ||正治2年5月12日|幕府、念仏宗を禁止
1200年8月20日-09:00|日本|京都府京都市|正治2年7月9日|佐々木常高京都に兵を集め騒擾
1200年8月26日-09:00|日本|神奈川県鎌倉市|正治2年7月15日|金剛壽福寺で新しく描いた十六羅漢像の開眼供養
1200年8月30日 00:00|イギリス/フランス| |||イングランド王ジョン(欠地王)、ホーク地方の有力領主リュジニャン家のユーグ 9世(「マルシュ伯」ユーグ・ル・ブラン)と婚約していた、「アングレーム伯」エマルの娘「ベルダン^oグレーム」(14歳)と結婚
1200年9月11日-09:00|日本| ||正治2年8月2日|<解任>淡路・阿波・土佐国守護「佐々木経高」
1200年9月11日-09:00|日本| ||正治2年8月2日|<任命>淡路国守護「(小野)横山時兼」(~1213年)
1200年9月19日-01:00|フランス| |||<死去>ダマルタン伯「Alberic3世」
1200年9月19日-01:00|フランス| |||<就任>ダマルタン伯「Renaud」(~1214年)
1200年12月11日-01:00|チェコ| |||<死去>オモツ公「ヴラデ^oイミール」モラヴィア辺境伯ヴラデ^oスラの領域に編入